医療法人社団

筑波記念会

2021 年度年報

2021.4-2022.3

筑波記念病院
筑波総合クリニック
つくばトータルヘルスプラザ
つくばケアセンター
つくば訪問看護ステーション
大穂豊里地域包括支援センター

筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

INDEX

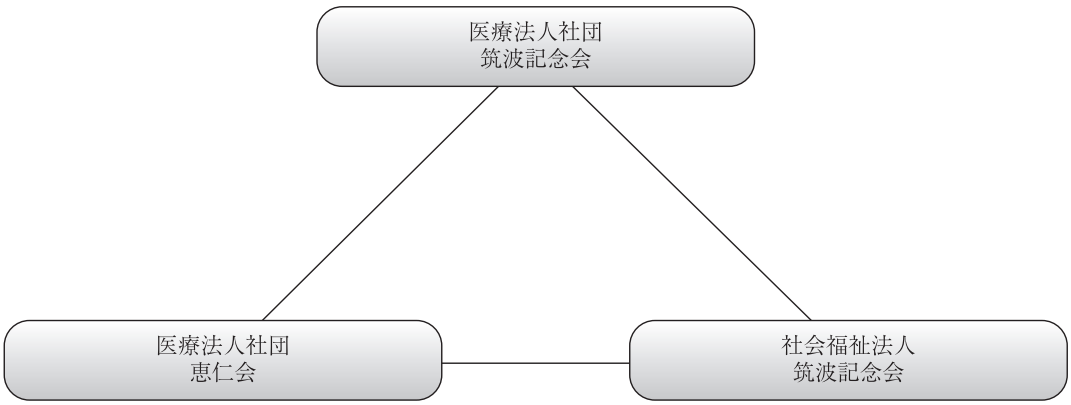
Fiscal year 2021

筑波記念グループ 組織図 …… 3
医療法人社団 筑波記念会　概要 …… 4
基本理念・組織図 …… 4
筑波記念病院 組織図 …… 5
沿革 …… 6
施設概要 …… 8
筑波記念病院 …… 8
筑波総合クリニック …… 11
つくばトータルヘルスプラザ …… 11
介護老人保健施設 つくばケアセンター …… 12
診療部門 …… 14
血液内科 …… 14
呼吸器内科 …… 16
循環器内科 …… 18
消化器内科 …… 20
神経内科 …… 22
糖尿病・内分泌代謝内科 …… 24
眼科 …… 26
形成外科 …… 28
呼吸器外科 …… 30
耳鼻咽喉科 …… 32
消化器外科 …… 34
小児外科 …… 36
心臓血管外科 …… 38
整形外科 …… 40
脳神経外科 …… 42
婦人科 …… 44
救急科 …… 46
小児科 …… 48
皮膚科 …… 49
病理診断科 …… 50
放射線科 …… 52
麻酔科 …… 54
リハビリテーション科 …… 56
緩和ケア …… 58
精神科 …… 58
乳腺・甲状腺外科 …… 58
泌尿器科 …… 58
筑波記念病院　臨床研修医 …… 60
業績集 …… 62
論文 …… 62
書籍 …… 70
学会・講演・セミナー等 …… 71
診療支援部門 …… 80
看護部 …… 80
薬剤部 …… 84
放射線部 …… 86
リハビリテーション部 …… 88
臨床検査部 …… 92
臨床工学課 …… 94
栄養管理課 …… 96
医療相談室 …… 100
臨床心理 …… 102
地域医療連携部 …… 104
委　員　会 …… 108
病院運営管理会議 …… 108
医療安全管理委員会 …… 109
医療安全対策チーム …… 110
転倒転落対策 WG …… 112
医療放射線管理チーム …… 113
MRI 安全管理チーム …… 114
感染対策管理員会 …… 115
感染対策チーム …… 116
労働安全衛生管理委員会 …… 118
防火防災管理委員会 …… 120
臨床研修管理委員会 …… 120
臨床研修運営チーム …… 121
医療従事者研修管理委員会 …… 123
地域医療研修運営チーム …… 124
診療管理委員会 …… 125
救急診療運営チーム …… 126
手術部運営チーム …… 127
ICU 運営チーム …… 128
シーティング WG …… 129
病院機能改善管理委員会 …… 130
医療ガスチーム …… 131
がん化学療法運営チーム …… 131
輸血運営チーム …… 132
診療録チーム …… 133
医療情報システム管理チーム …… 134
臨床検査運営チーム …… 135
栄養チーム …… 136
栄養サポートチーム（NST） …… 137
摂食嚥下ケアチーム …… 138
褥瘡対策チーム …… 139
クリティカルパス・DPC チーム …… 140
緩和ケアチーム …… 141
地域医療サービスチーム …… 142
企画広報運営チーム …… 143
倫理委員会 …… 144
薬事委員会 …… 146
筑波総合クリニック …… 148
つくばトータルヘルスプラザ …… 150
介護老人保健施設 つくばケアセンター …… 154
つくば訪問看護ステーション …… 155
大穂豊里地域包括支援センター …… 156
筑波記念病院 統計 …… 158
患者統計 …… 158
科別外来患者数 …… 158
救急車搬送患者記録 …… 159
ドクターヘリ搬送患者数 …… 160
平均在院日数（一般病床） …… 160
入院延べ患者数 …… 161
新入院患者数 …… 162
手術件数（入院・外来） …… 163
手術件数（入院のみ・時間帯別） …… 164
病床利用率 …… 164
主な指導料・管理料 …… 165
地域がん登録部位別件数 …… 166
院内・院外　研修・講演会一覧 …… 167

地域のしあわせを護りつづける

筑波記念グループは、「ここに来て本当に良かった」と感じていただけるような
医療・介護サービスの提供ができるよう今後も努力して参ります

筑波記念グループ　組織図

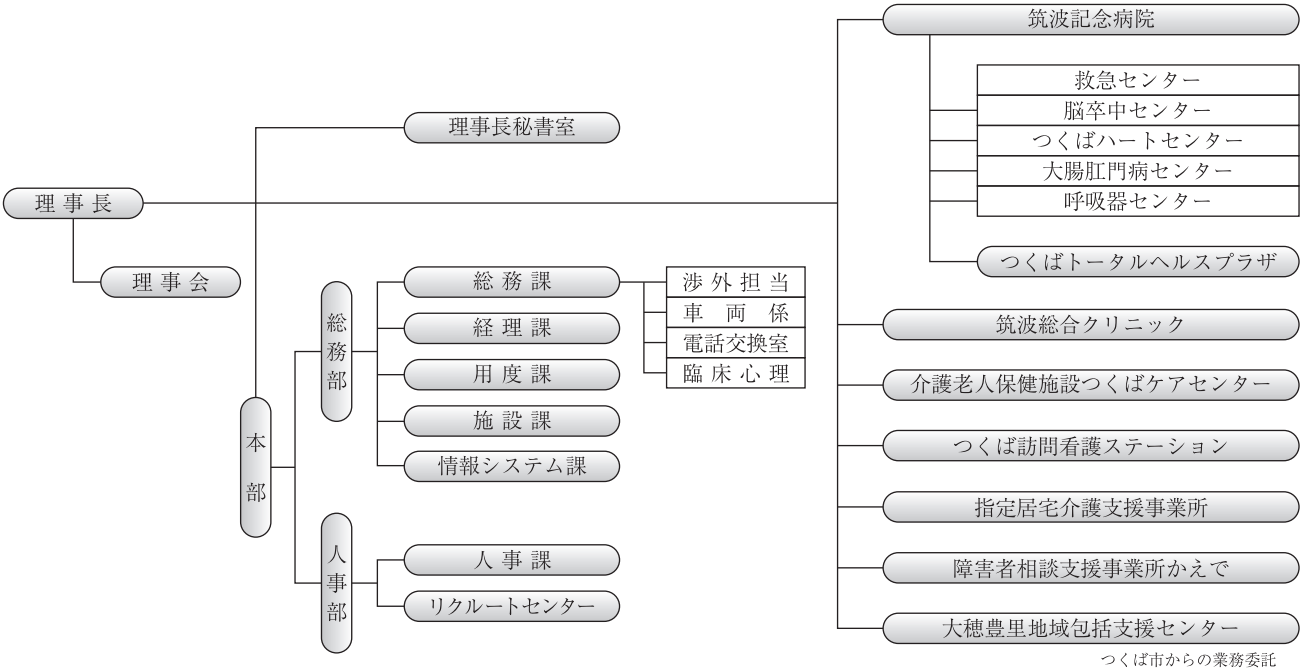


医療法人社団 筑波記念会　概要

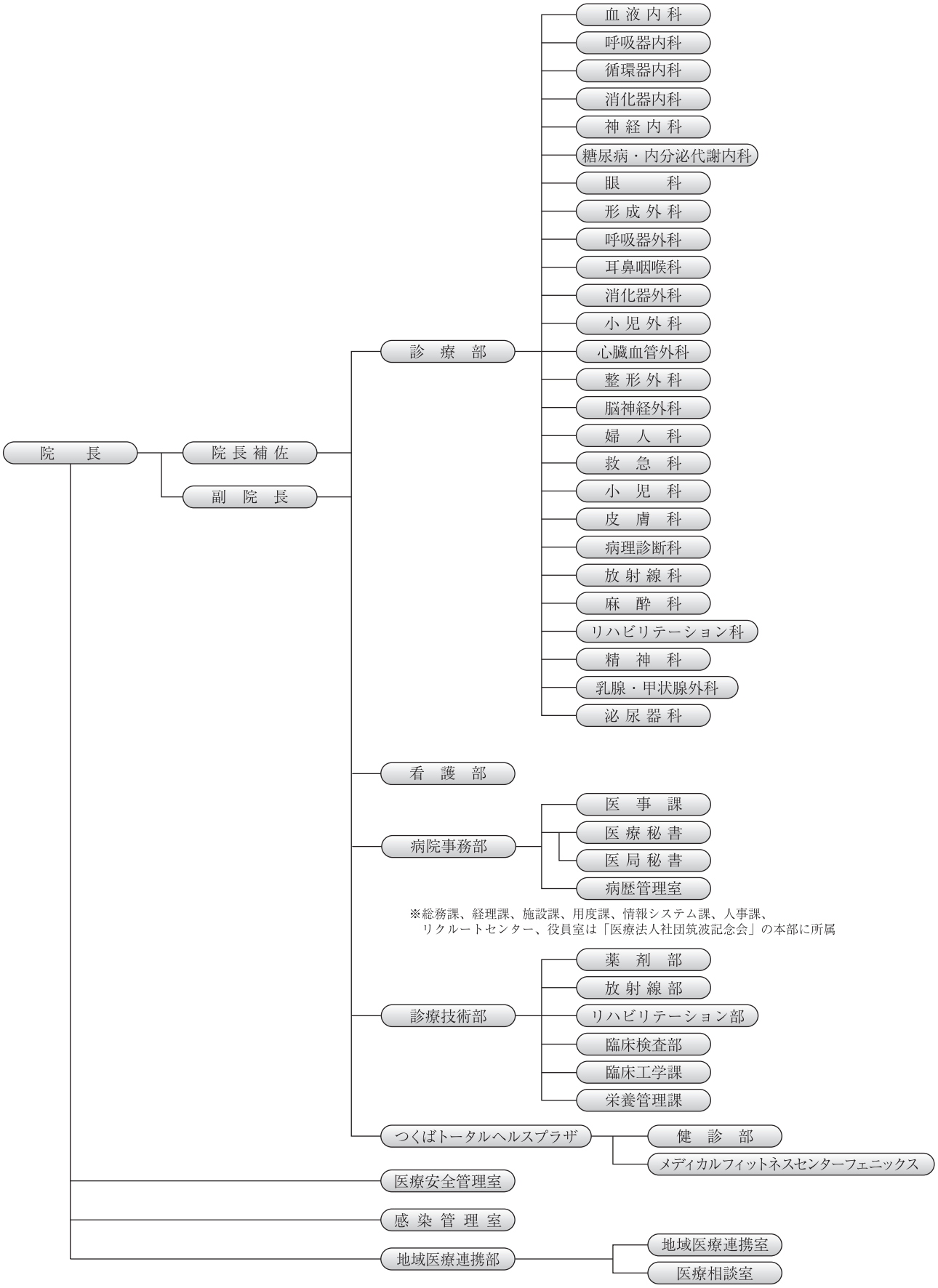
基　本　理　念

誠意を以って最善をつくす

筑波記念会　組織図



筑波記念病院　組織図


院　長
院長補佐
副院長
診療部
血液内科
呼吸器内科
循環器内科
消化器内科
神経内科
糖尿病・内分泌代謝内科
眼科
形成外科
呼吸器外科
耳鼻咽喉科
消化器外科
小児外科
心臓血管外科
整形外科
脳神経外科
婦人科
救急科
小児科
皮膚科
病理診断科
放射線科
麻酔科
リハビリテーション科
精神科
乳腺・甲状腺外科
泌尿器科
看護部
病院事務部
医事課
医療秘書
医局秘書
病歴管理室
※総務課、経理課、施設課、用度課、情報システム課、人事課、
リクルートセンター、役員室は「医療法人社団筑波記念会」の本部に所属
診療技術部
薬剤部
放射線部
リハビリテーション部
臨床検査部
臨床工学課
栄養管理課
つくばトータルヘルスプラザ
健診部
メディカルフィットネスセンターフェニックス
医療安全管理室
感染管理室
地域医療連携部
地域医療連携室
医療相談室

沿　　革

1982	2	筑波記念病院開設
		保険医療機関指定
	4	生活保護法医療機関指定
	5	第二次救急医療機関指定
	6	労災保険医療機関指定
1983	2	筑波健康推進センター開設
		人間ドック及び健康診断実施
		日本体力医科学研究所開設
1984	8	結核指定医療機関指定
1985	10	託児所「アイビー保育園」開設
1986	1	医療法人社団筑波記念会認可
1987	12	筑波記念病院附属第一病院開設
1989	8	附属第一病院廃止、筑波記念病院に吸収合併
1992	2	中央管理棟完成
	3	在宅介護支援センター開設
	10	つくば訪問看護ステーション開設
1994	11	「つくばトータルヘルスプラザ」、メディカルフィットネスセンター「フェニックス」開設
1996	6	老人デイケア施設「ピンクハウス」開設
1997	7	ホームページ開設
1998	4	老人保健施設「つくばケアセンター（現２号棟）」開所
1999	4	指定居宅介護支援事業所開設
		クリティカルパス導入
	12	難病医療協力病院指定
2000	12	つくば市より事業委託 病後児保育「ピーターパン」開設
2001	3	病児家族宿泊施設「ファミリーハウス」開設
	8	日本医療機能評価機構　病院機能評価基準（一般病院Ｂ（200 床以上））認定取得
	9	茨城県地域リハ・ステーション指定
2002	4	臨床研修病院指定
	7	「つくばクリニック（眼科）」開設
	10	茨城県訪問リハビリテーション・ステーション指定
2003	6	地域医療連携室設置
	7	介護老人保健施設「つくばケアセンター」リニューアルオープン
	8	療養病棟「けやき」開設
	11	開放型病院指定
2004	6	セカンドオピニオン外来開始
	7	DPC（診断群分類・包括評価）開始
	9	回復期リハビリテーション病棟「ひのき」開設
2005	5	外来専門クリニック「筑波総合クリニック」開設
	9	「つくばケアセンター」内に訪問リハビリテーション事業所開設
2006	1	県南スポーツ医科学センター認定
		茨城県地域リハビリテーション研修推進支援センター指定
	9	日本医療機能評価機構　病院機能評価基準（審査体制区分：3）認定更新（ver.5）
2008	4	特定健康診査・特定保健指導機関登録
	5	高機能医療センター開設
2010	7	ドクターヘリ受入開始
2011	10	回復期リハビリテーション病棟リニューアル
	11	日本医療機能評価機構　病院機能評価基準（審査体制区分：3）認定更新（ver.6）
2012	3	「つくばトータルヘルスプラザ」リニューアル
	9	地域医療支援病院　承認
	10	メディカルフィットネスセンター「フェニックス」指定運動療法施設認定
		「つくばケアセンター」訪問リハビリテーション下妻出張所開設
2013	2	「つくばケアセンター」訪問リハビリテーション桜川出張所開設
	10	障害者相談支援事業所「かえで」開設
2014	4	筑波記念病院附属「アイビー保育園」新築移転
	5	「つくばケアセンター」訪問リハビリテーション土浦出張所開設
2015	9	筑波記念病院「Ｓ棟」竣工

2016	4	「つちうらハートクリニック」開設
	8	日本医療機能評価機構認定基準（機能種別版評価項目 3rdG：Ver.1.1）認定更新
		（主たる機能：一般病院 2、副機能：リハビリテーション病院）
2017	1	DMAT 指定医療機関指定
	11	筑波記念グループが誕生し、新たに医療法人恵仁会加わる
2018	10	社会福祉法人　筑波記念会が誕生し、新たに筑波記念グループに加わる
	11	茨城県女性が輝く優良企業認定制度に認定
2019	4	「大穂豊里包括支援センター」開設（つくば市委託）
	9	在宅療養後方支援病院　承認
	9	災害拠点病院　指定
2020	3	新型コロナウイルス感染症患者入院受入開始
	4	電子カルテシステム導入
2021	1	新型コロナウイルス感染症重点医療機関指定
	4	新型コロナウイルス感染症患者病床（重症病床）増床
		救急救命士による転院搬送業務開始
	8	日本医療機能評価機構認定基準（機能種別版評価項目 3rdG：Ver.2.0）認定更新
		（主たる機能：一般病院 2、副機能：リハビリテーション病院）
	9	茨城県地域リハビリテーション研修支援センター指定

施　設　概　要

筑波記念病院

管理者：長澤　俊郎

〒 300-2622　茨城県つくば市要 1187-299　　TEL 029-864-1212　FAX 029-864-8135

病床数　487 床　　一般病床:387 床（ICU 8 床　急性期（7 対 1）327 床　回復期リハビリテーション病棟 52 床）
療養病床（医療保険適用）：100 床（療養病棟 51 床　地域包括ケア病棟 49 床）

標榜科目

内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、神経内科、糖尿病・内分泌代謝内科、アレルギー科、リウマチ科、外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、整形外科、形成外科、小児科、小児外科、婦人科、精神科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科、美容皮膚科

基準情報

地域医療支援病院	難病医療協力病院
DPC 対象病院	原子爆弾被爆者指定医療機関
日本医療機能評価機構 （主たる機能：一般病院 2、副機能：リハビリテーション病院）認定	自立支援医療機関（精神通院）
第二次救急指定病院	医療機関検診実施指定病院
臨床研修病院指定（基幹型）	DMAT 指定医療機関
労災保険二次健診等給付医療機関	茨城県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関
特定疾患（一般・小児）治療研究機関	災害拠点病院
生活保護法第 49 条規定医療機関	

施設基準等（基本診療料）

一般病棟入院基本料　急性期一般１（７対１）	感染防止対策加算１　地域連携加算　抗菌支援加算
療養病棟入院基本料２	患者サポート体制充実加算
救急医療管理加算 1，2	後発医薬品使用体制加算１
超急性期脳卒中加算	病棟薬剤業務実施加算１
診療録管理体制加算２	データ提出加算２ィ
医師事務作業補助体制加算２チ（100 対 1）	入退院支援加算１ィロ
急性期看護補助体制加算３（50 対 1）	認知症ケア加算１
看護職員夜間配置加算１ロ（12 対 1 加算 2)	せん妄ハイリスク患者ケア加算
療養環境加算	地域医療体制確保加算
療養病棟療養環境加算１	特定集中治療室管理料３　早期栄養介入管理加算
無菌治療室管理加算１	回復期リハビリテーション病棟入院料１
栄養サポートチーム加算	地域包括ケア病棟入院料２（療養病棟）
医療安全対策加算１	

施設基準等（特掲診療料）

遠隔モニタリング加算（心臓ペースメーカー指導管理料）	無菌製剤処理料
がん性疼痛緩和指導管理料	心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
院内トリアージ実施料	脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
救急搬送看護体制加算	運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
開放型病院共同指導料	呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
がん治療連携指導料	がん患者リハビリテーション料
薬剤管理指導料	集団コミュニケーション療法料
医療機器安全管理料１	椎間板内酵素注入療法
在宅療養後方支援病院	経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
在宅植込型補助人工心臓（非拍動流型）指導管理料	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 （リードレスペースメーカー）
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術 （経静脈電極の場合）
検体検査管理加算（Ⅰ），（Ⅱ）	植込型除細動器移植術、 植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術
ヘッドアップティルト試験	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）
画像診断管理加算１，２	大動脈バルーンパンピング法（ＩＡＢＰ法）
ＣＴ撮影（64 列以上のマルチスライスＣＴ）	補助人工心臓
ＭＲＩ撮影（3 テスラ以上）	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
冠動脈ＣＴ撮影加算	輸血管理料２
心臓ＭＲＩ撮影加算	貯血式自己血輸血管理体制加算
乳房ＭＲＩ撮影加算	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
頭部ＭＲＩ撮影加算	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
全身ＭＲＩ撮影加算	麻酔管理料（Ⅰ），（Ⅱ）
外来化学療法加算２	病理診断管理加算１

諸指定

日本外科学会外科専門医制度修練施設	下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施施設
日本整形外科学会専門医研修施設	三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定基幹施設
日本眼科学会認定専門医制度研修施設	浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
日本脳神経外科学会専門研修プログラム連携施設	日本ステントグラフト実施基準管理委員会胸部ステントグラフト実施施設
日本医学放射線学会認定放射線科専門医修練機関	日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部ステントグラフト実施施設
日本麻酔科学会認定麻酔科認定病院	日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設
日本リハビリテーション医学会研修施設	日本脈管学会認定研修指定施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設	日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設	日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	マンモグラフィー検診施設画像認定施設
呼吸器内科領域専門研修施設群（連携施設）	日本認知症学会認定教育施設
日本血液学会認定専門研修認定施設	日本医療薬学会認定日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
日本神経学会准教育施設	日本医療薬学会認定日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設
日本消化器外科学会専門医修練施設	日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設
心臓血管麻酔専門医認定施設	一般財団法人日本作業療法士協会　作業療法士臨床実習指導施設
日本脳卒中学会一次脳卒中センター	臨床栄養師研修施設
日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育施設	日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働施設
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設	茨城県地域リハ・ステーション
日本がん治療認定医機構認定研修施設	茨城県地域リハビリテーション研修支援センター
日本大腸肛門病学会認定施設	茨城県地域リハビリテーション推進拠点
呼吸器外科専門医合同委員会認定専門研修連携施設	茨城県肝疾患専門医療機関
経皮的カテーテル心筋冷凍焼灼術	

筑波総合クリニック

管理者：飯田　啓治（2021/6/1 ～）、飯田　要（～ 2021/5/31）

〒 300-2622　茨城県つくば市要 65　　TEL 029-877-1221　FAX 029-877-1191

標榜科目

内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、整形外科、形成外科、小児科、婦人科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、精神科、放射線科

つくばトータルヘルスプラザ

施設長：中原　朗

〒 300-2622　茨城県つくば市要 1187-299　　TEL 029-864-3588　FAX 029-864-8585

諸指定

厚生労働大臣認定健康増進施設	日本脳ドック学会認定脳ドック施設
全国健康保険協会生活習慣病予防健診実施機関	厚生労働省指定運動療法施設
日本総合健診医学会認定優良総合健診施設	日本総合健診医学会及び日本人間ドック学会認定人間ドック健診専門医研修施設
健康評価施設査定機構認定人間ドック・総合健診・特定健診・特定保健指導施設	日本人間ドック学会機能評価認定施設

介護老人保健施設 つくばケアセンター

管理者：神山　幸一（2021/6/1 ～）、施設長：武田　徹（～ 2021/5/31）

〒 300-2622　茨城県つくば市要 76　　TEL 029-877-1313　FAX 029-877-1334

つくばケアセンター　訪問リハビリテーション

〒 300-2622　茨城県つくば市要 76（介護老人保健施設 つくばケアセンター内）

TEL 029-877-1313　FAX 029-877-1334

つくばケアセンター　訪問リハビリテーション　下妻出張所

〒 304-0051　茨城県下妻市小島 695　ブリランテ下妻 105

つくばケアセンター　訪問リハビリテーション　桜川出張所

〒 300-4414　茨城県桜川市真壁町椎尾 1632-1

つくばケアセンター　訪問リハビリテーション　土浦出張所

〒 300-0812　茨城県土浦市下高津 1-19-33

サービスの種類

介護保健施設サービス（入所）
介護予防短期入所療養介護・短期入所療養介護（ショートステイ）
介護予防通所リハビリテーション・通所リハビリテーション（デイケア）
介護予防訪問リハビリテーション・訪問リハビリテーション

定員等

入所定員	100 名（介護予防短期入所療養介護・短期入所療養介護も含む） 療養室　　個室　12 室、4 床室　22 室
通所定員	40 名（介護予防通所リハビリテーションも含む）

基準情報

生活保護法等指定介護機関
全国老人保健施設協会実地研修指定施設

施設基準等

入所

介護保健施設サービス費（Ⅰ）	再入所時栄養連携加算
サービス提供体制強化加算（Ⅰ）	かかりつけ医連携薬剤調整加算
夜勤職員配置加算	所定疾患施設療養費
短期集中リハビリテーション実施加算	認知症行動・心理症状緊急対応加算
認知症短期集中リハビリテーション実施加算	認知症情報提供加算
療養食加算	入所前後訪問指導加算
経口維持加算	地域連携診療計画情報提供加算
初期加算	褥瘡マネジメント加算Ⅰ～Ⅲ
口腔衛生管理加算	排泄支援加算Ⅰ～Ⅳ
外泊時費用	施行的退所時指導加算
ターミナルケア加算	退所時情報提供加算
入退所前連携加算Ⅰ、Ⅱ	緊急時治療管理

訪問看護指示加算	在宅復帰・在宅療養支援機能加算
介護職員処遇改善加算（Ⅲ）	介護職員特定処遇改善加算（Ⅰ）

短期入所療養介護

介護老人保健施設短期入所療養介護費（Ⅰ）	送迎加算
介護老人保健施設介護予防短期入所療養介護費（Ⅰ）	重度療養管理加算
個別リハビリテーション実施加算	在宅復帰・在宅療養支援機能加算（Ⅰ）
療養食加算緊急	緊急短期入所受入加算
サービス提供体制強化加算（Ⅰ）	緊急時治療管理
夜勤職員配置加算	認知症行動・心理症状緊急対応加算
介護職員処遇改善加算（Ⅲ）	介護職員特定処遇改善加算（Ⅰ）

通所リハビリテーション

通常規模型リハビリテーション費	サービス提供体制強化加算（Ⅰ）
6時間以上8時間未満の前後延長サービス	介護予防通所リハビリテーション費
リハビリテーション提供体制加算	理学療法士等体制強化加算
入浴介助加算（Ⅰ）、（Ⅱ）	重度療養管理加算
リハビリテーションマネジメント加算（A）イ（B）イ	中重度者ケア体制加算
短期集中個別リハビリテーション実施加算	移行支援加算
認知症短期集中リハビリテーション実施加算	運動器機能向上加算
生活行為向上リハビリテーション実施加算	選択的サービス複数実施加算
栄養改善加算	事業所評価加算
口腔機能向上加算	介護職員処遇改善加算（Ⅲ）
介護職員特定処遇改善加算（Ⅰ）	

訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーション費	サービス提供体制強化加算（Ⅰ）
介護予防訪問リハビリテーション費	移行支援加算
短期集中リハビリテーション実施加算	リハビリテーションマネジメント加算（A）イ～（B）ロ
事業所評価加算	訪問リハ計画診療未実施減算

協力医療機関

筑波記念病院
筑波総合クリニック
おおさわ歯科医院

診　療　部　門

血　液　内　科

【2021 年度実績報告】

2021 年度は新型コロナ感染拡大による病棟再編の影響もあり、血液内科としての入院実績はやや低迷した一方で、外来化学療法は毎年増加傾向であり、初めて年間のべ 1,000 件を上回った。

疾患の内訳としては悪性リンパ腫が最も多く、次いで急性白血病、多発性骨髄腫と続く。初回の化学療法は入院で行うことが多く、いずれのプロトコルも 1 コースが 21 ～ 28 日で設定されていることもあり、平均在院日数が長くなる傾向がある。

学術としては病院として臨床研修に注力していることもあり、当科でも初期及び後期研修医に指導を行いながら日本内科学会、日本血液学会に計 4 件の学会発表を行った。

［文責：一色雄裕］

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
長澤　俊郎	筑波記念病院　管理者	常(HP)
佐藤　祐二	副院長（感染・輸血・化学療法統括） 化学療法センター長（2021.9.1 ～） 血液内科診療部長（～ 2021.8.31）	常(HP)
一色　雄裕	血液内科診療部長（2021.9.1 ～） 化学療法センター長（～ 2021.8.31） 血液内科診療科長（～ 2021.8.31）	常(HP)
鈴木　幸恵		常(HP)
渡邉　真威		常(HP)
小松　恒彦	血液腫瘍センター長・血栓止血センター長	非(HP)
田岡　謙一		非(HP)

【科別 MDC 件数】

MDC	MDC 名	症　例　数	平均在院日数
130030	非ホジキンリンパ腫	181	19.3
130010	急性白血病	121	23.8
130040	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物	54	22.4
110310	腎臓又は尿路の感染症	22	17.2
130060	骨髄異形成症候群	21	19.1
040080	肺炎等	15	15.8
040081	誤嚥性肺炎	12	22.8
050130	心不全	12	14.7
130090	貧血（その他）	11	17.5
130050	骨髄増殖性腫瘍	10	18.4

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
744	763	706	818	847	792	778	822	857	782	862	859	9,630

呼　吸　器　内　科

【2021 年度実績報告】

呼吸器内科は、開設７年目となり、川島海医師が新たに常勤医として赴任し、乾年秀医師、石川宏明医師、渡辺裕子医師、大塚盛男医師の５名で病院･クリニックの診療を行った。また、松野洋輔医師が非常勤としてクリニック診療に従事した。肺炎（COVID-19 感染症、誤嚥性肺炎も含む）、肺癌、間質性肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器疾患の診療を主に行い、新入院患者数は 511 名であった。なお、COVID-19 感染症患者を 159 名担当した。2021 年２～３月に COVID-19 感染症の院内クラスターが発生したため４月の入院患者数は少なかったが、その後は増加し、過去最高の入院患者数となった。病院・クリニックの外来受診者数は 6,245 名であった。また、COVID-19 感染症関連の発熱外来等に９月まで週３コマ、10 月以降１～２コマ従事し、913 名を診療した。年度初めは気管支内視鏡検査の実施は制限されたが、肺癌の患者を中心に 63 件実施した。

教育活動として、後期研修医１名及び初期研修医７名を担当し、呼吸器疾患の診断や治療に必要な基礎知識や診療技術の指導を行った。

［文責：坂本　透］

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
大塚　盛男	呼吸器センター長	常(HP)
渡邉　裕子		常(HP)
石川　宏明		常(HP)
乾　　年秀		常(HP)
川島　　海		常(HP)

【科別 MDC 件数】

MDC	MDC 名	症　例　数	平均在院日数
180030	その他の感染症（真菌を除く。）	150	12
040040	肺の悪性腫瘍	93	13
040110	間質性肺炎	40	20
040081	誤嚥性肺炎	38	25
040080	肺炎等	33	20
040150	肺・縦隔の感染、膿瘍形成	13	23
050130	心不全	12	24
070560	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患	11	18
110310	腎臓又は尿路の感染症	10	14
040120	慢性閉塞性肺疾患	9	19

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
495	472	526	537	667	547	428	427	521	515	482	628	6,245

【入院患者数（転科した患者を含む）】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
33	43	38	35	64	39	27	45	32	40	36	41	473

循 環 器 内 科

【2021 年度実績報告】

2021 年も筑波大学から新たな派遣はなく、つくばハートセンターにも増減はなかった。外来部門筑波総合クリニックでは院長飯田要先生が年度半ばで退任され、こちらに人員補充はなかった。全体にマンパワーの低下は否めない。

手術件数は全体としてほぼ横ばいである。虚血部門は手技も安定して手技件数は漸増である。一方、不整脈部門は人的逼迫から治療件数は大幅に減少した。対応不能な症例は主として筑波大学へ紹介した。また本年度も新規手術方法の導入はなかった。心臓血管外科との連携は相変わらず強固であり、患者にとって最良の医療を選択できるよう機能している。生理検査部門には心エコー、ホルター解析など煩雑な仕事をどんどんこなしていただき、判定の正確性も含め感謝している。臨床工学部門には、カテ室の管理、ペースメーカなど植込み型デバイスの管理を含め、多大なる貢献をいただいた。リハビリテーション部には、新型コロナ流行中にも関わらず積極的に関与していただき、予後改善、早期退院に繋がっている。多職種の介入によって医療が成り立っていることを日々痛感している。学会発表は今年も虚血部門に限定された。新型コロナへの対応も変化し、リアルの学術集会も次第に復活しつつある。今後はリアルとオンラインの併用になると推測される。

［文責：井川昌幸］

【人事】

氏　名	役　職	勤　務
榎本　強志	院長補佐（総合診療統括）	常（HP）
井川　昌幸	循環器内科診療部長	常（HP）
我妻　賢司	つくばハートセンター　センター長	常（HP）
新居　秀郎	循環器内科診療科長、集中治療部科長	常（HP）
内田　靖人	循環器内科診療医長	常（HP）
竹井　義純		常（HP）
沼田るり子		常（HP）
青沼　和隆		非（HP）
一戸　貴子		非（HP）

【手術件数】

分　類	件　数
経皮的冠動脈ステント留置術	133
経皮的カテーテル心筋焼灼術	49
ペースメーカー移植術・交換術	50
経皮的冠動脈形成術	37
除細動器移植術・交換術	2
その他	5
総手術件数	276

【科別 MDC 件数】

MDC	MDC 名	症　例　数	平均在院日数
050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	253	5.6
050130	心不全	159	23.4
050070	頻脈性不整脈	89	7.8
050030	急性心筋梗塞（続発性合併症を含む。）、再発性心筋梗塞	44	15.9
050210	徐脈性不整脈	31	17.4

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2,223	2,088	2,395	2,260	2,108	2,152	2,216	1,838	2,191	2,145	1,974	1,947	25,537

消 化 器 内 科

【2021 年度実績報告】

①2021年度の当科入院のべ患者数は17078名、新入院患者数1154名、外来受診者数 24290名であった。新入院患者数はコロナ禍前よりも増加したが、のべ患者数・外来受診者については、COVID-19院内クラスターが発生した2020年度より回復がみられたものの、以前より減少している。

②2021年度において大腸内視鏡はCOVID-19の感染流行以前2000件台への回復（2021年度：2074件、2020年度：1655件、2019年度： 2091件）をみせたが、胃内視鏡は3500件台には回復することなく、3000件台であった（2021年度：3126件、2020年度：2624件、2019年度：3583件）。大学より新里悠輔医師・丹下善隆医師が赴任したことにより、EUS件数は78件（2020年度19件、2019年度：15件）と大幅に増加、またERCPも年間200件前後であったが過去最高の285件と著しく増加した。

③学会発表に関しては第23回日本医療マネジメント学会で池澤和人医師が発表した報告が、同学会における2021年最優秀演題賞を受賞し表彰された。本研究は2019年文部科学省科学研究費の助成を受けて、筑波大学消化器内科との共同で行ったものである。

④論文執筆では、小林真理子医師が消化器病学会雑誌に筆頭著者で1論文、添田敦子医師が共同著者で1論文（Jpn J Clin Oncol）発表した。池澤和人医師が英文誌（Nutrition & Dietetics Nutr Diet）に筆頭著者で1論文、共同著者で1論文（Jpn J Clin Oncol）発表し2022年発行予定である。

⑤根本絵美医師が日本内科学会認定医を取得した。また池澤和人医師が日本消化器内視鏡学会社団評議員に就任した。

［文責：添田敦子］

【人事】

氏　名	役　職	勤　務
池澤　和人	副院長（医療安全管理統括、内科診療統括）、医局長	常(HP)
添田　敦子	消化器内科診療部長	常(HP)
越智　大介	消化器内科診療医長、内視鏡センター長	常(HP)
新里　悠輔		常(HP)
大塚公一朗		常(HP)
丹下　善隆		常(HP)
根本　絵美		常(HP)
杉山　弘明		非(HP)
小林真理子		非(HP)
山本　祥之		非(HP)
遠藤　壮登		非(HP)

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
病院	781	655	813	878	843	778	919	903	856	805	731	903	9,865
クリニック	1,067	1,036	1,314	1,190	1,265	1,262	1,229	1,225	1,303	1,083	1,109	1,342	14,425
合計	1,848	1,691	2,127	2,068	2,108	2,040	2,148	2,128	2,159	1,888	1,840	2,245	24,290

【科別 MDC 件数】

MDC	MDC 名	症　例　数	平均在院日数
060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	151	9.9
060020	胃の悪性腫瘍	112	11.9
060102	穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患	77	8.8
060035	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍	72	13.4
06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	48	13.0
060040	直腸肛門（直腸Ｓ状部から肛門）の悪性腫瘍	49	10.6
060130	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患）	45	10.2
060140	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの）	42	11.1
060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	37	17.1
60210	ヘルニアの記載の無い腸閉塞	35	13.1

【手術件数】

名　　称	件　数
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	842
内視鏡的胆道ステント留置術	137
内視鏡的乳頭切開術	72
内視鏡的消化管止血術	71
胃 ESD	56
内視鏡的胆道結石除去術	47
結腸内視鏡的止血術	42
大腸 ESD	26
食道・胃静脈瘤結紮術・硬化療法	21
下部消化管ステント留置術	11
内視鏡的食道・胃内異物摘出術	11
内視鏡的膵管ステント留置術	10
胃、十二指腸ステント留置術	7
胃 EMR	5
胃瘻造設術	4
食道 ESD	4
食道狭窄拡張術・ステント留置術	3
食道狭窄拡張術	2
内視鏡的胆管ドレナージ	2
内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術	1
内視鏡的結腸異物摘出術	1
その他の手術	5
総計	1,380

【内視鏡検査数】

上部消化管内視鏡	総数	3,089
検査のみ		2,878
治療内視鏡	食道 ESD	4
	胃 ESD	56
	胃 EMR	5
	食道・胃静脈瘤硬化療法・結紮術	21
	止血術	71
	胃瘻造設・交換	30
	異物摘出術	11
	胃、十二指腸ステント留置術	7
	食道拡張術・ステント留置術	5
	胃・十二指腸狭窄拡張術	1

下部消化管内視鏡	総数	2,061
検査のみ		1,131
	カプセル内視鏡	6
	バルーン内視鏡	2
治療内視鏡	ESD	26
	EMR	842
	ステント留置術	11
	止血術	42
	異物除去	1

ERCP	総数	286
検査のみ	胆管・膵管造影	12
治療内視鏡	砕石除去術	47
	乳頭切開術	72
	胆道ステント留置術	137
	膵管ステント留置術	10

EUS	総数	8
検査のみ	EUS-FNA	8

全内視鏡総数	5,438

神　経　内　科

【2021 年度実績報告】

今年度より神経内科グループは人員が大幅に拡充され、常勤２人から５人体制となり、診療面のみならず教育、研究面でも著しく活性化された。脳神経センター長として筑波大学名誉教授・客員教授、東京医科大学特任教授の玉岡晃が赴任し、同時期にいわき市医療センターより柳葉久実が、筑波大学附属病院より武田勇人が入職し、星野幸子（診療医長）と清水眸とともに診療、教育、研究に当たった。

①病棟

入院患者数は89名で、入院患者疾患は神経変性疾患、てんかん、免疫性神経・筋疾患、脳梗塞などであった。コンサルテーションでは、主に脳波読影の他、てんかんや不随意運動の診療依頼などに対応した。他院からの転入院依頼は、看護部、地域医療連携室、リハビリテーション部と随時相談して対処した。

②外来診療

神経内科専門外来（年間4834人、月平均403人）において、神経変性疾患、脳血管障害、てんかん、末梢神経・筋疾患を始めとする神経内科疾患全般の診療を行なった。また、発熱外来も週2コマ担当し、COVID-19流行に対応した。

③学術、教育活動

第62回日本神経学会学術大会、第672回日本内科学会関東地方会、第239回日本神経学会関東・甲信越地方会、第676回日本内科学会関東地方会などで研究発表を行ない、第5回日本脳神経外科認知症学会学術総会、第39回日本神経治療学会学術集会、第40回日本認知症学会学術集会、日本老年精神医学会第8回心理士講習会などにて教育講演を行なった。また、日本神経学会準教育施設として、初期研修医や後期研修医の臨床指導を随時行い、医学生の教育にも積極的に参加した。

［文責：玉岡　晃］

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
玉岡　　晃	脳神経センター　センター長	常(HP)
星野　幸子	神経内科診療医長	常(HP)
清水　　眸		常(HP)
柳葉　久実		常(HP)
武田　勇人		常(HP)

【科別 MDC 件数】

MDC	MDC 名	症　例　数	平均在院日数
010155	運動ニューロン疾患等	27	19.0
010160	パーキンソン病	15	31.3
010230	てんかん	10	14.7
010170	基底核等の変性疾患	9	14.7
010090	多発性硬化症	8	16.4
010080	脳脊髄の感染を伴う炎症	6	15.7
010060	脳梗塞	4	26.0
040081	誤嚥性肺炎	4	40.3
010061	一過性脳虚血発作	3	16.0
030400	前庭機能障害	3	2.7

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
353	334	394	415	439	429	373	370	445	392	420	470	4,834

糖尿病・内分泌代謝内科

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
藤原　　淳	糖尿病・内分泌代謝内科診療医長（～ 2021.4.30）	常(HP)
片山　暁子		常(HP)
熊谷　尚子		非(HP)

【科別 MDC 件数】

MDC	MDC 名	症　例　数	平均在院日数
10007x	２型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	22	17.5
10006x	１型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	7	28.4
100180	副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍	6	2.8
100040	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡	5	11.6
10008x	その他の糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	2	12.5
100210	低血糖症	2	7.5
010220	その他の変性疾患	1	96.0
020110	白内障、水晶体の疾患	1	18.0
060350	急性膵炎	1	19.0
100160	甲状腺機能低下症	1	18.0
100250	下垂体機能低下症	1	2.0
100391	低カリウム血症	1	9.0
110260	ネフローゼ症候群	1	46.0
110310	腎臓又は尿路の感染症	1	40.0

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
996	916	1,006	1,012	956	924	1,073	871	1,069	994	916	1,123	11,856

眼　　科

【2021 年度実績報告】

①クリニック外来に関して

2021年4月は外来受診控えなどもあるものの、外来患者数はある程度回復した。

長期受診控えによる病状悪化など望ましくない状態を避けるため、点眼や受診継続の重要性を診察時に丁寧に説明するよう心掛けている。

小児眼科・斜視専門外来は月曜日の午後に初診の新患枠を設けており、引き続き森田医師が担当している。

今後も地域の先生方には患者のご紹介をいただきたいと考えている。

②手術に関して

前年度に手術を見合わせていた方が徐々に4月ごろから増加し、本格稼働となった。

白内障手術において選定療養である多焦点眼内レンズを導入し、患者の幅広いニーズに応えられるようになった。レンズ適応を吟味した上で希望される方に使用している。

小児、斜視の手術は引き続き森田医師の担当で行っている。

硝子体注射は感染予防の観点から手術室で施行している。

今後も手術件数を増やし、手術待機時間の短縮に努めたい。

［文責：長井恭子］

【人事】

氏　名	役　職	勤　務
長井　恭子	眼科診療科長	常(HP)
萩原　希望		常(HP)
森田　由香		非(HP)

【手術件数】

分　類	件　数
白内障手術	284
斜視手術	90
眼瞼内反症手術	22
眼瞼下垂症手術	17
眼球、眼筋のその他の手術	5
眼瞼手術その他	3
角膜、胸膜の手術	2
眼窩・涙腺手術	2
水晶体・硝子体手術	2
涙道の手術	2
ぶどう膜手術	1
眼房・網膜手術	1
結膜手術	1
翼状片手術	1
合計	433

【科別 MDC 件数】

MDC	MDC 名	症　例　数	平均在院日数
020110	白内障、水晶体の疾患	154	4.0
020150	斜視（外傷性・癒着性を除く。）	62	2.0
020320	眼瞼、涙器、眼窩の疾患	10	2.3
020230	眼瞼下垂	1	2.0
020290	涙器の疾患	1	2.0
020370	視神経の疾患	1	10
100140	甲状腺機能亢進症	1	21
140090	先天性鼻涙管閉塞	1	2

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
982	881	1,091	973	815	986	1,060	984	1,003	890	822	1,089	11,576

形　成　外　科

【人事】

氏　　名	役　職	勤　務
野中　榮仁		常(HP) ※ 2021年 4月～ 2021年 6月
綾部奈々子		常(HP) ※ 2021年 7月～ 2021年 9月
浅井麻衣香		常(HP) ※ 2021 年 10 月～ 2021 年 12 月
花野　　舞		常(HP) ※ 2022年 1月～ 2022年 3月
伊藤　謹民		非(HP)

【手術件数】

名　　称	件　数
皮膚、皮下腫瘍摘出術	26
創傷処理	20
筋・健の手術	17
植皮術	14
デブリードマン	11
四肢切断術・断端形成	9
皮膚切開術	5
リンパ節摘出術	3
皮弁作成術	2
外耳手術	1
陥入爪手術等	1
神経腫切除術	1
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術	1
瘢痕拘縮形成手術	1
総計	112

【科別 MDC 件数】

MDC	MDC 名	症　例　数	平均在院日数
070010	骨軟部の良性腫瘍（脊椎脊髄を除く。）	16	4.0
080007	皮膚の良性新生物	8	6.4
080010	膿皮症	7	11.7
100100	糖尿病足病変	7	46.4
080250	褥瘡潰瘍	6	92.7
160660	皮下軟部損傷・挫滅損傷、開放創	5	16.6
020230	眼瞼下垂	3	2.0
070395	壊死性筋膜炎	3	19.7
080006	皮膚の悪性腫瘍（黒色腫以外）	3	8.3
160200	顔面損傷（口腔、咽頭損傷を含む。）	3	2.0

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
239	259	296	369	352	358	412	459	478	319	331	409	4,281

呼　吸　器　外　科

【2021 年度実績報告】

①2021年度の筑波記念病院・筑波総合クリニックを合わせた外来患者総数は2,301人で、前年度の2,180人と比較し僅かながら増加した。

②新入院患者数は119人で、前年度の120人とほぼ同数であった。平均在院日数は10.3日で前年度より1.9日短縮した。

③入院手術件数は60件で、前年度50件より増加した。肺癌手術は25件で前年度より11件増加した。なお2020年度より当科手術件数から乳腺関連手術は除外している。

④初期研修医3名が各々1ヶ月当科にて研修を行った。

［文責：吉田　進］

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
吉田　　進	呼吸器外科診療部長	常(HP)
木村　正樹	総合外科診療部長	常(HP)
福本　侑麻		非(HP)

【手術件数】

分　　類	件　数
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	21
胸腔鏡下肺切除術	17
胸腔鏡下胸腔内手術	9
リンパ節摘出術	6
肺悪性腫瘍手術	4
肺切除術	1
その他	2
合計	60

【科別 MDC 件数】

MDC	MDC 名	症　例　数	平均在院日数
040040	肺の悪性腫瘍	50	9.7
040200	気胸	20	9.8
160450	肺・胸部気管・気管支損傷	9	14.6
040150	肺・縦隔の感染、膿瘍形成	8	24.1
160650	コンパートメント症候群	5	6.8
040030	呼吸器系の良性腫瘍	3	9.0
040080	肺炎等	3	10.0
110310	腎臓又は尿路の感染症	3	12.0
160100	頭蓋・頭蓋内損傷	3	2.0
040210	気管支拡張症	2	10.0

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
141	164	220	190	193	216	186	160	213	204	214	200	2,301

耳　鼻　咽　喉　科

【2021 年度実績報告】

①病棟診療

2021年度の入院患者数（転科加療を含む）は159例、入院手術症例は50例であった。2020年度はそれぞれ126例、53例であったので入院患者数は26.2％増加、入院手術症例はほぼ同程度であった。入院数は当院の新型コロナウイルス感染症院内感染での入院制限などがあったものの戻ってきている。

これらの平均在院日数は6.8日であり、前年度の5.9日と比して延長していた。

②外来診療

筑波総合クリニック・筑波記念病院合わせての外来患者数は9,837例と前年度の8995例と比して約9.4％の増加であった。

外来手術症例数は100例(前年度77例)であり30％の増加であり、コロナ前の2018年度（114例）には及ばないもののそれ以前の年度と同様のレベルにまで回復してきている。

2021年度の紹介患者数は347例であり前年度の319例と比して約9％の増加であった。

新型コロナウイルス感染症による受診控えの状況から徐々にwithコロナの生活様式への移行が進んできていると考えられる。

［文責：及川慶子］

【人事】

氏　名	役　職	勤　務
及川　慶子	耳鼻咽喉科診療科長	常(HP)
中森　暁子		常(HP)

【手術件数】

分　類	件　数
口蓋扁桃手術	31
内視鏡下鼻・副鼻腔手術	9
内視鏡下鼻中隔・鼻腔手術	7
中耳手術	5
外耳手術	4
リンパ節摘出術	2
喉頭・声帯ポリープ切除術	2
咽頭異物摘出術	1
上咽頭腫瘍摘出術	1
唾液腺手術	1
鼻腔粘膜焼灼術	1
扁桃周囲膿瘍切開術	1
その他の手術	4
合計	69

【科別 MDC 件数】

MDC	MDC 名	症　例　数	平均在院日数
030240	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	46	6.3
030400	前庭機能障害	25	4.6
030390	顔面神経障害	20	7.5
030428	突発性難聴	17	8.4
030425	聴覚の障害（その他）	5	7.6
180035	その他の真菌感染症	5	6.0
03001x	頭頸部悪性腫瘍	3	25.7
030190	唾液腺炎、唾液腺膿瘍	3	5.0
030270	上気道炎	3	5.3
030430	滲出性中耳炎、耳管炎、耳管閉塞	3	2.3

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
820	763	931	743	788	827	871	823	943	827	628	873	9,837

消　化　器　外　科

【2021 年度実績報告】

2021 年度もコロナ禍の中での診療となったが、幸い大規模なクラスターは発生せず概ね安定した診療が行われた。これも近隣の医療機関のご配慮やサポートの賜物と思い、改めてこの場を借りてお礼を申し上げる次第である。

総手術件数は 479 件と過去最多であった（別表）。腹腔鏡手術は 188 件と年々増加傾向であり、胆石症など良性胆道疾患は 100 例と過去最多であった。また 4 月から菅野優貴が入職し腹腔鏡下ヘルニア根治術（TAPP）58 件、そのほとんどが術後入院期間 1 日であった。肝切除 21 件、PD 8 件と年々増加傾向であり術後も重度合併症はなかった。

救急診療部の充実とともに緊急手術は 73 件、重症例（下部消化管穿孔など）23 例と増加傾向で術後は ICU にて循環動態治療のサポートをしてもらっている。

学会活動はコロナ禍ではあったが 5 本の発表と、論文 2 編であった。

内視鏡外科技術認定医（大腸部門）である岩崎喜実と肝胆膵外科高度技能指導医である上田和光とともに今後更なる症例数の増加と資格取得を目指す若い医師たちの教育・指導を行っていく所存である。

［文責：上田和光］

【人事】

氏　名	役　職	勤　務
上田　和光	消化器外科診療部長	常(HP)
岩崎　喜実	消化器外科診療科長、大腸肛門病センター長	常(HP)
永井　健		常(HP)
玉村　淳		常(HP)
菅野　優貴		常(HP)
黒田　純		常(HP)
小田　竜也		非(HP)

【手術件数】

手術分類	件数	種類	再掲
胆嚢摘出術	107	開腹	27
		腹腔鏡	80
ヘルニア手術（鼡径、大腿など）	87	開腹	29
		腹腔鏡	58
結腸切除術	76	腹腔鏡	43
		開腹	33
虫垂切除術	44	開腹	7
		腹腔鏡	37
胃切除・全摘術	35	開腹	28
		腹腔鏡	7
直腸切除術	24	開腹	7
		腹腔鏡	17
小腸切除術	41	開腹	40
		腹腔鏡	1
肝切除術	16		
痔核・肛門周囲膿瘍手術	11		
人工肛門造設術	11		
腹膜炎手術	11		
膵臓手術	9		
その他の手術	29		
総計	479		

【科別 MDC 件数】

MDC	MDC 名	症　例　数	平均在院日数
060160	鼠径ヘルニア	87	2.3
060035	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍	55	13.6
060335	胆嚢炎等	52	7.8
060150	虫垂炎	46	5.1
060020	胃の悪性腫瘍	41	14.2
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	41	23.9
060330	胆嚢疾患（胆嚢結石など）	40	5.4
060040	直腸肛門（直腸Ｓ状部から肛門）の悪性腫瘍	30	18.4
060102	穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患	15	21.3
060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）	14	16.2

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
503	478	576	626	499	545	609	572	629	570	516	571	6,694

小　児　外　科

【2021 年度実績報告】

前年度より外来患者数、手術件数とも増加した。

当院手術件数は 2 件 / 月となり、筑波大学の小児泌尿器科疾患症例数も前年度より 1.5 倍近くに増加した。大学と当院で治療を完結できるようになったことにより旧来は他施設に紹介されていた疾患の患者様も紹介されるようになったためと考えられる。特に尿道下裂に関しては High Volume Center の一つである東京都立小児総合医療センターを若干上回る症例数となり、日本有数の手術件数の神奈川県立こども医療センターと比較しても半分程度までに増加しており茨城県における中心的なセンターとなって来た。

手術件数の増加に伴う業務量の増加に対して多くの部門からの支援をいただいた。特に外来、手術室、S 棟 5 階東病棟のスタッフに感謝している。

研究活動としては筑波大学小児外科からの学会発表の指導を行い、小児泌尿器科学会では 4 題の発表が行われた。

［文責：上岡克彦］

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
上岡　克彦	小児外科診療部長	常(HP)

【手術件数（筑波記念病院）】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	1	2	2	3	3	0	1	1	2	4	2	22

【手術件数（筑波大学附属病院）】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	5	4	5	2	4	2	4	3	3	2	5	42

【科別 MDC 件数】

MDC	MDC 名	症　例　数	平均在院日数
140580	先天性下部尿路疾患	10	6.5
11013x	下部尿路疾患	6	7.7
11012x	上部尿路疾患	4	5.0
070010	骨軟部の良性腫瘍（脊椎脊髄を除く。）	2	4.0
14056x	先天性水腎症、先天性上部尿路疾患	1	6.0
140590	停留精巣	1	3.0
180010	敗血症	1	13.0

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	16	15	17	28	29	22	29	16	26	17	25	43	283
うち新患	5	7	7	10	8	7	7	4	10	3	7	12	87

心　臓　血　管　外　科

【2021 年度実績報告】

2021 年度は新型コロナウイルスの流行状況により、手術症例の変動が激しい期間であった。その中にあっても、緊急手術に関しては可能な限り受け入れ、良好な成績を得ることができた。待機手術に関しても、低い合併症率、死亡率を維持することが可能であった。また､低侵襲心臓手術や新たな人工弁（Sutureless valve など）などの導入、症例増加を図り、茨城県の心臓血管外科中核施設として機能を果たせるように努力を継続した。また、症例を送っていただけるような医療圏を増やすべく、働きかけを行っている。若手教育に関しては常時、3 ～ 4 名のレジデントがローテーションし、厳しくも良い雰囲気の元でのトレーニングを提供できたと考えている。さらには、別ページにあるように多くの学会発表、論文発表を行い、学術活動に関しても継続して注力することができた。

［文責：吉本明浩］

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
末松　義弘	副院長（ICU 管理統括、外科診療統括）	常(HP)
吉本　明浩	心臓血管外科診療部長	常(HP)
西　　智史	心臓血管外科診療科長 大動脈血管内治療センター　センター長（2021.6.1 ～）	常(HP)
倉橋　果南		常(HP)
有馬　大輔		常(HP)
高橋　秀臣		常(HP)
前川　浩毅		常(HP)
大塚　俊哉		非(HP)
松本　龍門		非(HP)
藤吉　俊毅		非(HP)
中野　　優		非(HP)
入方　祐樹		非(HP)

【手術件数】

分　　類	件　数
下肢静脈瘤手術	68
ステントグラフト内挿術	55
大動脈瘤切除術	42
弁置換・形成術	28
肺静脈隔離術	26
冠動脈、大動脈バイパス移植術	18
血管移植、バイパス移植術	16
四肢血管のその他の手術	16
動脈塞栓・血栓摘出術	10
胸腔鏡下左心耳切除術	8
皮膚切開術	7
不整脈手術	7
開胸手術その他	4
胸腔手術その他	3
血管結紮術	2
血管塞栓術	2
除細動器移植術・交換術	1
心、心膜手術その他	1
合計	314

【科別 MDC 件数】

MDC	MDC 名	症　例　数	平均在院日数
050163	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤	77	10.2
050180	静脈・リンパ管疾患	60	2.8
050161	解離性大動脈瘤	57	17.0
050080	弁膜症（連合弁膜症を含む。）	44	19.0
030250	睡眠時無呼吸	31	2.0
050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	29	14.1
050070	頻脈性不整脈	27	14.1
050130	心不全	21	12.6
050170	閉塞性動脈疾患	20	15.9
050210	徐脈性不整脈	16	3.1

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
385	304	425	369	427	386	436	432	492	416	330	485	4,887

整　形　外　科

【2021 年度実績報告】

筑波総合クリニックの外来患者数は、2020 年度と比較して微増した（平均外来患者数が 95 → 99 人 / 日）。これまで同様に医師 1 人あたり 6 人 / 日の新患枠を設け、夜間･休日に救急外来を受診された患者、他院からの紹介患者、他科からのコンサルテーション患者に加えて、かかりつけで急性発症の患者は予約外でも受診できるように対応してきたが、電子カルテ化の影響で、数年前の 120 人 / 日の水準に到達するのは難しい。

手術に関しては、これまで通り筑波大学整形外科の三島准教授（股関節）・金森講師（膝関節）が週に 2-3 日非常勤医師として外来及び手術に来てくださり、関節を専門とする常勤医が勤務していたこともあり、人工関節全置換術（股関節及び膝関節）が 346 件 / 年（昨年度 284 件）、膝関節の鏡視下手術が 116 件 / 年（昨年度 72 件）と大幅に増加し、県内トップレベルの手術件数を達成した。COVID-19 の影響が少なくなり、他院からの紹介患者が増え、予定手術が予定通りに行えたためだと考える。脊椎の手術件数は 165 件 / 年（昨年度 170 件）と同水準の結果となった。脊椎専門医が 4 → 3 人に減少した影響はそれほどなかった。

［文責：相野谷武士］

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
相野谷武士	副院長（業務改善管理統括）、 整形外科診療部長	常(HP)
箱岩　篤生	整形外科診療科長	常(HP)
新井　規仁		常(HP)
村上　浩平		常(HP)
岡本　千尋		常(HP)
小方　陽介		常(HP)
中川　隆嶺		常(HP)

【手術件数】

名　　称	件　数
人工股関節置換術（人工骨頭挿入術）	346
四肢骨のその他の手術	231
脊椎（頚椎、胸椎、腰椎）手術	165
四肢骨折接合術	146
抜釘術等	105
関節鏡下半月板切除術	52
靱帯断裂形成手術	49
脱臼非観血的整復術	20
関節滑膜切除術	15
筋・健の手術	13
関節内骨折手術	11
脊柱、骨盤のその他の手術	9
関節のその他の手術	5
手・足のその他の手術	5
四肢切断術・断端形成	3
その他の手術	6
合計	1,181

【科別 MDC 件数】

MDC	MDC 名	症　例　数	平均在院日数
070230	膝関節症（変形性を含む。）	172	21.2
07040x	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。）	151	22.6
160620	肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む。）	108	10.0
160800	股関節・大腿近位の骨折	94	23.2
070343	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）　腰部骨盤、不安定椎	69	24.3
160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）	49	19.5
070341	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）　頚部	40	19.8
160820	膝関節周辺の骨折・脱臼	26	18.5
160700	鎖骨・肩甲骨の骨折	24	5.6
160760	前腕の骨折	24	10.5

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2,010	1,819	2,058	2,159	2,060	1,984	2,047	1,934	2,229	1,993	1,761	2,255	24,309

脳　神　経　外　科

【2021 年度実績報告】

2021 年度の手術件数は 155 件、新規入院患者数は 605 人であった。昨年度より増加しているが、当院の診療体制に大きな変更はなく、昨年度の新型コロナウイルスの影響が落ち着いてきたと考える。

当科では脳神経外科専門医 4 名と脳神経外科後期研修医 1 名、神経内科医 1 名の 6 人体制で、常時 50-60 人程度の入院診療と手術を継続している。外来は脳神経外科の他、もの忘れ外来と脳ドックも継続して行っている。

脳卒中の外科学会技術指導医 2 名により、脳血管障害を中心とする外科手術は、若手への指導も含め高いレベルを維持している。筑波大学脳卒中科との連携により、急性期再開通療法を含む脳血管内手術も高いレベルで可能であり、脳卒中については治療のための転送はない。

谷中脳卒中センター長が筑波大学脳神経外科病院教授を引き続き兼任し、院内のみならず筑波大学脳神経外科グループ全体の教育を行っている。手術を含む脳卒中治療の指導に加え、脳神経外科専門医取得に必須である学会発表や論文作成の指導も継続して行っている。

［文責：相山　仁］

【科別 MDC 件数】

MDC	MDC 名	症　例　数	平均在院日数
010060	脳梗塞	209	23.6
160100	頭蓋・頭蓋内損傷	95	15.7
010040	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）	64	29.0
010230	てんかん	28	20.9
010030	未破裂脳動脈瘤	25	9.6
010061	一過性脳虚血発作	19	6.9
010010	脳腫瘍	14	21.9
010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	13	34.6
010050	非外傷性硬膜下血腫	12	15.3
010070	脳血管障害	12	8.8

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
谷中　清之	脳卒中センター長	常(HP)
中村　和弘	脳神経外科診療部長	常(HP)
佐浦　　南		常(HP)
小沼　邦之		常(HP)
秋本　　健		常(HP)
髙田　麻耶		常(HP)
鯨岡　裕司		非(HP)

【手術件数】

名　　称	件　数
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓形成）	2
多椎間又は多椎弓実施加算（椎弓切除）	1
穿頭脳室ドレナージ術	6
試験開頭術	5
減圧開頭術（その他）	1
脳膿瘍排膿術	1
頭蓋内微小血管減圧術	4
頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜外）	1
頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜下）	1
慢性硬膜下血腫洗浄・除去術（穿頭）	62
頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内）	1
定位的脳内血腫除去術	1
頭蓋内腫瘍摘出術（その他）	7
水頭症手術（シャント手術）	4
脳動脈瘤被包術（１箇所）	1
脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭）（２箇所以上）	1
脳動脈瘤頸部クリッピング（１箇所）	20
脳血管内手術（１箇所）	2
経皮的脳血管形成術	4
経皮的脳血栓回収術	5
経皮的脳血管ステント留置術	1
頭蓋骨形成手術（頭蓋骨のみ）	4
脊髄ドレナージ術	2
脊髄腫瘍摘出術（髄外）	1
外耳道異物除去術（単純）	1
咽頭異物摘出術（簡単）	1
気管切開術	6
動脈血栓内膜摘出術（内頸動脈）	2
経皮的頸動脈ステント留置術	2
動脈形成術、吻合術（頭蓋内動脈）	1
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（その他）	4
総計	155

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,206	1,083	1,273	1,230	109	1,248	1,226	1,061	1,227	1,143	987	1,368	13,161

婦　人　科

【2021 年度実績報告】

外来受診者数は 8,989 人（前年比 104％）、手術件数は 82 件（前年比 106%）であった。いずれも、COVID-19 感染流行による影響を通年で最も顕著に受けた前年度と比較して微増した。外来受診者数は COVID-19 前の数字には復していないが、感染流行が終息していない現状では、予約時間から大幅に外れない範囲での診療という意味でも現状程度の人数で適正かもしれない。手術件数に関しては、元々手術助手を外勤依頼していることもあって、年間で定時手術として施行可能な 80 ～ 90 件前後を推移しており、COVID-19 と関係なく、ほぼ例年並みの数字と考えている。

［文責：佐藤有希］

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
佐藤　有希	婦人科診療部長	常(HP)
小關　　剛	筑波記念会　理事長	常(HP)
秋山　　梓		非(HP)

【手術件数】

分　　類	件　数
子宮全摘術	28
子宮頚部（腟部）切除術	23
子宮付属器手術	22
子宮筋腫摘出（核出）術	3
腟閉鎖術	3
子宮悪性腫瘍手術	1
子宮脱手術　腟壁形成手術及び子宮全摘術（腟式、腹式）	1
子宮内膜掻爬術	1
総計	82

【科別 MDC 件数】

MDC	MDC 名	症　例　数	平均在院日数
120060	子宮の良性腫瘍	28	7.5
12002x	子宮頸・体部の悪性腫瘍	24	2.2
120070	卵巣の良性腫瘍	11	6.7
120100	子宮内膜症	5	7.2
120090	生殖器脱出症	4	12.5
130090	貧血（その他）	4	5.0
120250	生殖・月経周期に関連する病態	3	4.3
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	1	5
120230	子宮の非炎症性障害	1	2
180020	性感染症	1	8

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
792	684	809	756	734	730	795	713	750	723	704	799	8,989

救　急　科

【2021 年度実績報告】

2021 年度は昨年までの救急科指導医（集中治療専門医）１名、専門医２名に加え、救急科専門医３名（うち、２名は集中治療専門医）、専攻医１名、救命救急士１名の８名体制となり、県内でもトップクラスの人材を要する救急科となった。その効果もあり、救急車受け入れが年間1,000台増となった。救急搬送患者以外にケアセンターで状態が悪化した患者の対応も行なった。また、病院の入り口を預かる科として、発熱患者を受け入れに際し、ER や COVID BOX（新型コロナウイルス感染症疑いの診察場所）の感染対策運営を行なった。

集中治療科としての機能も果たし、ICU の管理を行なった。敗血症や心肺停止蘇生後患者等の重症疾患も転科にて ICU で受け付けた。専門各科とともに診療する機会が増え、院内の救急・集中治療体制が充実した。
一方で、新型コロナウイルス感染症による社会の影響（コロナ禍）や当院におけるクラスター発生により、救急受け入れは困難を極めた部分もあった。

教育では初期研修医、後期研修医を受け入れた。救急・集中治療診療の国際標準化を目標にした。常に救急科専門医と共に診療できる環境を構築し、しっかりとした指導のもと、救急患者、重症患者の診療に必要な基礎教育を行なった。

研究では英文雑誌に論文を多数発表した。量、質ともに日本の救急分野ではトップクラスの業績である。また、国内外の学会で注目を浴びる発表も複数行った。

［文責：阿部智一］

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
阿部　智一	救急科診療部長、集中治療科部長、救急センター長	常（HP）
小森　大輝	救急センター ER 部門診療医長（2021/10/16 ～）	常（HP）
入山　大希	救急センター ICU・ホスピタリスト部門診療医長（2021/10/16 ～）	常（HP）
稲葉　健介		常（HP）
楢橋　和真		常（HP）
戒能多佳子		非（HP）
安部　沙織		非（HP）

小　児　科

【2021 年度実績報告】

2021 年の全国の出生数は 81 万 1604 人で、データのある 1899 年以降で最少、国の推計より 6 年早く 81 万人前半に突入した。前年比 3. 5%減で、少子化の流れがとまらない。小児科が扱う対象となる子供の数がどんどん減少しているのが、現在の我が国の状況である。また、予防接種の普及、成育環境の変化などがあって、以前、小児科診療の主な柱であった、インフルエンザ、水痘、おたふく風邪などの感染性疾患が極端に減少していることも、これからを考えるにあたって考えておかなければならない要素である。小児科医療に求められる、取り組むべき対象は何かを考慮する必要がある。

一つの解決策として、当院では、小児の外来リハビリテーションを担当する能力のあるリハビリのスタッフが多数在籍しており、また小児の発達検査など特殊な技能を要する検査を遂行できる臨床心理士もいるという恵まれた環境にあることから、小児の発達に困難を抱えている子どもたちの医療を一つの柱として取り組んでおり、茨城県南西部における小児の発達の診療ができる施設として一定の評価を得られるようになってきている。現在は宮本信也医師による小児発達外来を中心に、筑波大学附属病院、土浦協同病院、保健所、多くの開業医などから紹介された患者の診療が小児の外来診療の大きな要素となっている。

従来から行っている、予防接種、アレルギー性疾患、てんかん、通常の感染症対応などの一般小児科診療も継続して行っている。

［文責：右田琢生］

【人事】

氏　名	役　職	勤　務
右田　琢生	副院長（地域医療連携管理統括）・小児科診療部長	常(HP)
岩松　雅子	小児科診療医長	常(HP)

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
411	426	498	644	645	683	590	591	762	632	547	772	7,201

皮　膚　科

【2021 年度実績報告】

・筑波総合クリニックにおいて、常勤医1名、非常勤医2名の体制で一般皮膚科診療、皮膚生検、手術、腋窩多汗症に対するボトックス注射など4,482件の外来診療をおこなった。

・筑波記念病院内の美容皮膚科外来において、IPL光治療、表情筋へのボトックス注射などの施術を自由診療でおこなった。

・褥瘡対策チームのメンバーとともに、病院全棟の入院患者の褥瘡リスク評価、予防および治療をおこなった。

・入院患者および他科外来患者の皮膚トラブルについて、他科から約500件のコンサルテーションを受けた。

［文責：照沼　篤］

【人事】

氏　名	役　職	勤　務
照沼　篤	皮膚科診療部長	常(HP)

【手術件数】

分　類	件　数
皮膚悪性腫瘍切除術	3
皮膚切開術	24
総計	27

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
371	330	421	396	391	376	347	369	400	367	295	419	4,482

病　理　診　断　科

【2021 年度実績報告】

2021 年度は筑波記念病院・筑波総合クリニックを合わせて病理組織診 3,883 件、細胞診 11,740 件、術中迅速組織診 15 件、病理解剖 4 件が行われた。CPC（剖検症例検討会）は COVID-19 の pandemicoutbreak の影響で開催が制限されたが、2 年間の出向中に赴任されていた大和万理子病理医のもと 3 症例について開催され、活発な意見交換がなされた。

［文責：臺　勇一］

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
大和万里子		常(HP)

【業務実績】

筑波記念病院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	前年度合計	前年度月平均
病理	243	226	282	260	255	262	263	309	261	314	279	321	3,275	272.9	2708	225.6
迅速病理	2	1	0	2	1	0	0	2	4	2	0	1	15	1.3	5	0.4
剖検	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	4	0.3	6	0.5
細胞診	61	397	625	658	676	738	735	705	746	586	523	546	6,996	583	6,643	553.6

筑波総合クリニック

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	前年度合計	前年度月平均
病理	37	36	43	44	49	48	60	62	58	59	53	59	608	50.7	563	46.9
細胞診	379	360	455	428	390	381	422	390	404	365	351	425	4,750	395.8	4,500	375

筑波記念病院・筑波総合クリニック

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	前年度合計	前年度月平均
病理	280	262	325	304	304	310	323	371	319	373	332	380	3883	323.6	3271	272.6
迅速病理	2	1	0	2	1	0	0	2	4	2	0	1	15	1.3	5	0.4
剖検	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	4	0.3	6	0.5
細胞診	440	757	1,080	1,086	1,066	1,119	1,157	1,095	1,150	951	874	971	11,746	978.8	11,143	928.6

放　射　線　科

【2021 年度実績報告】

2021 年度は常勤の放射線診断専門医 4 名、非常勤診断専門医 1 名，非常勤専攻医 1 名の体制で CT、MR、核医学、単純写真の読影診断業務と超音波および IVR（画像下治療）を行った。年間の CT、MRI および核医学検査の検査総数は 16,319 件であった。血管内・外の IVR は 10 件、CT ガイド下生検 4 件が行われた。専門医による年間の読影率は 97.1 %，翌日までの読影レポート完成率は 96.5% と上昇し目標値を保つことができた。地域連携関連病院・医院の先生方からのご依頼による CT、MRI、超音波、核医学の検査数は減少した。初期研修医 6 名がそれぞれ 1-2 か月間の研修を行った。画像診断の基本である単純写真の読影、救急診療で頻度の高い疾患の CT, MRI の読影を中心に，各研修医の進路の希望に基づいて，超音波検査や造影検査の研修などを加えたプログラムで行った。医療安全委員会内のチームである、医療放射線管理チーム、MRI 管理チームとして職員への定期的な教育講習会を行った。

［文責：鯨岡結賀］

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
鯨岡　結賀	副院長 (病院機能改善管理統括・画像管理統括)、放射線科診療部長	常(HP)
髙橋　信幸	放射線科診療科長	常(HP)
岩田　　賢	放射線科診療医長	常(HP)
渋谷　陽子		常(HP)
楊川　哲代		非(HP)
漆原　愛子		非(HP)
渡邊　大介		非(HP)

【読影数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
CT	837	876	916	1,019	1,039	982	1,021	1,059	1,122	1,051	834	1,098	11,854
MRI	278	323	326	318	322	325	336	371	389	330	295	391	4,004
RI	27	34	46	41	42	32	33	47	44	32	37	46	461
合計	1,142	1,233	1,288	1,378	1,403	1,339	1,390	1,477	1,555	1,413	1,166	1,535	16,319

血管内・外 IVR　12 件（うち時間外 1 件）

CT ガイド下生検　4 件

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
専門医による読影率(%)	99.4	97.5	96	97	96.6	96.9	95.9	96.5	97.9	97.4	97	98.2	97.19
翌診療日までのレポート完成率(%)	99.3	96.8	85	96.3	95.9	95.7	94.8	95.9	97.2	96.9	95.9	98	96.48

【紹介検査数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2020 年度	18	18	47	25	34	40	42	39	49	34	24	22	392
2021 年度	35	32	33	31	22	14	37	37	46	28	23	32	370

麻　酔　科

【2021 年度実績報告】

①常勤医師5名、非常勤医師1名と、外部の非常勤医師の協力を得ながら、24時間365日、緊急手術に対応できるよう毎日オンコール体制をとっている。

②入院診療

1）麻酔管理：心臓血管外科手術をはじめとしたすべての全身麻酔管理と、一部の局所麻酔管理を行っている。前年度より全手術件数は 95件増加し、全身麻酔件数では51件増加した。

2）手術部運営：手術部全体の運営に関与し、すべての手術が効率的かつ安全に行われるよう努力している。

3）緩和ケアチーム：週1回の回診に、1名参加してきた。

4）術後鎮痛：硬膜外麻酔、末梢神経ブロック、自己調節鎮痛法などを用い、積極的に術後鎮痛を行っている。全身麻酔の危険性が高い患者では、末梢神経ブロックや脊髄くも膜下麻酔のみによる麻酔管理を行うこともある。

③外来診療

1）麻酔科術前外来：手術安全の向上を目的に行っており、全身麻酔症例の62.3%と昨年度比21.3%向上した（症例数は別項参照）。

2）ペインクリニック外来：クリニックからの紹介患者および、入院中の患者と退院後の患者に対する、外来を病院総合外来で行っている。

［文責：田島啓一］

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
田島　啓一	副院長（手術部門管理統括）、麻酔科診療部長	常(HP)
富田　絵美	麻酔科医長	常(HP)
髙瀬　　肇	麻酔科診療科長	常(HP)
新里恵美菜		常(HP)
堀北　　奨		常(HP)
箱岩　沙織		非(HP)
大曽根順平		非(HP)
泉　　直樹		非(HP)

【麻酔科外来件数】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
76	70	77	82	81	74	77	95	81	92	82	74	961

【麻酔科管理料件数】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
126	105	135	137	141	141	125	134	143	123	117	137	1,564

【麻酔手技内訳（ＯＲ分）】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全身麻酔	2020年度	79	109	127	153	136	131	149	162	162	147	136	0	1,491
	2021年度	126	103	134	137	141	138	123	133	140	119	112	136	1,542
腰椎麻酔	2020年度	1	1	3	4	0	1	0	0	4	3	1	0	18
	2021年度	1	2	1	1	6	3	2	1	3	4	6	2	32
その他	2020年度	20	28	48	53	44	57	64	54	49	42	44	0	503
	2021年度	42	46	49	54	31	44	49	50	45	33	34	56	533
計	2020年度	100	138	178	210	180	189	213	216	215	192	181	0	2,012
	2021年度	169	151	184	192	178	185	174	184	188	156	152	194	2,107

リハビリテーション科

【2021 年度実績報告】

2020 年度末からの当院 2 回目のコロナクラスターの影響が、年度初めまでリハ関係の病棟にも波及し影響を受けた。リハビリテーション診療内容にも大きな制約を受け苦労した。

①人事においては、常勤医は指導医2名を含む3名に加えて、帝京大学リハ科に籍をおくカリキュラム専攻医目崎直実医師、プログラム専攻医内田健太医師（年度初め3ヶ月）、同、大槻玄太医師（年度後半6ヶ月）、筑波大リハ科に籍をおくプログラム専攻医渡部岳医師を迎え、常時全5名に増えた。リハ科専門医を目指す小児科医も兼任で業務に加わった。非常勤医師は入れ替わりつつ、火、木、金の3枠で協力を得た。

②入院においては、回復期リハ病棟はコロナの影響（表の網掛け）を受けつつも、安定時期には満床近くを維持した。リハ科医師の増員により、脳血管患者、新入院患者数が増加した。地域包括ケア病棟患者も増やすことができ、ようやく8～9割の利用率で維持ができ、瞬間的に100％となることもあった。また療養棟での患者受持もできるようになった。さらに主に骨折の保存的治療患者を急性期早期から担当するシステムを開始し、急性期から回復期以降への患者の流れがよくなった。

③外来は専門外来も含めて件数は増加傾向であった。介護保険領域では、大きく変わらず推移した。

④教育面では、筑波大学生実習、初期研修2年目医師の選択科目研修は継続した。新たに当院がリハ科の専門研修基幹施設になるべく準備をすすめ、承認されたため、年度内に募集を開始し2名の専攻医の採用を決定した。専門職教育は県で卒後研修制度が始まり、新人セラピスト10余名が登録し研修を開始した。

⑤講座・研修会、社会活動はコロナ渦で停滞し、個人活動が多かった。

［文責：伊佐地　隆］

【専門外来患者数（筑波記念病院）】

装具外来

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2019	26	27	23	31	20	33	18	27	24	17	14	13	273
2020	2	9	25	28	26	32	27	22	40	16	13	5	245
2021	25	18	42	41	30	18	18	25	32	24	23	37	333

ボツリヌス治療外来

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2019	5	2	2	6	1	3	3	4	3	6	6	4	45
2020	1	3	3	8	2	3	2	2	2	7	2	3	38
2021	6	3	5	6	5	2	6	0	6	6	3	5	53

【病床利用率（筑波記念病院）】

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
回復期リハ	2019	99.8%	101.2%	100.7%	100.7%	99.5%	100.1%	99.9%	99.5%	100.4%	99.5%	100.1%	99.4%	100.1%
	2020	89.9%	80.5%	96.0%	99.8%	100.6%	100.3%	100.4%	98.8%	101.0%	100.6%	98.1%	62.6%	94.0%
	2021	55.7%	80.0%	100.4%	100.8%	97.2%	98.5%	98.9%	100.5%	101.2%	99.6%	97.5%	99.9%	94.2%
地域包括ケア	2019	74.1%	75.6%	69.1%	71.0%	74.6%	80.3%	68.7%	64.1%	73.4%	83.3%	83.7%	71.0%	74.1%
	2020	50.5%	41.9%	56.9%	74.3%	71.2%	71.6%	69.0%	71.3%	77.2%	72.9%	85.1%	40.6%	65.2%
	2021	44.7%	74.6%	83.9%	82.8%	79.1%	89.3%	92.8%	86.9%	96.5%	95.1%	95.9%	91.0%	84.4%

【人事】

氏　名	役　職	勤　務
伊佐地　隆	副院長（リハビリテーション診療統括）（2021.10.16 ～） リハビリテーション統括部長（～ 2021.10.15）	常(HP)
安岡　利一	地域リハビリテーション部長	常(HP)
川原田晴通		常(HP)
海老原一彰		非(HP)
德永　貴久		非(HP)
大黒　春夏		非(HP)
和田　絢子		非(HP)
小泉　　玄		非(HP)
小黒　大輔		非(HP)
德田　　彩		非(HP)
大谷真貴子		非(HP)
小林加菜未		非(HP)
来間　泰佑		非(HP)
中島早百合		非(HP)

【回復期リハ病棟実績】

（1 病棟 52 床：2019 年 4 月～ 2021 年 3 月）

		2019	2020	2021
入院患者数	人	307	277	315
1 ヶ月あたり	人 / 月	25.6	23.1	26.3
退院患者数	人	285	278	266
1 ヶ月あたり	人 / 月	23.8	23.2	22.2
病床稼働率	%	97.8	92.6	92.6
平均年齢	歳	74.6	73.4	70.7
疾患別患者数（%）	脳血管	35.9	33.0	42.0
	運動器	63.1	64.9	54.9
	廃　用	1.0	2.1	3.1
平均在院日数　日	全体	63.5	60.5	62.0
	脳血管	99.6	100.9	89.9
	（上限 180 日）	107.0	110.0	95.6
	（上限 150 日）	84.3	81.8	73.6
	運動器	42.8	39.6	42.4
	廃　用	73.7	70.2	31.0
リハ起算日から転入までの平均日数	日	29.6	26.5	26.5
看護必要度Ａ項目が 1 点以上の割合	%	13.0	3.6	7.0
重症患者割合	%	40.7	37.9	34.9
重症患者Ｂ項目 4 点以上の改善者割合	%	73.9	84.0	67.4
個別リハ提供単位数	単位 / 人 / 日	7.2	7.8	8.6
在宅復帰率	%	91.6	94.6	93.6
実績指数		50.9	52.3	49.1

【患者数（筑波記念病院）】

外来

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2019	96	87	76	96	83	75	95	86	117	96	93	63	1,063
2020	475	589	883	923	939	1,072	1,041	993	1,017	1,005	939	512	10,388
2021	1,049	959	1,234	1,017	1,129	1,081	1,298	1,270	1,108	1,048	1,002	1,138	13,333

入院

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
新入院患者数	2019	1	5	4	5	1	4	2	4	3	3	4	2	38
	2020	6	14	12	7	3	6	9	13	8	9	5	0	92
	2021	5	13	14	6	5	23	7	5	8	13	16	15	130
入院延べ患者数	2019	878	898	788	700	746	781	882	755	735	636	613	662	9,074
	2020	619	813	1,139	1,180	994	875	969	885	1,010	1,048	918	802	11,252
	2021	815	1,095	1,319	1,389	1,280	1,295	1,443	1,267	1,386	1,746	1,569	1,681	16,285

緩　和　ケ　ア

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
長岡　広香		非（HP）

精　神　科

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
吉井與志彦	もの忘れ診療センター長	常（HP）
山里　道彦		非（HP）
佐藤　晋爾		非（HP）

乳 腺 ・ 甲 状 腺 外 科

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
岩淵　　裕		非（HP）
市岡恵美香		非（HP）

泌　尿　器　科

【人事】

氏　　名	役　　職	勤　務
中森　裕太		非（HP）
竹原　將行		非（HP）

筑波記念病院　臨床研修医

初期臨床研修医

年次	氏　名	管理病院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2	丸山　夏樹	筑波記念病院	血内	小児（こども病院	小児（こども病院	血内	呼内	救急	救急（水戸済生会）	地域医療（小豆畑）	精神（ホスピタル坂東）	リハビリ	放射線	放射線
2	吉田エリン唯	筑波記念病院	放射線	放射線	精神（ホスピタル坂東）	地域医療（小豆畑）	総診（東医本院）	皮膚（東医本院）	小児（東医本院）	総診（筑大）	産婦（水戸済生会）	血内	呼外	代内
2	松本　佳奈	筑波記念病院	心外	心外	小児（こども病院）	脳外（筑大）	脳外（筑大）	精神（ホスピタル坂東）	循内	地域医療（つく在）	放射線	放射線	麻酔	消外
2	金澤　卓也	筑波記念病院	消内（筑大）	脳外	膠原病内科（東医本院）	耳鼻（東医本院）	放射線	放射線	小児（JAとりで）	循内	地域医療（つく在）	精神（筑大）	産婦（JAとりで）	形成
2	日浦とき雄	筑波記念病院	放射線（東医茨城）	放射線（東医茨城）	循内（日医）	形成	精神（筑大）	感染（東医本院）	神内	麻酔	麻酔	呼内	地域医療（つく在）	耳鼻科/眼科
2	谷中　夏海	筑波記念病院	脳外	呼外（筑大）	脳外（筑大）	脳外（筑大）	心外	循内	放射線	放射線	小児（こども病院	精神（ホスピタル坂東）	地域医療（小豆畑）	血内
2	西田　康孝	筑波記念病院	耳鼻科	精神（ホスピタル坂東）	放射線	放射線	形成	眼科	皮膚（東医本院）	小児（JAとりで）	産婦（JAとりで）	地域医療（つく在）	代内	リハビリ
2	小島　丈心	筑波大学附属病院							消内	消内				
2	宗　　大輔	東京医科大学茨城医療センター					麻酔	麻酔						
2	浅田　孝一	筑波学園病院							血内					
1	阿久津　開	筑波記念病院	消外	血内	麻酔	整形	循内	循内	救急	救急	救急（水戸済生会）	産婦（JAとりで）	消内	消内
1	岡口　和也	筑波記念病院	循内	循内	消内	消内	血内	血内	心外	心外	救急	救急	救急（水戸済生会）	精神（筑大）
1	小形　雄大	筑波記念病院	循内	循内	血内	消外	消外	救急	救急	救急（水戸済生会）	消内	消内	呼内	代内（日医）
1	齋藤　祥愛	筑波記念病院	救急	救急	救急	呼内	消内	消内	呼外	血内	血内	整形	循内	循内
1	髙木　亮輔	筑波記念病院	血内	消外	消外	救急	救急	救急	循内	循内	血内	麻酔	消内	消内
1	椿山　正哉	筑波記念病院	救急	救急	救急	血内	心外	呼内	消内	消内	循内	循内	麻酔	麻酔
1	林　竜一郎	筑波記念病院	呼外	呼内	消内	消内	血内	脳外	麻酔	救急	救急	救急（水戸済生会）	循内	循内
1	石井　佐彩	東京大学病院	消内	消内	血内	麻酔	整形	消外	消外	呼内	循内	循内	救急	救急
1	榎本　晃子	筑波大学附属病院	呼内	血内	循内	循内	消内	消内						

専攻医

	氏名	管理病院	在籍期間	診療科
5	加藤　佑介	筑波記念病院	2021 年 10 月 1 日～在籍中	血液内科、循環器内科
5	飯村　百萌	筑波大学附属病院	2020 年 4 月 1 日～在籍中	血液内科
5	川越　亮承	筑波大学附属病院	2021 年 4 月 1 日～ 2021 年 9 月 30 日	消化器内科
5	大越　聡子	東京医科大学茨城医療センター	2021 年 4 月 1 日～ 2021 年 9 月 30 日	血液内科、循環器内科
5	笠巻　凌太	東京医科大学茨城医療センター	2021 年 10 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日	循環器内科、血液内科
5	水草　真美	筑波大学附属病院	2021 年 4 月 1 日～在籍中	整形外科
5	渡部　　岳	筑波大学附属病院	2021 年 4 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日	リハビリテーション科
5	中野　　優	東京医科大学病院	2021 年 7 月 1 日～ 2021 年 12 月 31 日	心臓血管外科
4	渋谷　泰弘	筑波記念病院	連携施設にて研修	
4	安部　計雄	筑波大学附属病院	2021 年 10 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日	消化器内科
4	塚田　篤志	筑波大学附属病院	2021 年 10 月 1 日～ 2021 年 9 月 30 日	脳神経外科
4	内田　健太	帝京大学医学部附属病院	2021 年 1 月 1 日～ 2021 年 6 月 30 日	リハビリテーション科
4	大槻　玄太	帝京大学医学部附属病院	2021 年 10 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日	リハビリテーション科
3	佐浦　　勲	筑波記念病院	2021 年 2 月 1 日～在籍中	循環器内科、血液内科、消化器内科
3	山﨑　幸紀	筑波記念病院	2021 年 10 月 1 日～在籍中	心臓血管外科
3	山田亮太郎	筑波記念病院	2021 年 4 月 1 日～在籍中	心臓血管外科
3	重田早紀子	筑波大学附属病院	2021 年 4 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日	消化器内科、血液内科、神経内科、呼吸器内科
3	河野　　豪	東京大学医学部附属病院	2021 年 10 月 1 日～在籍中	消化器外科
3	坂本　勇志	浦添総合病院	2020 年 9 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日	救急科
3	目﨑　直実	帝京大学医学部附属病院	2021 年 4 月 1 日～在籍中	リハビリテーション科

業　績　集

【論　文】

循環器内科

著　　者	論文タイトル	誌　　名	巻(号)	ページ	発行年月
Weiwei Chen, Zhixi Yu, Siming Li, Kenji Wagatsuma, Beibei Du, and Ping Yang	Concomitant acute myocardial infarction and acute pulmonary embolism caused by paradoxical embolism: a case report.	BMC Cardiovascular Disorders	21	313-318	2021.9

消化器内科

著　　者	論文タイトル	誌　　名	巻(号)	ページ	発行年月
小林 真理子、池澤 和人、岩井 健太郎、越智 大介、大塚 公一朗、添田 敦子、杉山 弘明	皮膚所見をともなわず診断に苦慮した多発無菌性皮下膿瘍合併潰瘍性大腸炎の１例	日本消化器病学会雑誌	118(7)	671-678	2021.7
Minashi Keiko, Yamada Takeshi, Hosaka Hisashi, Amagai Kenji, Shimizu Yoshiaki, Kiyozaki Hirokazu, Sato Mikio, Soeda Atsuko, Endo Shinji, Ishida Hiroyasu, Kamoshida Toshiro, Sakai Yoshinori, Shitara Kohei	Cancer-related FGFR2 overexpression and gene amplification in Japanese patients with gastric cancer	Jpn J Clin Oncol. 2021	51(10)	1523-1533	2021.10

神経内科

著　　者	論文タイトル	誌　　名	巻(号)	ページ	発行年月
Senda M, Ishii K, Ito K, Ikeuchi T, Matsuda H, Iwatsubo T, Iwata A, Ihara R, Suzuki K, Kasuga K, Ikari Y, Niimi Y, Arai H, Tamaoka A, Arahata Y, Itoh Y, Tachibana H, Ichimiya Y, Washizuka S, Odawara T, Ishii K, Ono K, Yokota T, Nakanishi A, Matsubara E, Mori H, Shimada H	A Japanese Multicenter Study on PET and Other Biomarkers for Subjects with Potential Preclinical and Prodromal Alzheimer's Disease	J Prev Alzheimers Dis	8(4)	495-502	2021
Nakamagoe K, Tsuji H, Ishii K, Tamaoka A	Correction to: Remarkable clinical responses of non-fluctuating Parkinson's disease (PD) after alternating catechol O-methyltransferase inhibitors: case series switching from entacapone 200 ～ 300 mg/day to opicapone 25 mg/day	Neurol Sci	42(11)	4859	2021.11
Nakamagoe K, Tsuji H, Ishii K, Tamaoka A	Remarkable clinical responses of non-fluctuating Parkinson's disease (PD) after alternating catechol O-methyltransferase inhibitors: case series switching from entacapone 200～300 mg/day to opicapone 25 mg/day.	Neurol Sci	42(11)	4813	2021.11

Nakajima T, Sankai Y, Takata S, Kobayashi Y, Ando Y, Nakagawa M, Saito T, Saito K, Ishida C, Tamaoka A, Saotome T, Ikai T, Endo H, Ishii K, Morita M, Maeno T, Komai K, Ikeda T, Ishikawa Y, Maeshima S, Aoki M, Ito M, Mima T, Miura T, Matsuda J, Kawaguchi Y, Hayashi T, Shingu M, Kawamoto H	Cybernic treatment with wearable cyborg Hybrid Assistive Limb (HAL) improves ambulatory function in patients with slowly progressive rare neuromuscular diseases: a multicentre, randomised, controlled crossover trial for efficacy and safety (NCY-3001)	Orphanet J Rare Dis	16(1)	304	2021.7
Aizawa H, Kato H, Oba K, Kawahara T, Okubo Y, Saito T, Naito M, Urushitani M, Tamaoka A, Nakamagoe K, Ishii K, Kanda T, Katsuno M, Atsuta N, Maeda Y, Nagai M, Nishiyama K, Ishiura H, Toda T, Kawata A, Abe K, Yabe I, Takahashi-Iwata I, Sasaki H, Warita H, Aoki M, Sobue G, Mizusawa H, Matsuyama Y, Haga T, Kwak S	Randomized phase 2 study of perampanel for sporadic amyotrophic lateral sclerosis	J Neurol	269(2)	885-896	2022.2
Ichimura Y, Konishi R, Shobo M, Inoue S, Okune M, Maeda A, Tanaka R, Kubota N, Matsumoto I, Ishii A, Tamaoka A, Shimbo A, Mori M, Morio T, Kishi T, Miyamae T, Tanboon J, Inoue M, Nishino I, Fujimoto M, Nomura T, Okiyama N	Anti-nuclear matrix protein 2 antibody-positive inflammatory myopathies represent extensive myositis without dermatomyositis-specific rash	Rheumatology (Oxford).	61(3)	1222-1227	2022.3
Okada R, Fujita SI, Suzuki R, Hayashi T, Tsubouchi H, Kato C, Sadaki S, Kanai M, Fuseya S, Inoue Y, Jeon H, Hamada M, Kuno A, Ishii A, Tamaoka A, Tanihata J, Ito N, Shiba D, Shirakawa M, Muratani M, Kudo T, Takahashi S	Transcriptome analysis of gravitational effects on mouse skeletal muscles under microgravity and artificial 1 g onboard environment	Sci Rep	11(1)	9168	2021.4
Nakamagoe K, Yamada T, Okune S, Moriwaki T, Tamaoka A	Fisher syndrome as an immune-related adverse event after using pembrolizumab but not nivolumab	Acta Neurol Belg	121(5)	1381-1382	2021.10
玉岡　晃	アルツハイマー病のＡβ標的薬：Ａβワクチンと抗Ａβ抗体	老年精神医学雑誌	32(11)	1133-1140	2021
玉岡　晃	アルツハイマー病の抗体アミロイドβ抗体治療の展開と現況	neurodien			2021
玉岡　晃	神経疾患とモノクローナル抗体治療：アルツハイマー病	CLINIAL NEUROSCIENCE https://www.neurodiem.jp/news/v-7DJSsOjtGsxhsr3MzPGigC	39(12)	1545-1547	2021
玉岡　晃	最終講義	桐医会会報	90	1-13	2021.10
玉岡　晃	高齢者てんかん：認知症との違い	脳神経内科	94(4)	528-534	2021

消化器外科

著　　者	論文タイトル	誌　　名	巻(号)	ページ	発行年月
上田和光、下田貢	Fitz-Hugh-Crtis 症候群の violin string-like adhesion を中心に捻転し絞扼された遊走胆嚢の１例	日本外科系連合学会誌	46（4）	495-499	2021
岩崎喜実、一色雄裕、大和里子、臺勇一、永井健、上田和光	直腸膣瘻を伴った骨盤内びまん性大細胞型Ｂ細胞リンパ腫の１例	日本外科系連合学会誌	47（1）	29-34	2022

心臓血管外科

著　　者	論文タイトル	誌　　名	巻(号)	ページ	発行年月
Akihiro Yoshimoto, Yoshihiro Suematsu, Kanan Kurahashi, Daisuke Arima, Satoshi Nishi	Early and Middle-term Results and Anticoagulation Strategy after Left Atrial Appendage Exclusion Using an Epicardial Clip Device.	Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery			
Akihiro Yoshimoto, Yoshihiro Suematsu, Kanan Kurahashi, Ryumon Matsumoto, Daisuke Arima, Satoshi Nishi	Comparison between Stand-alone Left Atrial Appendage Occlusion and Resection as Method to Prevent Cardiogenic Thromboembolic Stroke.	General Thoracic and Cardiovascular Surgery. under review			
山﨑幸紀、倉橋果南、有馬大輔、西智史、吉本明浩、末松義弘	拡張型心筋症患者に発症した心原性脳塞栓症に対する低侵襲外科的左心耳閉鎖術	雑誌「胸部外科」			
Daisuke Arima, Yoshihiro Suematsu, Ryotaro Yamada, Ryumon Matsumoto, Kanan Kurahashi, Satoshi Nishi, Akihiro Yoshimoto	Use of coagulation-fibrinolysis markers for prognostication of Stanford type acute aortic dissection.	JRSM cardiovascular disease. In press.			
Daisuke Arima, Yoshihiro Suematsu, Ryotaro Yamada, Ryumon Matsumoto, Kanan Kurahashi, Satoshi Nishi, Akihiro Yoshimoto	The relationship of acute type A aortic dissection and disseminated intravascular coagulation.	Journal of Vascular Surgery. Under review.			
Daisuke Arima, Yoshihiro Suematsu, Ryotaro Yamada, Yu Nakano, Kanan Kurahashi, Satoshi Nishi, Akihiro Yoshimoto	Early thoracic endovascular aortic repair for type B aortic dissection increased the success of aortic remodeling.	Annals of Vascular Surgery. Under review.			
Satoshi Nishi, Daisuke Arima, Ryumon Matsumoto, Kanan Kurahashi, Akihiro Yoshimoto, Yoshihiro Suematsu	Custom-made iliac fenestrated endoprosthesis for the treatment of internal iliac artery aneurysm with preservation of the superior gluteal artery	Journal of Vascular Surgery Cases, and Innovations and Techniques			

脳神経外科

著　　者	論文タイトル	誌　　名	巻(号)	ページ	発行年月
小沼邦之、山野晃生、中村和弘、谷中清之	動眼神経麻痺を呈した後交通動脈瘤の１例	茨城県臨床医学雑誌	56	88	2021
高田麻耶、中村和弘、佐藤允之、松丸祐司、石川栄一	血管内塞栓術で治療した中大脳動脈末梢の感染性脳動脈瘤	脳神経内科	94（4）	578-580	2021
Onuma K, Yanaka K, Akimoto Y, Yamano A, Nakamura K, Ishikawa E.	Microvascular Decompression for Oculomotor Nerve Palsy due to Nonaneurysmal vascular Compression	World Neurosurgery	145	102-106	2021

Tsukada A, Yanaka K, Nakamura K, Takahashi N, Onuma K, Takada M, Sato M, Matsumaru Y, Ishikawa E.	Extracranial arteriovenous malformation and subsequent contralateral cavernous sinus dural arteriovenous fistula showing abducens nerve palsy. Illustrative Case.	JNS case lessons	2（6）	CASE21265	2021
Akimoto Y, Yanaka K, Onuma K, Nakamura K, Ishikawa E	Prevotella brain abscess in a healthy patient with a patent foramen ovale: Case report.	Surgical Neurology International.	12（548）	238-242	2021

救急科

著　　者	論文タイトル	誌　　名	巻(号)	ページ	発行年月
Akira Komori, Hirotake Mori, Toshio Naito	The COVID-19 pandemic increased the demand for pneumococcal vaccination in Japan.	Human vaccines & immunotherapeutics		1-2	2021.8
Akira Komori, Hiroki Iriyama, Takako Kainoh, Makoto Aoki, Toshio Naito, Toshikazu Abe	The impact of infection complications after trauma differs according to trauma severity.	Scientific reports	11（1）	13803	2021.7
Akira Komori, Hirotake Mori, Yutaka Kojima, Yoko Tabe, Toshio Naito	Preoperative Universal SARS-CoV-2 Screening for Asymptomatic Patients: A Report From Tokyo, Japan.	Journal of cardiothoracic and vascular anesthesia	35（4）	1265-1267	2021.4
Ryota Inokuchi, Toshiki Kuno, Jun Komiyama, Kazuaki Uda, Yoshihisa Miyamoto, Yuta Taniguchi, Toshikazu Abe, Miho Ishimaru, Motohiko Adomi, Nanako Tamiya, Masao Iwagami	Association between Nafamostat Mesylate and In-Hospital Mortality in Patients with Coronavirus Disease 2019: A Multicenter Observational Study.	Journal of clinical medicine	11（1）		2021.12
Ryota Inokuchi, Xueying Jin, Masao Iwagami, Toshikazu Abe, Masatoshi Ishikawa, Nanako Tamiya	Factors associated with undertriage in patients classified by the need to visit a hospital by telephone triage: a retrospective cohort study.	BMC emergency medicine	21（1）	155	2021.12
Hiroki Iriyama, Akira Komori, Takako Kainoh, Yutaka Kondo, Toshio Naito, Toshikazu Abe	A nested case-control study of risk for pulmonary embolism in the general trauma population using nationwide trauma registry data in Japan.	Scientific reports	11（1）	19192	2021.9

Moritoki Egi, Hiroshi Ogura, Tomoaki Yatabe, Kazuaki Atagi, Shigeaki Inoue, Toshiaki Iba, Yasuyuki Kakihana, Tatsuya Kawasaki, Shigeki Kushimoto, Yasuhiro Kuroda, Joji Kotani, Nobuaki Shime, Takumi Taniguchi, Ryosuke Tsuruta, Kent Doi, Matsuyuki Doi, Taka-Aki Nakada, Masaki Nakane, Seitaro Fujishima, Naoto Hosokawa, Yoshiki Masuda, Asako Matsushima, Naoyuki Matsuda, Kazuma Yamakawa, Yoshitaka Hara, Masaaki Sakuraya, Shinichiro Ohshimo, Yoshitaka Aoki, Mai Inada, Yutaka Umemura, Yusuke Kawai, Yutaka Kondo, Hiroki Saito, Shunsuke Taito, Chikashi Takeda, Takero Terayama, Hideo Tohira, Hideki Hashimoto, Kei Hayashida, Toru Hifumi, Tomoya Hirose, Tatsuma Fukuda, Tomoko Fujii, Shinya Miura, Hideto Yasuda, Toshikazu Abe, Kohkichi Andoh, Yuki Iida, Tadashi Ishihara, Kentaro Ide, Kenta Ito, Yusuke Ito, Yu Inata, Akemi Utsunomiya, Takeshi Unoki, Koji Endo, Akira Ouchi, Masayuki Ozaki, Satoshi Ono, Morihiro Katsura, Atsushi Kawaguchi, Yusuke Kawamura, Daisuke Kudo, Kenji Kubo, Kiyoyasu Kurahashi, Hideaki Sakuramoto, Akira Shimoyama, Takeshi Suzuki, Shusuke Sekine, Motohiro Sekino, Nozomi Takahashi, Sei Takahashi, Hiroshi Takahashi, Takashi Tagami, Goro Tajima, Hiroomi Tatsumi, Masanori Tani, Asuka Tsuchiya, Yusuke Tsutsumi, Takaki Naito, Masaharu Nagae, Ichiro Nagasawa, Kensuke Nakamura, Tetsuro Nishimura, Shin Nunomiya, Yasuhiro Norisue, Satoru Hashimoto, Daisuke Hasegawa, Junji Hatakeyama, Naoki Hara, Naoki Higashibeppu, Nana Furushima, Hirotaka Furusono, Yujiro Matsuishi, Tasuku Matsuyama, Yusuke Minematsu, Ryoichi Miyashita, Yuji Miyatake, Megumi Moriyasu, Toru Yamada, Hiroyuki Yamada, Ryo Yamamoto, Takeshi Yoshida, Yuhei Yoshida, Jumpei Yoshimura, Ryuichi Yotsumoto, Hiroshi Yonekura, Takeshi Wada, Eizo Watanabe, Makoto Aoki, Hideki Asai, Takakuni Abe, Yutaka Igarashi, Naoya Iguchi, Masami Ishikawa, Go Ishimaru, Shutaro Isokawa, Ryuta Itakura, Hisashi Imahase, Haruki Imura, Takashi Irinoda, Kenji Uehara, Noritaka Ushio, Takeshi Umegaki, Yuko Egawa, Yuki Enomoto, Kohei Ota, Yoshifumi Ohchi, Takanori Ohno, Hiroyuki Ohbe, Kazuyuki Oka, Nobunaga Okada, Yohei Okada, Hiromu Okano, Jun Okamoto, Hiroshi Okuda, Takayuki Ogura, Yu Onodera, Yuhta Oyama, Motoshi Kainuma, Eisuke Kako, Masahiro Kashiura, Hiromi Kato, Akihiro Kanaya, Tadashi Kaneko, Keita Kanehata, Ken-Ichi Kano, Hiroyuki Kawano, Kazuya Kikutani, Hitoshi Kikuchi, Takahiro Kido, Sho Kimura, Hiroyuki Koami, Daisuke Kobashi, Iwao Saiki, Masahito Sakai, Ayaka Sakamoto, Tetsuya Sato, Yasuhiro Shiga, Manabu Shimoto, Shinya Shimoyama, Tomohisa Shoko, Yoh Sugawara, Atsunori Sugita, Satoshi Suzuki, Yuji Suzuki, Tomohiro Suhara, Kenji Sonota, Shuhei Takauji, Kohei Takashima, Sho Takahashi, Yoko Takahashi, Jun Takeshita, Yuuki Tanaka, Akihito Tampo, Taichiro Tsunoyama, Kenichi Tetsuhara, Kentaro Tokunaga, Yoshihiro Tomioka, Kentaro Tomita, Naoki Tominaga, Mitsunobu Toyosaki, Yukitoshi Toyoda, Hiromichi Naito, Isao Nagata, Tadashi Nagato, Yoshimi Nakamura, Yuki Nakamori, Isao Nahara, Hiromu Naraba, Chihiro Narita, Norihiro Nishioka, Tomoya Nishimura, Kei Nishiyama, Tomohisa Nomura, Taiki Haga, Yoshihiro Hagiwara, Katsuhiko Hashimoto, Takeshi Hatachi, Toshiaki Hamasaki, Takuya Hayashi, Minoru Hayashi, Atsuki Hayamizu, Go Haraguchi, Yohei Hirano, Ryo Fujii, Motoki Fujita, Naoyuki Fujimura, Hiraku Funakoshi, Masahito Horiguchi, Jun Maki, Naohisa Masunaga, Yosuke Matsumura, Takuya Mayumi, Keisuke Minami, Yuya Miyazaki, Kazuyuki Miyamoto, Teppei Murata, Machi Yanai, Takao Yano, Kohei Yamada, Naoki Yamada, Tomonori Yamamoto, Shodai Yoshihiro, Hiroshi Tanaka, Osamu Nishida	The Japanese Clinical Practice Guidelines for Management of Sepsis and Septic Shock 2020 (J-SSCG 2020).	Journal of intensive care	9（1）	53	2021.8

Shigeto Ishikawa, Ippei Miyagawa, Masashi Kusanaga, Toshikazu Abe, Atsushi Shiraishi, Seitaro Fujishima, Hiroshi Ogura, Daizoh Saitoh, Shigeki Kushimoto, Yasukazu Shiino, Toru Hifumi, Yasuhiro Otomo, Kohji Okamoto, Joji Kotani, Yuichiro Sakamoto, Junichi Sasaki, Shin-Ichiro Shiraishi, Kiyotsugu Takuma, Akiyoshi Hagiwara, Kazuma Yamakawa, Naoshi Takeyama, Satoshi Gando, Toshihiko Mayumi	Association of frailty on treatment outcomes among patients with suspected infection treated at emergency departments.	European journal of emergency medicine	28 (4)	285-291	2021.8
Takahiro Kido, Masao Iwagami, Toshikazu Abe, Yuki Enomoto, Hidetoshi Takada, Nanako Tamiya	Association between off-hour admission of critically ill children to intensive care units and mortality in a Japanese registry.	Scientific reports	11 (1)	14988	2021.7
Akira Komori, Hiroki Iriyama, Takako Kainoh, Makoto Aoki, Toshio Naito, Toshikazu Abe	The impact of infection complications after trauma differs according to trauma severity.	Scientific reports	11 (1)	13803	2021.7
Isao Nagata, Toshikazu Abe, Hiroshi Ogura, Shigeki Kushimoto, Seitaro Fujishima, Satoshi Gando	Intensive care unit model and in-hospital mortality among patients with severe sepsis and septic shock: A secondary analysis of a multicenter prospective observational study.	Medicine	100 (21)	e26132	2021.5
Toshikazu Abe	Viral dynamics and clinical courses in long-haulers with SARS-CoV-2.	QJM : monthly journal of the Association of Physicians			2021.5
Takeshi Wada, Atsushi Shiraishi, Satoshi Gando, Kazuma Yamakawa, Seitaro Fujishima, Daizoh Saitoh, Shigeki Kushimoto, Hiroshi Ogura, Toshikazu Abe, Toshihiko Mayumi, Junichi Sasaki, Joji Kotani, Naoshi Takeyama, Ryosuke Tsuruta, Kiyotsugu Takuma, Norio Yamashita, Shin-Ichiro Shiraishi, Hiroto Ikeda, Yasukazu Shiino, Takehiko Tarui, Taka-Aki Nakada, Toru Hifumi, Kohji Okamoto, Yuichiro Sakamoto, Akiyoshi Hagiwara, Tomohiko Masuno, Masashi Ueyama, Satoshi Fujimi, Yutaka Umemura, Yasuhiro Otomo	Disseminated intravascular coagulation immediately after trauma predicts a poor prognosis in severely injured patients.	Scientific reports	11 (1)	11031	2021.5

Yuki Enomoto, Masao Iwagami, Asuka Tsuchiya, Kojiro Morita, Toshikazu Abe, Takahiro Kido, Kazuaki Uda, Ryota Inokuchi, Hideo Yasunaga, Yoshiaki Inoue, Nanako Tamiya	Dexmedetomidine use and mortality in mechanically ventilated patients with severe burns: A cohort study using a national inpatient database in Japan.	Burns			2021.5
Seitaro Fujishima, Satoshi Gando, Daizoh Saitoh, Shigeki Kushimoto, Hiroshi Ogura, Toshikazu Abe, Atsushi Shiraishi, Toshihiko Mayumi, Junichi Sasaki, Joji Kotani, Naoshi Takeyama, Ryosuke Tsuruta, Kiyotsugu Takuma, Norio Yamashita, Shin-Ichiro Shiraishi, Hiroto Ikeda, Yasukazu Shiino, Takehiko Tarui, Taka-Aki Nakada, Toru Hifumi, Yasuhiro Otomo, Kohji Okamoto, Yuichiro Sakamoto, Akiyoshi Hagiwara, Tomohiko Masuno, Masashi Ueyama, Satoshi Fujimi, Kazuma Yamakawa, Yutaka Umemura	Incidence and Impact of Dysglycemia in Patients with Sepsis Under Moderate Glycemic Control.	Shock			2021.5
Makoto Aoki, Toshikazu Abe, Shuichi Hagiwara, Daizoh Saitoh, Kiyohiro Oshima	Embolization versus Surgery for Stabilized Patients with Solid Organ Injury.	Journal of vascular and interventional radiology			2021.5
Makoto Aoki, Toshikazu Abe, Shokei Matsumoto, Shuichi Hagiwara, Daizoh Saitoh, Kiyohiro Oshima	Delayed embolization associated with increased mortality in pelvic fracture with hemodynamic stability at hospital arrival.	World journal of emergency surgery	16 (1)	21	2021.5
Ryo Yamamoto, Seitaro Fujishima, Junichi Sasaki, Satoshi Gando, Daizoh Saitoh, Atsushi Shiraishi, Shigeki Kushimoto, Hiroshi Ogura, Toshikazu Abe, Toshihiko Mayumi, Joji Kotani, Taka-Aki Nakada, Yasukazu Shiino, Takehiko Tarui, Kohji Okamoto, Yuichiro Sakamoto, Shin-Ichiro Shiraishi, Kiyotsugu Takuma, Ryosuke Tsuruta, Tomohiko Masuno, Naoshi Takeyama, Norio Yamashita, Hiroto Ikeda, Masashi Ueyama, Toru Hifumi, Kazuma Yamakawa, Akiyoshi Hagiwara, Yasuhiro Otomo	Hyperoxemia during resuscitation of trauma patients and increased intensive care unit length of stay: inverse probability of treatment weighting analysis.	World journal of emergency surgery	16 (1)	19	2021.4

Motohiko Adomi, Toshiki Kuno, Jun Komiyama, Yuta Taniguchi, Toshikazu Abe, Atsushi Miyawaki, Shinobu Imai, Kojiro Morita, Makoto Saito, Hiroyuki Ohbe, Tadashi Kamio, Nanako Tamiya, Masao Iwagami	Association between pre-admission anticoagulation and in-hospital death, venous thromboembolism, and major bleeding among hospitalized COVID-19 patients in Japan.	Pharmacoepidemiology and drug safety	31（6）	680-688	2022.3
Yuta Taniguchi, Toshiki Kuno, Jun Komiyama, Motohiko Adomi, Toshiki Suzuki, Toshikazu Abe, Miho Ishimaru, Atsushi Miyawaki, Makoto Saito, Hiroyuki Ohbe, Yoshihisa Miyamoto, Shinobu Imai, Tadashi Kamio, Nanako Tamiya, Masao Iwagami	Comparison of patient characteristics and in-hospital mortality between patients with COVID-19 in 2020 and those with influenza in 2017-2020: a multicenter, retrospective cohort study in Japan.	The Lancet regional health. Western Pacific	20	100365	2022.3
Yutaka Umemura, Toshikazu Abe, Hiroshi Ogura, Seitato Fujishima, Shigeki Kushimoto, Atsushi Shiraishi, Daizoh Saitoh, Toshihiko Mayumi, Yasuhiro Otomo, Toru Hifumi, Akiyoshi Hagiwara, Kiyotsugu Takuma, Kazuma Yamakawa, Yasukazu Shiino, Taka-Aki Nakada, Takehiko Tarui, Kohji Okamoto, Joji Kotani, Yuichiro Sakamoto, Junichi Sasaki, Shin-Ichiro Shiraishi, Ryosuke Tsuruta, Tomohiko Masuno, Naoshi Takeyama, Norio Yamashita, Hiroto Ikeda, Masashi Ueyama, Satoshi Gando	Hour-1 bundle adherence was associated with reduction of in-hospital mortality among patients with sepsis in Japan.	PloS one	17（2）	e0263936	2022.2

皮膚科

著　　者	論文タイトル	誌　　名	巻(号)	ページ	発行年月
Atsushi Terunuma, et al.	Extracellular vesicles from mesenchymal stem cells of dental pulp and adipose tissue display distinct transcriptomic characteristics suggestive of potential therapeutic targets	Journal of Stem Cells & Regenerative Medicine	17（2）	56-60	2021.12

リハビリテーション科

著　　者	論文タイトル	誌　　名	巻(号)	ページ	発行年月
Kazuaki Ebihara, Naoki Tanaka, Takashi Isaji, Masashi Yamazaki	Effects of gait training with a footpad-type robotic locomotion interface on individual and muscle group activities in healthy adults: comparison with treadmill	The Journal of Rehabilitation Sport	Vol.40 No.2	44-54	2021 (2022.3)

【書　籍】

循環器内科

著　　者	書　籍　名	監修・編集	担当項目	出版社	ページ	発行年月
我妻賢司	バルーン破裂した後はどうするか？新PCI・カテーテル室のピンチからの脱出法－達人が教える119のテクニック－	編集：村松俊哉	バルーン破裂した後はどうするか？	南山堂	207-212	2021.12

神経内科

著　　者	書　籍　名	監修・編集	担当項目	出版社	ページ	発行年月
玉岡　晃	アルツハイマー病治療の新たなストラテジー	橋本　衛、岩田　淳編集	アルツハイマー病の新規治療ー臨床的意義：疾患就職薬の開発と現在（BACE阻害薬などを含めて）	先端医学社（東京）	108-112	2022
玉岡　晃	治療薬マニュアル2022	高久史磨、矢崎義雄監修、北原光夫、上野文昭、越前宏俊編集	抗てんかん薬、パーキンソン病／症候群治療薬、脳循環代謝改善薬、筋弛緩薬、自律神経作用薬、抗めまい薬、片頭痛治療薬、その他の神経系用薬	医学書院（東京）	299-475	2021
玉岡　晃	Pocket Drugs 2022	福井次矢監修、小松康宏、渡邉裕司、編集	認知症治療薬	医学書院（東京）	102-103	2021

小児外科

著　　者	書　籍　名	監修・編集	担当項目	出版社	ページ	発行年月
上岡克彦	今日の治療指針　2022		停留精巣、精巣捻転症	医学書院	1242-1243	2022.1.1

救急科

著　　者	書　籍　名	監修・編集	担当項目	出版社	ページ	発行年月
小森 大輝	総合診療		「検査」のニューノーマル2021- この検査はもう古い？あの新検査はやるべき？】（Ⅱ章）「そろそろやるべき？」検査編 気管挿管×ビデオ喉頭鏡		1134-1135	2021.9
小森 大輝	総合診療		「検査」のニューノーマル2021- この検査はもう古い？あの新検査はやるべき？】（Ⅱ章）「そろそろやるべき？」検査編 髄膜炎の鑑別（細菌性／ウイルス性）×髄液乳酸値		1132-1133	2021.9
阿部 智一	ジェネラリスト教育コンソーシアム		新時代の地域医療 - 会津の在宅医療 へき地での救急医療		20-36	2022.2
徳田 安春、阿部 智一、鎌田 一宏、山中 克郎	ジェネラリスト教育コンソーシアム		新時代の地域医療 - 会津の在宅医療		37-52	2022.2
阿部 智一	Thrombosis Medicine		Sepsis-3を検証する（第3回）Sepsis-4を模索する		232-235	2021.9

久志本 成樹、阿部智一、矢田部 智昭	救急医学		【もっと知りたい、わかりたい 日本版敗血症診療ガイドライン 2020】もっと知る、もっとわかる J-SSCG2020 体温管理		1168-1173	2021.8
入山大希、高橋宏瑞	診断と治療社		メトホルミンが著効する特発性浮腫とは			

放射線科

著　者	書　籍　名	監修・編集	担当項目	出版社	ページ	発行年月
鯨岡結賀	画像診断別冊　知っておきたい乳房の画像診断	角田博子・松林（名本）路花編	Ⅰ．正常のバリエーション・アーチファクト　乳房の解剖、構造としてのバリエーション、マンモグラフィ（MG）上の所見	秀潤社	20-31	2021.4

【学会・講演・セミナー等】

血液内科

発　表　者	演　題　名	学会・会合名	開催地	開催年月
阿久津開、佐藤祐二	自己免疫性溶血性貧血発症から 5 年後、溶血の悪化を契機に診断されたびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫	第 669 回内科学会関東地方会	Web 開催	2021.6
丸山夏樹、一色雄裕	抗 HLA 抗体により血小板輸血不応であった再生不良性貧血	第 671 回内科学会関東地方会	Web 開催	2021.9
齋藤祥愛、佐藤祐二	Bing-Neel 症候群に対して Tirabrutinib で加療した原発性マクログロブリン血症の 1 例	第 673 回内科学会関東地方会	Web 開催	2021.11
重田早紀子、佐藤祐二	偏食を背景としたビタミン B12、葉酸欠乏による巨赤芽球性貧血に偽性 TTP を伴った 1 例	第 16 回日本血液学会関東甲信越地方会	Web 開催	2022.3

循環器内科

発　表　者	演　題　名	学会・会合名	開催地	開催年月
内田靖人，沼田るり子，新居秀郎，我妻賢司，小關 迪	2 回、STEMI を発症した真性多血症の一例.	第 58 回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会	東京	2021. 10
Kenji Wagatsuma	Case Session Ⅷ　Complex PCI	The 26th TCTAP 2021	Seoul, Korea (Virtual)	2021.4
Kenji Wagatsuma	Guide Catheter Extension for Complex Percutaneous Coronary Interventions: When and How,	The 19th Gwangju International Interventional Cardiology Symposium (GICS2021)	Gwangju, Korea (Online)	2021. 6
Kenji Wagatsuma	Antiplatelet Use for CAD,	The 19th Gwangju International Interventional Cardiology Symposium (GICS2021)	Gwangju, Korea (Online)	2021. 6
Kenji Wagatsuma	Featuring Training Session and Clinical Workshop 3: Step3. Stenting & Optimization,	6th Complex PCI 2021	Seoul, Korea (Virtual)	2021. 11
新居秀郎	Common disease となった心不全 ～2021 年にアップデートされた急性・慢性心不全ガイドラインより～	真壁医師会学術講演会	筑西（Web）	2021. 7

新居秀郎	入院を伴う心不全治療～近年承認された新薬を中心に～	心不全地域連携 WEB 学術講演会	つくば（Web）	2021. 8
新居秀郎	心不全患者への ANRI 処方経験～長期処方解禁後に ANRI を入院導入した連続 2 症例～	最新の高血圧治療を考察する－新たな選択肢 ANRI の活用法	つくば（Web）	2021. 12
内田靖人	虚血性心疾患で難渋した症例 or 研究テーマについて	第一回循環器 Expert Meeting ～ 虚血性心疾患 最新の治療を考える会～　in 茨城	つくば（Web）	2022. 3

消化器内科

発　表　者	演　題　名	学会・会合名	開催地	開催年月
池澤和人、廣瀬充明、鈴木英雄	リアルワールドにおける低用量アスピリン内服脳梗塞入院患者でのプロトンポンプ阻害剤 / ボノプラザンの併用状況（全国 380 施設の DPC データ集計による病院規模間の格差）	第 107 回日本消化器病学会総会	東京	2021.4
野本怜、小林真理子、岩井健太郎、越智大介、大塚公一朗、添田敦子、池澤和人	非代償性肝硬変に合併した抗菌薬による薬剤性肺炎の 2 例	第 364 回日本消化器病学会関東支部例会	東京	2021.4
松本佳奈、添田敦子、大塚公一朗、永井志歩、岩井健太郎、小林真理子、越智大介、池澤和人	WON を伴う急性膵炎で発症した自己免疫性膵炎の一例	第 364 回日本消化器病学会関東支部例会	東京	2021.4
池澤和人、金森毅繁、矢部義人、丸山常彦、湯地晃一郎、柳橋祐一、中川隆広、廣瀬充明、鈴木英雄	脳梗塞治療における早期栄養開始および早期強化リハビリ療法併用の ADL 改善効果：機械学習を用いた傾向スコア分析	第 3 回日本メディカル AI 学会	東京	2021.6
池澤和人、阿部真由美、矢部義人、藤原淳、丸山常彦	脳梗塞患者における早期食事開始指示への影響因子（DPC データを用いた xgboost による feature importance 分析）	第 36 回日本臨床栄養代謝学会学術集会	神戸	2021.7
池澤和人、金森毅繁、丸山常彦、小關 剛、長澤俊郎	脳梗塞治療への早期栄養とリハビリ併用の有効性検証：機械学習による傾向スコア分析	第 23 回日本医療マネジメント学会	大阪	2021.7
重田早紀子、添田敦子、川越亮承、根本絵美、丹下善隆、新里悠輔、大塚公一朗、越智大介、池澤和人、菅野優貴、岩崎喜実、上田和光、大和万里子	内視鏡的減圧が奏功し術前診断に至った輸入脚閉塞合併 Billroth Ⅱ法再建残胃癌の 1 例	第 217 回茨城内科学会	水戸	2021.1
小林真理子、野本怜、岩井健太郎、越智大介、大塚公一朗、添田敦子、池澤和人	肝不全用アミノ酸製剤の服薬アドヒアランスと血清 alb 値・腸腰筋軸長の変化に関する検討	第 63 回日本消化器病学会大会（JDDW2021）	神戸	2021.11
池澤和人、廣瀬充明、鈴木英雄、丸山常彦、金森毅繁、柳橋祐一、中川隆広、湯地晃一郎	早期強化リハビリの有効性検証 :XGBoost を用いた傾向スコア分析	第 22 回日本クリニカルパス学会	山形	2021.11
重田早紀子、添田敦子、川越亮承、根本絵美、丹下善隆、新里悠輔、大塚公一朗、越智大介、池澤和人、菅野優貴、岩崎喜実、上田和光、大和万里子	内視鏡的減圧が奏功し術前診断に至った輸入脚閉塞合併 Billroth Ⅱ法再建残胃癌の 1 例	第 113 回　口本消化器内視鏡学会関東支部例会	東京	2021.11
椿山正哉、添田敦子、小島丈心、佐浦勲、重田早紀子、安部計雄、根本絵美、丹下善隆、新里悠輔、越智大介、大和万里子、高橋信幸、池澤和人	緊急肝動脈塞栓術が奏功した胃癌肝転移破裂の 1 例	第 368 回日本消化器病学会関東支部例会	東京	2022.2

神経内科

発　表　者	演　題　名	学会・会合名	開催地	開催年月
柳葉久実、清水眸、大内翔悟、石井一弘、星野幸子、中森暁子、中山雅博、河合瞳、松原大祐、玉岡晃	口腔小細胞癌に伴って抗 PQ 型 VGCC 抗体陽性と小脳性運動失調を呈した 53 歳男性例	第 676 回日本内科学会関東地方会	東京	2022.3
清水　眸、柳葉久実、星野幸子、武田勇人、玉岡　晃	フルート吹奏時の embouchure tremor を呈した 64 歳男性例	第 239 回日本神経学会関東・甲信越地方会	東京	2021.12
柳葉久実、清水　眸、星野幸子、武田勇人、及川慶子、石川宏明、大塚盛男、武石岳人、中澤健介、玉岡　晃	当初ベル麻痺と考えられたが、対側にも顔面神経麻痺を発症し、サルコイドーシスと診断された 44 歳女性例	第 672 回日本内科学会関東地方会	東京	2021.1
市村 裕輝，小西 里沙，正保 美和子，井上 紗惠，田中 亮多，久保田 典子，松本 功，石井 亜紀子，玉岡 晃，真保 麻実，森 雅亮，森尾 友宏，岸 崇之，宮前 多佳子，Jantima Tanboon，井上 道雄，西野 一三，藤本 学，乃村 俊史，沖山 奈緒子	抗 nuclear matrix protein 2 (NXP2) 抗体陽性特発性炎症性筋疾患は皮膚筋炎特異疹が乏しい	第 49 回日本臨床免疫学会総会	東京	2021.1
高橋　華，辻　浩史，石井一弘，玉岡　晃	低 Na 血症の治療に難渋した抗 leucine-rich glioma-inactivated 1 protein（LGI1）抗体陽性辺縁系脳炎の 1 例	第 671 回日本内科学会関東地方会	東京	2021.9
保坂孝史、寺田真、濱野有美子、小松憲一、大窪勝一朗、小山泰明、鈴木哲、辻浩史、梶井英治、玉岡晃、水谷太郎	カフ過膨張による圧迫止血のみで良好な経過を得た気管腕頭動脈瘻の 1 例	第 45 回茨城県救急医学会	水戸	2021.9
玉岡　晃	非定型パーキンソン病に対するオピカポンの使用経験	第 2 回 New Horizin of Neurologic disease in IBARAKI	つくば	2021.8
鍛冶田倫英、大内翔悟、石井一弘、玉岡晃	右視野欠損、てんかん重責状態を来たした抗 GAD 抗体関連脳炎の 71 歳女性例	第 42 回茨城てんかん懇話会	つくば	2021.7
棟居 佳子、石井一弘、玉岡晃。八神健一、揚山直英、保富康宏、下澤律浩	神経セロイド・リポフスチン症 2 型カニクイザルに関する病理組織学的解析	第 29 回サル疾病ワークショップ		2021.7
法岡菜月、栗田尚樹、加村雄哉、日下部学、高橋華、松岡亮太、中馬越清隆、石井亜紀子、玉岡晃、千葉滋	腫瘍細胞の神経浸潤による末梢神経障害を呈した原発性マクログロブリン血症	第 15 回日本血液学会関東甲信越地方会	箱根湯本	2021.7
大内翔悟、石井一弘、小崎健次郎、鈴木寿人、山田茉未子、武内俊樹、玉岡　晃	小脳性運動失調に末梢神経障害やパーキンソニズムを呈し、COA7 遺伝子変異が認められた 60 歳男性例	第 32 回茨城神経疾患カンファレンス	つくば	2021.7
大内翔悟、中泉太祐、中馬越清隆、古庄健太郎、薮内悠貴、松岡亮太、増子裕典、野口雅之、檜澤伸之、玉岡晃	舞踏運動をきっかけに小細胞癌が発見され、抗 amphiphysin 抗体陽性を呈した腫瘍随伴性神経症候群の 79 歳男性例	第 669 回日本内科学会関東地方会	東京	2021.6
三橋泉、石井一弘、石川欽也、水澤英洋、玉岡晃	脊髄小脳変性症 21 型の 47 歳男性例	第 237 回日本神経学会関東・甲信越地方会	東京	2021.6
高橋 華，塩谷彩子，織田彰子，長崎一哉，小林裕幸，玉岡晃	当院における静脈血栓症 4 例の検討	第 62 回日本神経学会学術大会	京都	2021.5
石井一弘，根本清貴，岩崎信明，中山智博，柴田康行，増田知之，根本広文，玉岡　晃	有機ヒ素化合物（ジフェニルアルシン酸）暴露は脳老化を促進する可能性がある	第 62 回日本神経学会学術大会	京都	2021.5

Kiyotaka Nakamagoe, Ikumi Tateno, Norihide Kajita, Hiroki Miyauchi, Tetsu Suzuki, Izumi Mihashi, Hana Takahashi, Shougo Ouchi, Hayato Takeda, Tadachika Koganezawa, Akira Tamaoka	Pathological ocular movements with amyotrophic lateral sclerosis	62nd Annual Meeting of the Japanese Society of Neurology	京都	2021.5
Takashi Hosaka, Hiroshi Tsuji, Makoto Terada, Yasushi Tomidokoro, Kiyotaka Nakamagoe, Akiko Ishii, Kazuhiro Ishii, Shin Kwak, Akira Tamaoka	Total extracellular RNA levels in cerebrospinal fluid derived from amyotrophic lateral sclerosis	62nd Annual Meeting of the Japanese Society of Neurology.	京都	2021.5
鈴木　哲、中馬越清隆、三橋泉、武田勇人、玉岡　晃	CIDP に対する免疫グロブリン皮下注射製剤効果の検討	第 62 回日本神経学会学術大会	京都	2021.5
Yasushi Tomidokoro, Kazuhiro Ishii, Akira Tamaoka	Biomarkers of non-AD control subjects with or without DDP-IV inhibitors, a preliminary study	62nd Annual Meeting of the Japanese Society of Neurology. May 19 , 2021	京都	2021.5
大内 翔悟、石井亜紀子、高橋華、塩谷彩子、保坂孝史、松岡亮太、武田勇人、三橋　泉、清水　眸、辻　浩史、廣木昌彦、冨所康志、中馬越清隆、石井一弘、野口雅之、玉岡　晃	10 年以上生存した小児発症と成人発症 MELAS の 2 剖検例の比較	第 62 回日本神経学会学術大会	京都	2021.5
宮内 博基、大内翔悟、中馬越清隆、石井一弘、玉岡　晃、森戸直記	細胞性免疫低下を背景として進行性多巣性白質脳症の異なる臨床症状を呈した 2 例	第 62 回日本神経学会学術大会	京都	2021.5
三橋 泉、武田勇人、奥根　祥、塩谷彩子、大内翔悟、宮内博基、鈴木　哲、鍛冶田倫英、辻　浩史、中馬越清隆、冨所康志、石井一弘、玉岡　晃	脂質蓄積性ミオパチー 4 例の臨床的検討	第 62 回日本神経学会学術大会	京都	2021.5
石井 亜紀子、辻　浩史、玉岡晃、八ツ賀秀一、古賀靖敏、白川　卓、松尾雅文	ミトコンドリア病における尿中タイチン（コネクチン）は血清 GDF-15 と関連する	第 62 回日本神経学会学術大会	京都	2021.5
鍛冶田倫英、辻　浩史、織田彰子、石井亜紀子、冨所康志、中馬越清隆、石井一弘、武田勇人、大内翔悟、鈴木　哲、三橋 泉、宮内博基、玉岡　晃	筋サルコイドーシス患者に対する免疫療法の治療効果の検討	第 62 回日本神経学会学術大会	京都	2021.5
白岩伸子、玉岡　晃、大越教夫	薬剤性パーキンソニズム治療困難症例とレビー小体型認知症の関連	第 62 回日本神経学会学術大会	京都	2021.5
鈴木哲、中馬越清隆、石井一弘、佐藤克也、北本哲之、玉岡晃	地理的障害で発症したプリオン蛋白 V180I 変異を有する遺伝性 Creutzfeldt-Jacob 病の 71 歳男性例	第 668 回日本内科学会関東地方会	東京	2021.5
桐山 真由子、大内 翔悟、川松 直人、辻 浩史、石井 亜紀子、山崎 浩、川崎 仁志、西野一三、家田 直樹、玉岡 晃	心筋炎、2 型呼吸不全を呈した抗ミトコンドリア M2 抗体陽性筋炎の 1 例	第 668 回日本内科学会関東地方会	東京	2021.5
玉岡　晃	認知症とパーキンソン病～レビー小体型認知症の前駆症状も含めて～	日常診療における認知症とパーキンソン病について		2022.2
玉岡　晃	Closing Remarks：パーキンソン病（PD）と多発性硬化症（MS）における認知機能障害	第 5 回茨城神経内科フォーラム		2022.2
玉岡　晃	脂質異常症と認知症～関連危険因子も含めて～	日本老年精神医学会第 8 回心理士講習会		2022.2

玉岡　晃	Closing Remarks	茨城　片頭痛　Web Forum ～片頭痛診療のパラダイムチェンジ～		2021.12
玉岡　晃	脳血管障害と認知症・パーキンソン症候群について～健康寿命延伸と老年症候群防止のために神経内科の果たすべき役割～	いばらき健康寿命延伸 Web Seminar		2021.12
玉岡　晃	SMA 成人例のスクリーニングについて	茨城神経難病セミナー		2021.12
玉岡　晃	アルツハイマー病の病態と治療	第 40 回日本認知症学会学術集会	東京	2021.11
玉岡　晃	閉会の辞	頭が痛い人いませんか？～地域で診る頭痛診療～ WEB Seminar		2021.11
玉岡　晃	代表的な認知症疾患の診断と治療	第 39 回日本神経治療学会学術集会	名古屋	2021.11
玉岡　晃	Closing Remarks	Neuro Conference 2021		2021.1
玉岡　晃	意思能力 ® の鑑定について～特に遺言能力（遺言作成時の意思能力 ®）を中心に～	意思能力 ® 鑑定ウエブセミナー	東京	2021.6
玉岡　晃	代表的（変性型）認知症の症状・診断～認知機能検査も含めて～	第 5 回日本脳神経外科認知症学会学術総会「もの忘れ外来診療のためのエッセンシャル」講習会「認知症の診断」	東京	2021.6-7
玉岡　晃	これからの神経難病治療を考える～パーキンソン病治療を中心に～	これからのパーキンソン病治療を考える		2021.5

消化器外科

発　表　者	演　題　名	学会・会合名	開催地	開催年月
岩崎喜実、黒田　純、永井　健、上田和光	市中病院における高齢者大腸癌に対する外科治療の現状	第 76 回日本大腸肛門病学会	広島	2021.11
岩崎喜実、河野豪、永井　健、菅野優貴、上田和光	高齢女性に発症した上行結腸癌の 1 例	第 249 回茨城外科学会	つくば	2021.11
菅野優貴、河野豪、永井　健、岩崎喜実、上田和光	TAPP 法で修復した巨大な右鼠経ヘルニアの 1 例	第 249 回茨城外科学会	つくば	2021.11
岩崎喜実、永井　健、菅野優貴、上田和光	直腸膣瘻を伴った骨盤内びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例	第 83 回日本臨床外科学会	東京	2021.11
菅野優貴、永井　健、岩崎喜実上田和光	腹腔鏡下に切除した腹壁平滑筋腫の 1 例	第 34 回日本内視鏡外科学会	神戸	2021.12

小児外科

発　表　者	演　題　名	学会・会合名	開催地	開催年月
相吉翼、瓜田泰久、上岡克彦、他	膀胱尿管逆流症に合併する尿道狭窄に対する経尿道的尿道狭窄切開術の検討	第 30 回日本小児泌尿器科学会・学術集会	大阪	2021.7.3
瓜田泰久、上岡克彦、他	Mitrofanoff 導尿路造設後長期経過した 3 症例	第 30 回日本小児泌尿器科学会・学術集会	大阪	2021.7.4
田中尚、瓜田泰久、上岡克彦、他	硬化性萎縮性苔癬による小児包茎の 2 例	第 30 回日本小児泌尿器科学会・学術集会	大阪	2021.7.3
神保教広、増本幸二、上岡克彦、他	新生児期精巣内嚢胞性病変に対する治療介入	第 30 回日本小児泌尿器科学会・学術集会	大阪	2021.7.3

心臓血管外科

発　表　者	演　題　名	学会・会合名	開催地	開催年月
吉本明浩、倉橋果南、有馬大輔、西智史、末松義弘	左心耳マネージメント戦略としての単独左心耳閉鎖術と切除術の比較検討	第74回日本胸部外科学会定期学術集会		2021.10.31-11.3
有馬大輔、末松義弘、倉橋果南、金子寛行、西智史、吉本明浩	B型大動脈解離の治療時期についての検討	第121回日本外科学会定期学術集会（ポスター、Web）		2021.4.1
西　智史、松本龍門、倉橋果南、末松義弘	上行大動脈仮性瘤に対し開窓型ステントグラフトと非解剖学的バイパスを組み合わせたZone 0 TEVAR	第49回日本血管外科学会学術総会（ポスター、Web）		2021.5.19-21
西　智史、山崎幸紀、山田亮太郎、倉橋果南、吉本明浩、末松義弘	心嚢液貯留を伴った遠位弓部大動脈にエントリーを有する急性A型解離に対する低侵襲治療の1例	第62回日本脈管学会総会（ポスター、Web）		2021.10.14-16
西　智史	Relay Plus- 懐刀 -	Terumo Aortic Web Seminar（講演、Web）		2021.4.26
西　智史		日本ライフライン社内Web演会（講師）		2021.5.21
西　智史	Pelvic collateral pathway during endovascular aortoiliac aneurysm repair with internal iliac artery interruption: a retrospective observational study	The 4th Z-Conference on the Web（講演、Web）		2021.6.2
西　智史		第5回北関東ステントグラフトクラブ（コメンテーター、Web）		2021.7.22
山田亮太郎、末松義弘、吉本明浩、西智史、有馬大輔、倉橋果南、中野優	心原性脳塞栓症を発症した出血リスクの高い発作性心房細動患者に対して小開胸下左心耳閉鎖術を施行した1例	第187回胸部外科学会関東甲信越地方会		2021.11.6

整形外科

発　表　者	演　題　名	学会･会合名	開催地	開催年月
村上浩平	トモシンセスを用いた3D porous cupの人工股関節全置換術後の術後成績の検討	第52回日本人工関節集会	国立京都国際会館	2022.2.26
水草真実	人工股関節摺動面交換術後に同側の腸腰筋と大腿四頭筋麻痺を生じた一例	第52回日本人工関節集会	国立京都国際会館	2022.2.26

脳神経外科

発　表　者	演　題　名	学会・会合名	開催地	開催年月
塚田篤志、中村和弘、高田麻耶、小沼邦之、谷中清之	下方注視麻痺を主徴とした中脳出血の1例	第39回筑波脳神経外科研究会学術集会	WEB	2021.2.14
小沼邦之、塚田篤志、高田麻耶、中村和弘、谷中清之	非造影T1強調3次元高速スピンエコー法が診断に有用であった特発性頭蓋外椎骨動脈解離の1例	第104回茨城県脳神経外科集談会	WEB	2021.3.6
中村和弘、塚田篤志、高田麻耶、小沼邦之、佐藤允之、伊藤嘉朗、末松義弘、松丸祐司、谷中清之、石川栄一	心原性脳塞栓症予防における外科的左心耳マネジメントの臨床的意義	第46回日本脳卒中学会学術総会（STROKE2021）	WEB	2021.3.11-4.12
塚田篤志、中村和弘、谷中清之、高橋信幸、高田麻耶、小沼邦之、佐藤允之、松丸祐司、石川栄一	対側外転神経麻痺で発症した海綿状脈動部硬膜動静脈瘻の1例	第144回日本脳神経外科学会関東支部会	東京	2021.4.3
中村和弘、塚田篤志、高田麻耶、小沼邦之、佐藤允之、伊藤嘉朗、末松義弘、松丸祐司、谷中清之、石川栄一	心原性脳塞栓症予防における外科的左心耳マネジメントの臨床的意義	第7回軽井沢脳血管内治療セミナー	軽井沢	2021.7.31-8.2

塚田篤志、武田勇人、高田麻耶、小沼邦之、中村和弘、谷中清之	未破裂前交通動脈瘤が疑われた前交通動脈有窓形成の１例	第 145 回日本脳神経外科学会関東支部会	東京	2021.9.4
中村和弘、末松義弘、塚田篤志、武田勇人、高田麻耶、小沼邦之、谷中清之	心原性脳塞栓症予防における外科的左心耳マネジメントの臨床的意義	第 105 回茨城県脳神経外科集談会	WEB	2021.10.17
中村和弘	地域における頭痛診療連携「より良いインフォームドコンセントとは？」ディスカッサー 頭が痛い人いませんか？	地域で診る頭痛診療	WEB	2021.11.26
中村和弘		AJOVY Web Live Seminar 座長	WEB	2021.12.8
中村和弘		Chiiki Yobo Project for Stroke 座長		2022.3.2
中村和弘		茨城県集談会座長		2022.3.12

救急科

発　表　者	演　題　名	学会・会合名	開催地	開催年月
A. Komori, H. Iriyama, T. Kainoh, K, Inaba, K, Narahashi, M. Aoki, T. Abe	Characteristics and outcomes of abdominal compartment syndrome in patients with trauma: a descriptive study from a nationwide cohort in Japan	the ESICM LIVES Digital Annual Congress	Online	2021.10
T. Abe, H. Watanabe, H. Iriyama, A. Komori, T. Kainoh, K. Inaba, K. Narahashi, Y. Tokuda	Three-pronged strategy for COVID-19 prevention in medical personnel and patients in a hospital setting during an outbreak	the ESICM LIVES Digital Annual Congress	Online	2021.10
I. Osawa; T. Goto; D. Kudo; T. Abe; M. Hayakawa; A. Shiraishi; R. Uchimido; K. Yamakawa; K. Doi; S. Kushimoto	Targeted Antithrombin Use for Sepsis with Coagulopathy: A Machine Learning-Based Approach to Estimate Heterogeneous Treatment Effects	the ESICM LIVES Digital Annual Congress	Online	2021.10
H. Iriyama; A. Komori; T. Kainoh; K. Inaba; K. Narahashi; M. Aoki; T. Abe	Temperature trajectories and hospital mortality among patients with severe trauma: a retrospective cohort study in Japan	the ESICM LIVES Digital Annual Congress	Online	2021.10
小森 大輝、入山 大希、稲葉 健介、楢橋 和真、戒能 多佳子、坂本 勇志、古元 謙悟、青木 誠、阿部 智一	外傷患者における腹部コンパートメント症候群の臨床的特徴と予後の検討	第49回日本救急医学会総会	東京	2021.11
坂本 勇志、小森 大輝、入山 大希、楢橋 和真、稲葉 健介、戒能 多佳子、古元 謙悟、阿部 智一	急性上気道炎の症状で受診した小児多系統炎症症候群の１例	第49回日本救急医学会総会	東京	2021.11
阿部 智一、渡邊 裕子、小森 大輝、入山 大希、稲葉 健介、楢橋 和真、戒能 多佳子、坂本 勇志、古元 謙吾、徳田 安春	COVID-19 の院内アウトブレイクに対するワクチン接種よる予防効果と安全性の検証	第49回日本救急医学会総会	東京	2021.11
入山 大希、小森 大輝、戒能 多佳子、稲葉 健介、楢橋 和真、坂本 勇志、古元 謙悟、青木 誠、阿部 智一	重症外傷患者の体温トラジェクトリーと死亡率の関係	第49回日本救急医学会総会	東京	2021.11
古元謙悟、小森大輝、入山大希、楢橋和真、戒能多佳子、坂本勇志、阿部智一	筑波記念病院における救急救命士の現状と今後の展望	第72回 日本救急医学会関東地方会学術集会/第59回 救急隊員学術研究会	Online	2022.2
阿部智一	病院総合医のための敗血症ベストプラクティス	第24回日本病院総合診療医学会学術総会		2022.2

安富 元彦、小宮山 潤、谷口 雄大、阿部 智一、宮脇 敦士、田宮 菜奈子、岩上 将夫	新型コロナウイルス感染症患者における入院前抗凝固薬使用と院内死亡、静脈血栓塞栓症、大出血の関連	日本薬剤疫学会		2021.11
青木 誠、阿部 智一、齋藤 大蔵	循環不安定な腹部単独実質臓器損傷に血管内塞栓術は有効か ?JTDB データ解析	第49回日本救急医学会総会		2021.11
工藤 大介、後藤 匡啓、内御堂 亮、早川 峰司、山川 一馬、阿部 智一、白石 淳、久志本 成樹	【Challenge to Change】敗血症 DIC: 臨床現場をかえる研究最前線 敗血症凝固フェノタイプとリコンビナントトロンボモジュリンの治療効果 機械学習モデルによるフェノタイプの同定	第49回日本救急医学会総会		2021.11
工藤 大介、後藤 匡啓、内御堂 亮、早川 峰司、山川 一馬、阿部 智一、白石 淳、久志本 成樹	敗血症性 DIC ～我々はこう考えこう治療している～ 凝固マーカーによる敗血症患者 phenotyping とリコンビナントトロンボモジュリンの治療効果	第49回日本救急医学会総会		2021.11
阿部 智一、小森 大輝、入山 大希、戒能 多佳子、青木 誠	日本外傷データバンクを用いた研究最前線 外傷合併症と外傷内科医の重要性	日本外傷学会		2021.5
阿部 智一、入山 大希、小森 大輝、戒能 多佳子	日本外傷データバンクを用いた研究最前線 外傷合併症と外傷内科医の重要性	日本外傷学会		2021.5
入山大希、小森大輝、鈴木麻衣、坂本勇志、戒能多佳子、楢橋和真、内藤俊夫、阿部智一	デキサメタゾン投与中の COVID-19 患者に発症した , 鉱質コルチコイドの作用低下が主体の続発性副腎不全の一例	第 24 回日本病院総合診療医学会学術総会		

放射線科

発　表　者	演　題　名	学会･会合名	開催地	開催年月
鯨岡　結賀	教育セミナー　病理肉眼型から乳房超音波を学ぼう（画像解説）	第 46 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会	東京	2021.5
鯨岡　結賀		茨城マンモグラフィ講習会	水戸	2021.12

麻酔科

発　表　者	演　題　名	学会･会合名	開催地	開催年月
富田絵美	カテーテル手術に必須な部位の TEE の見方　左心耳・左心房	日本心臓血管麻酔学会第 26 回学術集会	WEB	2021.1

リハビリテーション科

発　表　者	演　題　名	学会･会合名	開催地	開催年月
伊佐地隆	地域リハビリテーションアドバイザーに望むもの	地域リハビリテーションアドバイザー養成講習会	つくば	2021.9
伊佐地隆	福祉用具・義肢装具概論	令和 3 年度 茨城県若手リハ専門職卒後研修	水戸	2021.10.6
伊佐地隆	福祉用具・義肢装具概論	令和 3 年度 茨城県若手リハ専門職卒後研修	水戸	2021.10.31
伊佐地隆	障害者、健常者の区別のないスポーツレジャー－仲間とともに楽しむダイビング－	第 41 回日本リハビリテーションスポーツ学会研究大会	横浜	2021.10
渡部 岳、内田健太、目崎直実、岩松雅子、川原田晴通、安岡利一、伊佐地　隆	保存療法の椎体骨折患者に対する早期からのリハビリテーション科の取り組み	第 5 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	名古屋	2021.11
岩松雅子、内田健太、渡辺 岳、目崎直実、川原田晴通、安岡利一、伊佐地隆	リハビリテーション診療における終末期への介入	第 5 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	名古屋	2021.11

伊佐地隆	痙縮治療の新展開 私のボツリヌス治療　第２ステージから	帝人ヘルスケア社内研修会	つくば	2022.2
目﨑直実、齋藤 楓、遠藤由香、佐藤直子、大槻玄太、渡部 岳、岩松雅子、伊佐地隆	脳出血により高次脳機能障害を有した外国人派遣社員の復職への取り組み	第76回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会	オンライン	2022.2
伊佐地隆	－骨粗鬆症を基盤とした－ 高齢者骨折のリハビリテーション	旭化成ファーマ社内教育講演会	つくば	2022.3

診療支援部門

看　護　部

【総括】

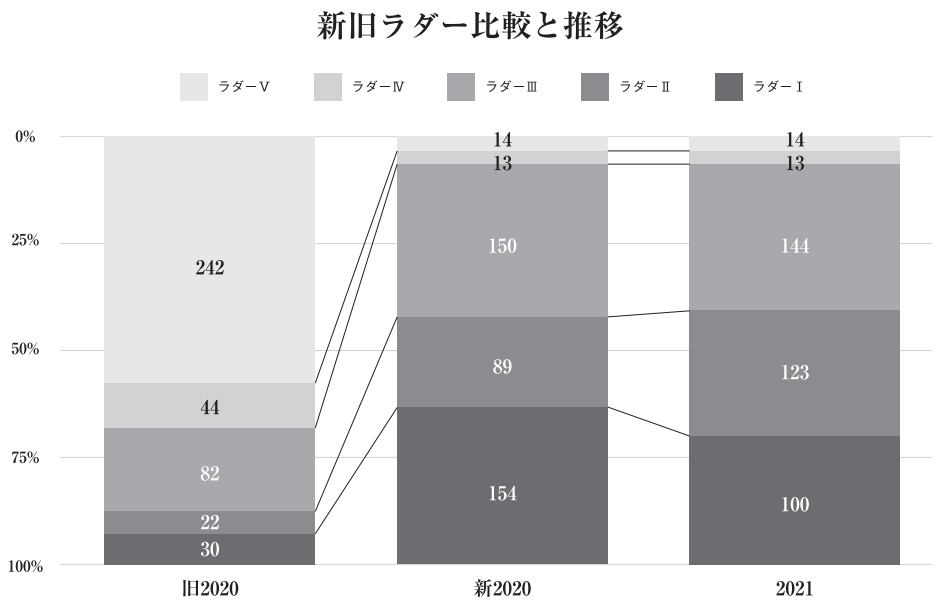
看護部方針である「看護師個々の質向上により、利用者とスタッフから喜ばれる病院となる」ために、スタッフ教育と業務改善に努めた。教育に関しては、看護の質向上のために、看護師ラダー進級システムを 2018 年から整備し、2021 年 4 月から新システムの運用開始をした。さらにラダーに応じた報酬制度の整備をすすめてきた結果、2023 年度からの運用開始が決定した。2021 年度はラダーⅠの約 40%を進級させることに成功した反面、ラダーⅣ、Ⅴの育成は不変となった（図 1）。看護の質を指標としていたアクシデント件数は 18 件から 7 件へ前年度から減少し、クレームに関しては 5 件から 4 件へ減少した。

次に、看護師からも喜ばれる病院として、働きやすい環境提供のため、一人あたりの月平均超過勤務を 10 時間未満に設定し、平均 9.1 時間の結果となった。さらに一人あたり年間有給取得率を 50% 以上に設定し、74% 取得することができた。新卒看護師は 35 名を目標にあげ、39 名の就職者を確保することができた。しかし、看護師の離職率は目標値の 5%未満に程遠い、過去最多の 16.7%となった。

最後に、最も必要な利用者に喜ばれる病院として、病床稼働率の目標を急性期 90%以上、慢性期 100%としあげたが、結果、急性期 83.4%、慢性期 88%であった。さらなる看護の質向上と、業務改善に向け 2022 年度も邁進する。

［文責：星　豪人］

（図 1）旧ラダーと新ラダー評価による分布変化と推移



【人事】（昨年度末で要確認）

職種別人数

看護師	保健師	准看護師	介護士	看護補助者	合計
394	5	17	51	30	497

役職者

看護部長	看護副部長	看護管理師長	看護主任	介護主任
1	2	15	21	3

資格保持・研修修了者

認定看護師	救急看護	1
	感染管理	1
	糖尿病看護	1
	摂食・嚥下障害看護	1
	集中ケア	1
	緩和ケア	1
	認知症看護	1
特定行為研修修了者		2
看護管理者研修修了者	セカンドレベル	4
	ファーストレベル	34
臨床指導者		48

【学術業績】

講師等

氏　名	内　容	依　頼　元	講義総時間
宮澤　久美子	看護の統合と実践　看護管理	茨城県立岩瀬高等学校看護　専攻科１年	10 時間
市川　理恵子	在宅看護論　在宅看護方法論Ⅱ②	茨城県立岩瀬高等学校看護　専攻科２年	20 時間
小林　朋子	看護の統合と実践　医療安全	茨城県立岩瀬高等学校看護　専攻科１年	10 時間
吉村　真衣	人体と看護・疾病と看護　消化器	茨城県立岩瀬高等学校看護　衛生看護科１年	16 時間
髙橋　久美子	人体と看護・疾病と看護　乳房	茨城県立岩瀬高等学校看護　衛生看護科１年	4 時間
下村　真一	人体と看護・疾病と看護　循環器	茨城県立岩瀬高等学校看護　衛生看護科１年	12 時間
久松　瞳	成人看護学援助論Ⅴ　血液像血器疾患看護	茨城県結城看護専門学校　２年	10 時間
吉田　聖	成人看護学援助論Ⅱ　循環器疾患看護	茨城県結城看護専門学校　２年	12 時間
	脳神経疾患看護	土浦市医師会附属准看護学校	8 時間
星　典子	看護の基本となる技術Ⅱ　感染予防技術	茨城県結城看護専門学校　１年	10 時間
木内　亮子	内分泌　代謝疾患看護	土浦市医師会附属准看護学校	8 時間
中山　恵美	循環器疾患看護	土浦市医師会附属准看護学校	8 時間
保土山　耕平	耳鼻咽喉疾患看護	土浦市医師会附属准看護学校	6 時間
古澤　則子	血液　造血器疾患看護	土浦市医師会附属准看護学校	6 時間

資格等

氏　名	名　称	開催場所	開催年月
大和田　道代	茨城県看護協会　認定看護管理者教育課程ファーストレベル	茨城県看護協会	2021.6.1 ～ 2021.9.6
中山　恵美	茨城県看護協会　認定看護管理者教育課程ファーストレベル	茨城県看護協会	2021.11.8 ～ 2022.2.22

学会発表等

氏　名	演　題　名	学会・会合名	開　催　地	開催年月
篠原　一哉	当施設における特定保健指導の効果判定～その後の指導に向けて～	第 62 回日本人間ドック学会学術大会　Web 開催	石川県	2021.9.10 ～ 2021.9.24
木内　亮子	在宅療養を希望する認知症を伴う高齢独居２型糖尿病患者の支援をめざして	第 26 回糖尿病教育・看護学会学術集会　Web 開催	川崎市	2021.9.18 ～ 2021.9.19
飯島　雄希	A 病院 OpenICU での人工呼吸器離脱プロトコールの運用と課題	第 52 回日本看護学会学術集会　Web 開催	新潟県	2021.11.18 ～ 2021.12.26

薬　剤　部

【総括】

1）薬剤管理指導件数の増加

2020年度の9,057件を超えて、年10,000件を目標としたが、9,532件と目標には届かなかった。

2）病院の増収につながる病棟薬剤業務の展開

「外来化学療法室に薬剤師を配置し、抗がん剤無菌調製にとどまらず、外来化学療法を受ける患者に対する薬剤師外来開設を目指す。」については、マンパワー的な問題がクリアできず、未達成となった。

3）残業時間の減少と有給休暇の取得促進

「60時間/月の人数はゼロにする。有給休暇を5日以上取得させる。」有給休暇取得目標は達成できたが、「60時間/月の人数はゼロにする」は未達成となった。

4）新型コロナウイルスワクチン接種の推進

「ワクチンの管理、希釈・調製に係る業務を積極的に展開させて、地域医療に貢献する。」については、薬剤部員の努力で目的を達成した。

［文責：垣内祥宏］

【業務実績】

	入院処方箋枚数	抗癌剤無菌調製件数（入院）	抗癌剤無菌調製件数（外来）	薬剤管理指導（Ⅰ）料件数（380 点）	薬剤管理指導（Ⅱ）料件数（325 点）	退院時薬剤管理指導件数（90 点）	無菌製剤処理料算定件数（無菌1イ+無菌1ロ+無菌2）	薬剤病棟業務実施加算（100 点）
2020年度	55,099	2,002	2,126	2,118	6,939	2,206	3,969	15,642
2021年度	62,666	1,614	2,421	2,277	7,255	2,476	4,231	16,920

	薬剤管理指導料Ⅱ（380 点）	薬剤管理指導料Ⅰ（325 点）	退院時薬剤管理指導料（90 点）	無菌製剤処理料（無菌1イ+無菌1ロ+無菌2）	薬剤病棟業務実施加算（100 点）	合計
2020年度	￥8,048,400	￥22,551,750	¥1,985,400	￥ 2,428,550	￥15,642,000	¥50,656,100
2021年度	¥8,652,600	￥23,578,750	¥2,228,400	￥ 2,498,200	￥16,920,000	¥53,877,950

【学術業績】

学会発表

発　表　者	演　題　名	学会・会合名	開　催　地	開催年月
平間さゆり、垣内祥宏、池澤和人、小關　剛	一包化された薬剤を自動分別する装置の精度向上と薬剤費削減効果	第23回 日本医療マネジメント学会学術総会	大阪	2021.7

放　射　線　部

【総括】

1．2021 年度の実績報告

診療放射線技師 27 名、臨床検査技師 2 名（非常勤 1 名）、受付事務 2 名（非常勤 1 名）体制で、筑波記念病院、筑波総合クリニック、つくばトータルヘルスプラザ（THP）において単純 X 線、CT、MRI、超音波、マンモグラフィ、透視撮影、核医学、巡回健診（胸部、胃部）の画像診断検査を行った。また、IVR では、心臓カテーテル、頭部・腹部血管造影、ステントグラフト内挿術の治療に携わった。

検査数は新型コロナウイルスの影響で減少した昨年度と比較すると筑波記念病院、筑波総合クリニック、THP の全ての検査において増加している。核医学の件数増加については認知症に関わる件数が大幅に増えたことが要因と考える。

3 月に更新された平面検出器（Flat Panel Detector：FPD）が搭載された X 線ポータブル装置は手術室内にて撮影直後に装置搭載のディスプレイでの画像確認が可能になり手術時間の短縮に寄与している。

教育活動としては放射線部内での若手主体の勉強会、各モダリティの勉強会、造影剤副作用対応講習会を定期的に開催し全体のレベルアップに努めた。また、2 名の茨城県立医療大の臨床実習生を受け入れた。

9 月に受審した病院機能評価については、いくつかの指摘事項はあったが、高い評価を受けた。

［文責：神宮仁一］

【業務実績】

筑波記念病院（2021.4 ～ 2022.3）

	CT	MRI	超音波	IVR	単純 X 線	マンモグラフィ	核医学	透視撮影
2020 年度	10,070	3,577	2,968	537	51,524	4,837	259	500
2021 年度	11,702	4,461	3,428	630	58,585	5,203	461	583

筑波総合クリニック（2021.4 ～ 2022.3）

	CT	MRI	単純 X 線	骨密度	透視検査
2020 年度	6,079	3,112	16,651	871	495
2021 年度	6,840	3,753	18,798	1,054	609

つくばトータルヘルスプラザ（2021.4 ～ 2022.3）

	施設内での健診		巡回検診	
	胸部	胃部	胸部	胃部
2020 年度	22,534	12,806	11,698	2,288
2021 年度	23,765	13,456	11,298	2,366

リハビリテーション部

【総括】

リハビリテーション（以下、リハ）部では新卒職員 37 名（理学療法士 23 名、作業療法士 11 名、言語聴覚士 3 名）を迎え、常勤リハ専門職 258 名（理学療法士 163 名、作業療法士 70 名、言語聴覚士 25 名）、非常勤リハ専門職 6 名（理学療法士 1 名、作業療法士 5 名）の計 264 名で、部長 1 名、課長 3 名、係長 3 名、主任 16 名、副主任 6 名の体制でスタートした（出向含む）。常勤リハ専門職 166 名（理学療法士 108 名、作業療法 42 名、言語聴覚士 16 名）を病院の入院部門および外来部門に配置した。2021 年度の退職者は常勤リハ専門職 23 名（理学療法士 15 名、作業療法士 6 名、言語聴覚士 2 名）、技師装具士 1 名であった。2022 年度は 4 月から新卒職員 34 名（理学療法士 20 名、作業療法士 10 名、言語聴覚士 4 名）が入職見込みである。

リハ実施患者の延べ件数は前年度より入院は 5.8% 増、外来は 26.5％増であった。リハ新規指示患者件数は前年度より入院は 28.1％増、外来は 1.2％減であった。リハ実施単位数は入院、外来及び訪問の合計において前年度より 9.3％増であった。4 月時点での常勤のリハ専門職の職員数は前年度より 13 名増加した。業務に従事したリハ専門職の延べ出勤日数は前年度より 11.0％増であった。セラピスト 1 人あたりの 1 日あたりの診療実施単位数は前年度より 1.4％減となり、患者 1 人あたりの 1 日あたりの診療実施単位数は前年度より 2.2％増となった。

2021 年度はセラピストを増員し、急性期の患者 1 人あたりのリハサービスの充実を図る一方、新型コロナウイルス感染症対策のため、セラピストが病棟専従でなく病棟兼任できる方が人的資源を効率的に活用する上では有効だが、病棟専従体制を原則として運営した。その結果、セラピストの 1 人あたりの診療実施単位数は低下したものの、新規指示患者件数が増加した中で、患者 1 人あたりの診療実施単位数を増加することができた。

［文責：金森毅繁］

【業務実績】　※（　）内の数値は 2020 年度の実績

リハビリテーション実施患者延べ件数（件）

入院	111,210（105,073）
外来	17,434（13,784）
訪問	213（233）

リハビリテーション新規指示患者件数（件）

入院	理学療法	4,672（3,748）
	作業療法	3,004（2,331）
	言語聴覚療法	1,709（1,250）
外来	理学療法	371（370）
	作業療法	276（288）
	言語聴覚療法	162（161）

リハビリテーション実施単位数（単位）

入院	一般病棟	309,152（290,158）
	回復期リハ病棟	152,018（138,093）
	地域包括ケア病棟	31,716（25,169）
	医療療養病棟	42,344（42,764）
外来		53,250（42,174）
訪問		448（503）
計		588,928（538,861）

スタッフ年間延べ出勤日数（人）

入院	一般病棟	23,101（20,921）
	回復期リハ病棟	10,162（9,121）
	地域包括ケア病棟	2,308（1,972）
	医療療養病棟	2,714（2,650）
外来		3,481（2,946）
計		41,765（37,615）

患者１人あたりのリハビリテーション実施単位数（単位 / 人）

入院	一般病棟	4.7（4.5）
	回復期リハ病棟	8.6（8.3）
	地域包括ケア病棟	2.7（2.7）
	医療療養病棟	2.6（2.9）
外来		3.1（3.1）
訪問		2.1（2.2）
計		4.6（4.5）

その他の業務実績（件）

リハビリテーション総合実施計画書 入院 外来	 5,793（5,012） 2,454（2,069）
退院前訪問指導	6（317）
退院時リハ指導	2,659（2,181）

支援

内　　容	支　援　先	場　所	実　績
セラピスト学校訪問事業	伊奈特別支援学校	伊奈	年3回
	つくば特別支援学校	つくば	年7回
心身障害児を対象とした機能訓練事業	常総市児童デイサービスセンター	常総市	年13回

【学会発表等】

発　表　者	演　題　名	学　会　名	開　催　地	開催年月
佐藤有稀	右人工股関節全置換術後より腹圧性尿失禁症状の悪化を呈した症例～骨盤底筋群の機能改善に向けて～	第25回茨城県理学療法士会	Web	2021.8.1
大野裕司	IAP 呼吸法による運動パフォーマンスへの影響について	第9回日本運動器理学療法学会学術大会	長良川国際会議場	2021.9.11
藤原祐介	膝前十字靭帯再建術後早期の筋力回復に影響する因子の検討	第9回日本運動器理学療法学会学術大会	長良川国際会議場	2021.9.11
佐藤隆博	コミュニケーション困難な切迫性尿失禁患者への理学療法を経験して	リハビリテーション・ケア合同研究大会 兵庫2021	ANA クラウンプラザホテル神戸	2021.11.18
出田楓理	行動分析に基づいた成功体験を重視した介入により ADL 向上に至った一事例	第13回茨城県作業療法学会	アール医療福祉専門学校	2021.11.21
菊池　舞	塗り絵と食事動作の関連性に関する一考察	第13回茨城県作業療法学会	アール医療福祉専門学校	2021.11.21
西崎まゆ	意欲の高い作業を提供し疼痛が軽減した一事例	第13回茨城県作業療法学会	アール医療福祉専門学校	2021.11.21
加藤隆三	発達障がいの足部の発達に関連する因子の検討	第8回小児理学療法学会学術大会	Web	2021.11.27
佐藤隆博	歩行能力向上を目的に環境等身体の相互作用に着目し介入した一症例	第19回 日本神経理学療法学会学術大会 inいわて学会	Web	2021.12.19
伊藤瑞季	左膝人工関節置換術後の extension lag に着目した介入	公益社団法人茨城県理学療法士会　つくばブロック新人症例検討会	Web	2022.1.27
目黒史也	人工膝関節置換術後に患者自身による自動介助運動を用いた症例を検討して	公益社団法人茨城県理学療法士会　つくばブロック新人症例検討会	Web	2022.1.27
会田拓海	左人工膝関節置換術後，大腿直筋の筋緊張に着目した運動を実施した症例	公益社団法人茨城県理学療法士会　つくばブロック新人症例検討会	Web	2022.1.27
宇野千尋	本人の嗜好を考慮して嚥下機能アプローチを行った一例	茨城県言語聴覚士会 令和3年度つくば土浦地域症例検討会	Web	2022.3.6
小柳沙央里	失語症、高次脳機能障害を呈した症例に、リハビリテーション、復学支援を経験して	茨城県言語聴覚士会 令和3年度つくば土浦地域症例検討会	Web	2022.3.6
齋藤　楓	注意障害を呈した患者に対し買い物の訓練を導入した一例	茨城県言語聴覚士会 令和3年度つくば土浦地域症例検討会	Web	2022.3.6
須藤美咲	COVID － 19 感染後に摂食嚥下機能障害を呈した一症例を経験して	茨城県言語聴覚士会 令和3年度つくば土浦地域症例検討会	Web	2022.3.6
中島佳那美	頚部癌の化学放射線療法と食道癌根治術後に摂食嚥下障害を呈した症例	茨城県言語聴覚士会 令和3年度つくば土浦地域症例検討会	Web	2022.3.6
松本　渚	二度にわたる不顕性誤嚥による肺炎により経口摂取困難と判断した症例	茨城県言語聴覚士会 令和3年度つくば土浦地域症例検討会	Web	2022.3.6
飯島千晴	病識低下のある対麻痺を呈した症例に対し移乗動作の危険予測に着目して介入した一症例	つくば地域リハ・セミナー第31回症例検討会	Web	2022.3.16
大西麻友	距骨下関節に着目した介入により，独歩の再獲得に至った両踵骨骨折の症例を経験して	つくば地域リハ・セミナー第31回症例検討会	Web	2022.3.16
岡本隆志	くも膜下出血により重度片麻痺とジャルゴンを呈し，意思疎通に難渋した一症例を経験して	つくば地域リハ・セミナー第31回症例検討会	Web	2022.3.16
甲斐朝弥	COPD が増悪した肺癌患者に対し Paper 版 ADOC を用いた、COPM が有効であった一事例	つくば地域リハ・セミナー第31回症例検討会	Web	2022.3.16
来栖郁音	実動作での成功体験によって、リハビリ意欲が高まり食事動作能力が向上した症例	つくば地域リハ・セミナー第31回症例検討会	Web	2022.3.16
小林明日香	関心が高い作業活動より、ADL 面での学習性不使用が軽減された一症例	つくば地域リハ・セミナー第31回症例検討会	Web	2022.3.16

関あゆり	自主練習の定着に難渋した症例に対し指導方法を工夫したことで定着に至った経験	つくば地域リハ・セミナー第31回症例検討会	Web	2022.3.16
鶴澤泰友	両片麻痺を呈し歩行困難となった症例に対し免荷機能付き歩行器を使用して歩行能力の改善を図った経験	つくば地域リハ・セミナー第31回症例検討会	Web	2022.3.16
根木彩花	左中等骨折により“しているADL”の低下を認めた事例の能力再獲得を目指して	つくば地域リハ・セミナー第31回症例検討会	Web	2022.3.16
林　梨乃	脊髄炎ににより重度単麻痺を呈し，代償戦略により歩行可能となった症例	つくば地域リハ・セミナー第31回症例検討会	Web	2022.3.16
藤井未来	既往に左片麻痺のある左大腿骨転子部骨折患者に対しAll in oneを使用し歩行獲得を目指した症例	つくば地域リハ・セミナー第31回症例検討会	Web	2022.3.16
藤咲友朗	重度右片麻痺を呈した症例に対してADOCと正の報酬を利用し内的動機付けを高めた一症例	つくば地域リハ・セミナー第31回症例検討会	Web	2022.3.16
八巻風香	意思伝達装置の導入によって新たなコミュニケーション方法を獲得した筋萎縮性側索硬化症を呈した症例 -QOLに着目した作業療法の関わりについて -	つくば地域リハ・セミナー第31回症例検討会	Web	2022.3.16

【座長】

氏　名	セッション名	学　会　名	開　催　地	開催年月
大好崇史	一般演題C	第25回茨城県理学療法士学会	web開催	2021.8.1
山倉敏之	企画セミナー「変革を求められる作業療法臨床教育ー Withコロナでの養成教育と臨床実習の経験から考えるー」	第55回日本作業療法学会「Withコロナでの臨床　実習臨床実習受入れの考え方 ～筑波記念病院の場合～」	web開催	2021.9.10
飯野和徳	一般演題4「脳損傷（急性期）2」	第19回日本神経理学療法学会学術大会	web開催	2021.12.18
柵山真地子	セッション3	茨城県言語聴覚士会 つくば土浦地域症例検討会	web開催	2022.3.6

【講演・セミナー等】

氏　名	テーマ	講演会名	会　場　名	開催年月
金森毅繁	臨床実習指導者の視点からみた“学生”とは	つくば国際大学　令和3年 臨床実習Ⅰ特別講義	つくば国際大学	2021.7.15
山倉敏之	当院の新人教育体制および管理職からみた育成方法について	精神科作業療法協会管理者研修	web開催	2021.9.4
金森毅繁	療養担当規則	令和3年度茨城県若手リハ専門職卒後研修	web開催	2021.9.15
山倉敏之	演習6-2事例報告書の作成、演習補助	令和3年度第1回茨城県臨床実習指導者講習会	web開催	2021.9.18
山倉敏之	コロナ禍での新人教育の状況と対応　－臨床実習の重要性を改めて考える－	2021年度目白大学作業療法学科臨床教育者打ち合わせ会議教育講演	web開催	2021.12.4
山倉敏之	若年性認知症について	2021年度茨城県作業療法士会第3回地域活動OT意見交換会	web開催	2022.1.13
山倉敏之	演習6-2事例報告書の作成、演習補助	令和3年度第2回茨城県臨床実習指導者講習会	web開催	2022.2.26

臨 床 検 査 部

【総括】

1．2021 年度の実績報告

当院の臨床検査部は、生理検査部門（常勤 17 名 + 非常勤 1 名）、健診部門（常勤 6 名 + 非常勤 3 名）、輸血検査部門（常勤 3 名）、病理・細胞診検査部門（常勤 3 名）、検体検査部門（常勤 12 名 + 非常勤事務 1 名）の 5 部門に分かれている。但し、検体検査部門は委託しているため、当院の人員には含まれない。今年度は生理検査部門の常勤 1 名が退職となった。

2．業務実績

昨年度に紙カルテから電子カルテへ切り替えが行なわれ、臨床検査部の検体、生理、輸血、病理のすべての部門がシステム化された。1 年間の運用の中で大きな問題は起きていないが、細かい運用上の修正を行った。各部門の業務実績は、大部分の検査項目において昨年度よりも増加した。

生理検査部門では、生理検査室内の心電計を解析機能付きの機種に買い替え、医師や検査技師の診断補助が可能となった。

輸血検査部門は、検体検査部門と薬剤部の三者での共同運営で難しい局面もあるが、輸血検査部門の主導で軌道に乗ってきた。血液製剤の廃棄率を抑えるなどの効果が見られた。

病理・細胞診部門では、昨年度から婦人科細胞診における液状化検体細胞診を外来部門で開始したが、今年度から健診部門での運用を開始した。これにより、報告日数の短縮が図られた。また、システム化により報告書の既読管理が可能となった。

検体検査部門では、検査委託先を変更して 10 年が経過した。この間、院内検査項目の変更等は行われなかったが、今年度は新規検査項目の申請があり、院内での検討の結果来年度に導入予定である。また、検査部門システムや分析器の更新も来年度に予定されている。

新型コロナに関する検査は、発熱、救急、総合外来などに配置された遺伝子増幅検査機器を使用する場合と、検査センターへ PCR 検査を外注する場合で使い分けている。更に今年度は、迅速 PCR 検査機器を検査室へ配置し体制の強化を図った。

病院機能評価を 9 月に受審し、臨床検査部門、輸血部門、病理部門の 3 部門において大きな指摘事項はなかった。

毎年実施している日本医師会、日本臨床検査技師会の外部精度管理の結果も良好であった。

3．教育実績

今年度は、新人採用がなかった。

月 1 回の部内ミーティングで勉強会を実施している。年度末の部内発表会は 8 年目となった。各専門チームから 8 題の演題があった。

専門領域の認定資格は、今年度の新規取得はなかった。

［文責：大森美恵子］

【業務実績】

生理検査件数（筑波記念病院、筑波総合クリニック）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	前年度合計	前年度月平均
ECG	1,093	997	1,225	1,091	1,010	1,173	1,259	1,171	1,207	1,172	981	1,292	13,671	1,139	17,296	1,441
24ECG	100	102	117	94	78	109	141	120	131	109	91	125	1,317	110	1,076	90
TET	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	4	0.3	95	8
UCG	462	436	471	461	458	497	531	566	575	526	428	554	5,965	497	5,109	426
下肢エコー	76	280	91	101	94	83	105	112	94	103	88	97	1,324	110	944	79
頚動脈エコー	5	4	7	5	4	4	2	6	11	4	2	0	54	5	52	4
肺活量	129	142	159	149	121	133	134	155	167	157	52	78	1,576	131	1,850	154
脳波※	21	14	20	26	27	21	20	25	24	20	18	28	264	22	156	13
ABI	102	95	130	79	106	110	108	97	103	111	87	125	1,253	104	1,112	93
伝速	7	12	21	21	19	14	13	17	4	11	11	6	156	13	84	7
術中MEP･ABR	0	2	9	10	4	3	3	5	2	7	3	6	54	5	54	5
OCST	17	19	35	34	38	22	36	34	37	43	28	40	383	32	391	33
PSG	3	1	6	3	4	3	4	4	2	4	1	0	35	3	35	3
呼気 NO	12	19	24	25	28	23	26	26	37	28	13	12	273	23	286	24
UBT	33	19	29	35	24	27	35	46	48	35	35	30	396	33	369	31
CGM	0	4	6	7	4	4	4	10	9	2	2	5	57	5	57	5
純音聴力	222	226	298	228	225	229	231	246	240	224	166	253	2,788	232	2,348	196

※つくばトータルヘルスプラザのドック件数を含む

■は 2020 年度より増加した検査項目

病理・細胞診検査件数（筑波記念病院、筑波総合クリニック）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	前年度合計	前年度月平均
病理	280	262	325	304	304	310	323	371	319	373	332	380	3,883	323.6	3,271	272.6
細胞診※	440	757	1,080	1,086	1,066	1,119	1,157	1,095	1,150	951	874	971	11,746	978.8	11,143	928.6
骨髄穿刺	22	13	19	17	32	21	23	32	22	22	21	25	269	22.4	209	17.4

※つくばトータルヘルスプラザのドック・健診件数を含む

■は 2020 年度より増加した検査項目

【学会・講演・セミナー等】

発　表　者	演　題　名	学会・会合名	開　催　地	開催年月
和田英明	超音波検査中に血栓を飛散させた瞬間を捉えた事例から学ぶ	第41回　日本静脈学会総会	WEB 開催	2021.9
和田英明	血栓か疣贅かの判断に苦慮した右心房内リード腫瘍の一例	第62回　日本脈管学会総会	WEB 開催	2021.10

臨 床 工 学 課

【総括】

緊急対応件数の増加に伴い緊急業務に従事するためのスタッフの育成に重点を置き、オンコール待機人数を２名体制とした。そのため緊急の心臓外科手術や心臓カテーテル治療に余裕をもって対応できるようになりスタッフへの負担も軽減することができた。

人工心肺部門においては技術認定資格を保持するスタッフも増え、人工心肺業務に係わるスタッフの教育も進んで今後も心臓外科領域において専門的な技術提供ができるようになった。

医療機器の更新は概ね計画通りの更新が行えた。また中央管理における医療機器の運用も安定して行えている。技術提供でここに挙げてあるものは手術室・心カテ室などにおける手術・治療・検査である。今年度も新型コロナウイルスの影響により例年と比して件数の減少が見られた。

人工心肺の件数は昨年度と比して増加しており緊急症例の増加に伴い夜間の緊急対応件数が増えた。また、大動脈ステントの件数は変わりがなかった。心臓カテーテル治療の件数は昨年度と比して増加傾向であった。またアブレーション件数は若干減少した。整形外科領域で使用する自己血回収は昨年度と比して変わりはなかった。

生命維持管理装置では人工呼吸器の管理日数は昨年度と比して増加傾向であり、新型コロナウイルスの影響により減少していた非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）の使用も管理体制が整ったこともあり使用件数が増えた。

血液浄化業務では、昨年度と比して血液透析（HD）は減少したが、持続緩徐式血液濾過透析（CHDF）は増加した。心臓外科手術件数や心臓カテーテル治療件数から勘案するに緊急手術などで重症患者が増加したためと思われる。

ペースメーカー・ICD などの植込みデバイスに関しては増加傾向が伺える。そのため、ペースメーカー外来検査件数も増加となっている。また遠隔外来検査に対応しているデバイスの患者数が増加していることから検査件数は増加した。

医療機器定期点検の件数では昨年度と比して若干の増加であった。これは病棟全体での使用頻度や重症度の増加に伴い稼働率が上がったことと、新型コロナウイルス対策による機器の増設が影響している。

［文責：助川　節］

【業務実績】

技術提供

	2020 年度	2021 年度
人工心肺	67 件	81 件
大動脈ステント	61 件	60 件
自己血回収	152 件	152 件
心臓カテーテル検査	376 件	422 件
緊急心カテ※	60 件	56 件
ＰＣＩ※	167 件	172 件
緊急ＰＣＩ※	37 件	40 件
アブレーション	61 件	49 件
植込みデバイス	48 件	51 件
末梢血幹細胞採取	4 件	4 件

※ PCI は心臓カテーテル検査に含む
※緊急は上位項目に含む

生命維持管理装置管理実績

	2020 年度	2021 年度
IABP	9 件 /30 日	12 件 /56 日
PCPS（ECMO を含む）	5 件 /24 日	12 件 /61 日
人工呼吸器	3,612 日	4,176 日
植込みデバイス	866 件	1,417 件
血液透析	83 件	66 件
持続緩徐式血液濾過透析	111 件	164 件
血液浄化	15 件	2 件

医療機器点検

	2020 年度	2021 年度
シリンジポンプ	229 件	256 件
輸液ポンプ	381 件	432 件
除細動装置	4,335 件	4,380 件
人工透析装置	546 件	568 件
患者監視装置	10,218 件	11,820 件

※件数は延べ台数

栄養管理課

【総括】

（ア）体制

栄養管理課では、管理栄養士14名（病院11名、クリニック1名、老健1名、特養（出向）1名）と栄養士1名（事務）の計15名、役職者として主任1名、副主任1名の体制でスタートした。

2021年4月に管理栄養士2名が育児休暇から復帰した。2021年度の産前・育児休暇取得者は2名であり（7月に1名、3月1名）、退職者は3名（病院1名、老健1名、特養1名）だった。2022年度は4月に管理栄養士2名が入職予定、管理栄養士2名が育児休暇から復帰予定である。

日本栄養士会で策定された【病院管理栄養士ビジョン-概念図】では、栄養部門のあるべき姿として、部門長1名、教育担当者1名、給食管理業務統括1名、地域栄養ケアステーション担当者1名、外来栄養指導担当者1～2名、そして50床（1病棟）に管理栄養士1名の常駐を掲げている。当課では今年度も部門体制の強化に努めた。

（イ）業務

［給食管理］

大きな事故もなく継続した食事提供ができ、例年と変わらない収益を計上している。

世界では穀物価格などの高騰に加えて、輸送費や包装費が上昇し続けており、食料の多くを輸入に依存する日本では食材料費が高騰している。当院の食材料費（栄養補助食品、経腸栄養剤を含む）は、委託給食会社が負担しているため、採算を取りたい委託給食会社は、冷凍野菜を使用したり、展開食を縮小したりと給食内容の質が落ちていた。これら事態を打開するべく、週1回の献立ミーティングを強化し、献立の改革を進めている。

［栄養管理］

栄養食事指導の延べ件数は、前年度より入院時指導は18％増、外来時指導は2％増であった。

栄養サポートチーム（Nutrition Support Team:以下NST）延べ件数は、前年度より総回診件数は168％増、加算件数は204％増であった。

2020年度新設のICU早期栄養介入管理加算では、年間458件を算定した（前年度より34％増）。なお、本加算は県内で2施設しか算定を開始しておらず（2022年4月現在）、当院としては施設基準を加算開始当初より満たすことができたため、毎月の収益増による病院経営貢献が出来たと考える。さらに、令和4年の診療報酬改定においては、本加算に更なる評価が増えており来年度は更なる増収が見込めると考える。

［文責：松浦史生］

【業務実績】

病院

・給食管理

	食事療養費	生活療養費	特別食加算	計
2017 年度	¥192,202,705	¥41,151,296	¥12,049,572	¥245,403,573
2018 年度	¥188,918,180	¥40,237,462	¥13,532,636	¥242,688,278
2019 年度	¥194,573,755	¥45,179,470	¥13,534,232	¥253,287,457
2020 年度	¥173,601,220	¥41,317,630	¥10,481,008	¥225,399,858
2021 年度	¥177,368,380	¥46,114,702	¥11,724,976	¥235,208,058

・栄養管理

	栄養食事指導料（入院）	NST 加算	入院料基本料差額（回復期）	早期栄養介入（ICU）	計
2017 年度	¥2,730,000	¥736,000	−	−	¥3,466,000
2018 年度	¥3,184,400	¥1,050,000	¥10,992,384	−	¥15,226,784
2019 年度	¥2,746,800	¥2,562,000	¥10,980,216	−	¥16,289,016
2020 年度	¥2,492,620	¥2,776,000	¥10,397,788	¥812,000	¥17,026,408
2021 年度	¥2,809,800	¥8,464,000	¥10,423,296	¥1,832,000	¥23,529,096

筑波総合クリニック

	栄養食事指導料（外来）
2017 年度	¥1,433,400
2018 年度	¥2,093,000
2019 年度	¥1,841,400
2020 年度	¥1,626,280
2021 年度	¥1,678,000

つくばケアセンター

	栄養マネジメント加算	経口維持加算Ⅰ	療養食加算	再入所時栄養連携加算	計
2017 年度	¥4,954,011	¥62,700	¥1,233,372	−	¥6,250,083
2018 年度	¥4,903,245	¥75,240	¥863,630	−	¥5,842,115
2019 年度	¥4,906,463	¥108,680	¥869,022	¥16,720	¥5,900,885
2020 年度	¥5,061,102	¥45,980	¥1,142,394	−	¥6,249,476
2021 年度	包括	¥29,260	¥1,177,945	−	¥1,207,205

資格取得状況

認定資格等	人数	前年度増減
日本糖尿病療養指導士（CDEJ）	0	－ 2
静脈経腸栄養（TNT-D）管理栄養士	5	＋ 3
栄養サポートチーム専任条件修了者	7	＋ 2
栄養サポートチーム専門療法士	1	

（2022 年 3 月 31 日現在）

実習受け入れ実績

月	学校名	人数	実習領域
7、8	東京医療保健大学	4	臨地実習Ⅲ
8、9	常磐大学	4	臨床栄養臨地実習
10	女子栄養大学	1	管理栄養士臨地実習

【書　籍】

氏　　名	雑　誌　名	担当項目	出　版　社	巻(号)	ページ	発行年月
矢部義人	ヘルスケア・レストラン	Leading person　今月の人	日本医療企画	2021.12月号	56-57	2021.11.20

【論　文】

著　　者	論文タイトル	誌　　名	巻(号)	ページ	発行年月
Yabe Y, et al.	Relationships of Dietary Habits and Physical Activity Status with Non-Alcoholic Fatty Liver Disease Featuring Advanced Fibrosis	International journal of environmental research and public health	18 (17)	8918	2021.8.25

【学会・講演・セミナー等】

発　表　者	演　題　名	学会・会合名	開　催　地	開催年月
松浦史生、矢部義人、會田奈津子、北畠里沙子、松島照彦、他	行動変容ステージと自己効力感が栄養食事指導の効果に与える影響	第36回 日本臨床栄養代謝学会	神戸	2021.7.21-22
矢部義人、他	Non-Alcoholic Fatty Liver Disease（NAFLD）における肝線維化進展と食品摂取頻度，身体活動状況との関連性	第２５回　日本肝臓学会大会（JDDW2021）	神戸	2021.11.4-7
櫻田陽太、伊佐地隆	注意障害を考慮した食事介入により、栄養摂取状況が改善した一例	回復期リハビリテーション病棟協会 39回 研究大会in東京	東京	2022.2.4-5

【受賞】

氏　　名	名　　誉	役　　割	開　催　地	開催年月
矢部義人	第 25 回 日本肝臓学会大会（JDDW2021）ポスター優秀演題賞	筆頭演者	神戸	2021.11.4-7

医 療 相 談 室

【総括】

2021 年度の退院支援部門では、退院支援看護師 1 名、社会福祉士 1 名が増員となり、計 11 名の退院支援看護師、社会福祉士で相談業務に従事した。入退院支援加算 1 の取得を継続しており、各病棟に退院支援看護師と社会福祉士を配置することで、在宅で医療ケアを継続する場合の退院支援や経済的・社会的に支援が必要な患者への対応をそれぞれ専門的な立場で支援できる体制を整えている。

昨年に引き続き、新型コロナウイルスによる感染対策の影響により、家族面談や他機関との連携がスムーズに行えないこともあったが、感染リスクに配慮した対応の確立を目指し、オンラインでのカンファレンス開催や個々の感染対策の徹底により、効率的に業務が行えるよう努めた。

地域の医療機関や在宅介護を担っている事業所からの地域包括ケア病棟への入院相談件数は増加しており、受け入れ患者数は 100 名を超えた。在宅医療を支える地域包括ケア病棟の役割が、地域に定着してきていると思われる。

医療相談室では、昨年に引き続き業務改善や自己研鑽を目的に退院支援ミーティング、居宅との合同勉強会を行った。中でも、相談業務を行う上で、社会的な支援が必要となる患者家族に安心した医療環境が提供できるよう、「身元保証人のいない患者の相談支援マニュアル」「治療と就労の両立支援マニュアル」を新たに作成できた成果は大きい。

［文責：佐藤直子］

【業務実績】

MSW･退院支援看護師介入による退院者数

総　数		1,510
内　訳	自　宅	899
	施　設	293
	転　院	127
	死　亡	191

入退院支援加算

総　数		1,326
内　訳	急性期	806
	回復期	170
	地域包括	304
	療　養	46

相談件数

総　数		14,225
内　訳	退院支援	12,964
	転院相談	992
	患者サポート	269

入院依頼数

		総　数	受　入	断　り	キャンセル
総　数		438	172	51	215
内　訳	急性期	6	4	1	1
	回復期	202	59	20	123
	地域包括	175	100	9	66
	療　養	55	9	21	25

臨　床　心　理

【総括】

2021 年度は常勤臨床心理士（公認心理師）2 名での運営となった。業務内容は昨年度同様、心理検査業務・カウンセリング業務・メンタルヘルス業務が中心であった。

心理検査では全実施件数が 2020 年度実施総数の 94％で全体としては 6％の減少となった。諸事情により心理士が不在となった時期が生じてしまい、業務が停止するアクシデントがあったものの、臨床検査部など他部署の協力を得、大きく業務量を落とすことなく概ね同水準で維持することができた。

内訳は前年度と比較すると大きく異なるものとなった。もの忘れ外来では秋口から従事できる時間が確保できなくなり、実施数の減少が目立っている。一方、ここ数年の傾向と同様、小児科依頼の知能検査・発達検査の実施数の増加は今年度も見られ、特に WISC- Ⅳ知能検査は前年度比 40％増の実施数となった。成人対象の検査では知能検査の件数にやや減少が見られたが、人格検査は前年度と同様の水準が維持できた。前年度に比べて依頼された検査の種類が増えており、依頼元も精神科、小児科、もの忘れ科、脳外科に限らず神経内科などからも声をかけて頂くなど、幅広い科から依頼される結果となった。

カウンセリング業務は昨年度に比べ、実施数は 50％増となった。新規来談者数はそれほど大きく変わらないため、継続して支援を要する相談者への対応が必要となるケースが多かったものと思われる。これまで細々とではあるが実施していた病棟からの依頼については今年度は見られなかった。ニード自体はあったものの感染症流行の影響や体制の不備により実施が叶わなかった。

メンタルヘルス業務においては相談対応、研修実施など全ての業務が微増した。新入職員全体への研修は叶わなかったが、部署によっては新入職員を対象にした研修を企画され、実施の機会を得ることができた。実施件数には計上できないものの、『研修をしたい』旨のご相談はいくつか受けており、各部署でのメンタルヘルスへの意識の高まりを感じた 1 年でもあった。久しぶりに【相談室だより】を発行したところ、様々な方からお声かけ頂き、相談に至らないまでも動きがあることをお伝えすることの重要性を感じる機会となった。これまでと同様、気がかりな職員について管理側の立場の方からの相談も引き続き対応しており、コンサルテーションの役割はやはり重要と思われた。

年度目標として掲げていた体制の強化は叶わず、また、予想外の業務中断があったものの、全体的な業務量の水準は維持することができ、様々な部署からのニードにもある程度応えることができた一年となった。

［文責：高橋晶子］

【業務実績】

心理検査

	検査内容		
病院・クリニック	発達及び知能検査	WAIS- Ⅲ成人知能検査	3
		WISC- Ⅳ知能検査	106
		田中ビネー知能検査Ⅴ	6
		新版K式発達検査	70
	人格検査	ロールシャッハテスト	3
		描画テスト（バウム、HTP）	3
		文章完成法（SCT）	3
		P-F スタディ	1
		TEG- Ⅱ	1
	認知機能検査 その他の心理検査	ADAS	84
		WMS-R	2
		RBMT	1
		K-ABC Ⅱ	3
		PARS-TR	1
		SDS	1
		長谷川式知能評価スケール	14
		MMSE	14
		FAB	4
		Moca-J	1
		TMT	1
		かなひろいテスト	8
		読み書きスクリーニング検査	31
		算数障害の評価	2
	小計		363
THP	神経心理検査	小計	448
		合計	811

カウンセリング

THP	初回	10
	継続	57
	合計	67

メンタルヘルス

相談対応	初回	9
	継続	22
	小計	31
その他	研修会	4
	コンサルテーション（研修会打ち合わせ含む）	4
	相談室だより発行	1
	小計	9
	合計	41

院内研修

講　　師	研修名（依頼元）	開催年月
高橋晶子	『メンタルヘルスについて』（リハビリテーション部1年目対象）	2021.4（3回実施）
高橋晶子	『メンタルヘルスについて』（看護部1年目対象）	2021.7

地域医療連携部

【総括】

2021年度は前年度に引き続きコロナウイルス対策への対応に追われていた一年であったが、紹介患者数や外来患者数などはコロナ前の状態に戻っている傾向であった。当院では2021年度より一般病床の一部を休床し、新型コロナ専用病床を用意したため、新型コロナ感染患者の受入において地域貢献ができた。その一方で、一般病床が減少したことで病床逼迫となるタイミングでは紹介受入調整に時間ががかる場面もあった。

スタッフが4人から3人に減少したが、紹介管理データベースを新たに構築し、紹介患者集計、初診集計、業務管理、郵送管理などの情報をスタッフ全員で共有し、同時に作業することで業務効率改善ができた。そのため、人員減少にもかかわらず、6名の登録医を追加することができ、冬期にはすべての登録医への訪問が実現できた。

［文責：川嶋慎也］

【業務実績】

地域医療支援病院 紹介率（%）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
85.9	83.7	84.8	76.0	81.0	82.5	81.0	78.8	80.0	78.2	76.9	82.1	80.9

地域医療支援病院 逆紹介率（%）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
38.4	66.3	46.4	52.9	59.5	67.0	66.4	66.7	59.3	68.2	64.5	91.1	62.2

紹介患者数（筑波記念病院）

（病院）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計	月平均
初診紹介数	130	123	134	133	142	119	138	155	160	114	138	136	1,622	135
（外　来）	62	68	83	72	70	55	86	87	92	63	60	74	872	73
（入　院）	68	55	51	61	72	64	52	68	68	51	78	62	750	63
再診紹介数	56	42	38	50	30	41	41	53	63	49	38	56	557	46
（外　来）	26	23	14	28	18	14	21	25	29	19	15	25	257	21
（入　院）	30	19	24	22	12	27	20	28	34	30	23	31	300	25
紹介状総数	186	165	172	183	172	160	179	208	223	163	176	192	2,179	182

逆紹介算定数（筑波記念病院）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計	月平均
146	184	159	193	184	183	202	208	216	182	179	216	2,252	187.7

【当院登録医医療機関一覧】

つくば市医師会（順不同）

渡辺内科クリニック	かつらぎクリニック	飯岡医院
倉田内科クリニック	みなのクリニック内科呼吸器科	研究学園いいむら耳鼻咽喉科
寺崎クリニック	池野医院	飯田医院
仁愛内科医院	つくばセンタークリニック	すぎやま内科皮フ科クリニック
ホームオンクリニックつくば	研究学園クリニック	つくばフラワー耳鼻咽喉科
川井クリニック	つくば在宅クリニック	ちかつクリニック
高田整形外科	竹園ファミリークリニック	青空ホームクリニック
宮本内科クリニック	コミュニティクリニック・つくば	せせらぎ在宅クリニック
清水こどもクリニック	つくばねむりとこころのクリニック	さくら内科・呼吸器内科クリニック
大見クリニック	のぐち内科クリニック	清宮眼科皮膚科
中川医院	宮川内科・胃腸科医院	サンシャイン・クリニック
ほりかわクリニック	樫村内科消化器科クリニック	おいかわ腎泌尿器クリニック
小倉医院	つくばシティア内科クリニック	つくばすずらん皮膚科クリニック
酒寄医院	長沢眼科	つくば白亜クリニック
東郷医院	こだま在宅クリニック	小池医院
みらい平クリニック	つくばシティアビル整形外科	鈴木医院
広瀬クリニック	林医院	紫峰の森クリニック
飯村医院	ヒルトップクリニック	ユーカリ医院
岡野整形外科・内科クリニック	坂根Mクリニック	渡辺医院
北條医院	うえの整形外科	谷田部診療所
江原こどもクリニック	ひがし外科内科医院	つくば辻クリニック
高田眼科	あつしクリニック	ユークリニック
根本クリニック	柴原医院	こまつ内科クリニック
成島クリニック	杉谷メディカルクリニック	並木内科クリニック
小田内科クリニック	ありま皮膚科クリニック	沼尻整形外科・胃腸科
緑クリニック医院	太田医院	きくち呼吸器内科クリニック
広瀬医院	なかざわクリニック	竹園眼科
渋谷クリニック	ふなやま内科クリニック	二の宮越智クリニック
木村クリニック	岡本医院	おがわ内科
菊池内科クリニック	大穂皮膚科クリニック	耳鼻咽喉科　大橋医院
天貝整形外科クリニック	いしかわ耳鼻咽喉科クリニック	竹園皮膚科医院
あおやぎ医院	のむら耳鼻咽喉科クリニック	楓クリニック
大野医院	耳鼻咽喉科　学園の森クリニック	ひろせ内科消化器クリニック
南大通りクリニック	さとうクリニック	MED AGRI CLINIC つくば
つくばシティアビル皮フ科	つくばシティアすえひろ眼科	つくば腎クリニック
おおつか内科クリニック	ありたクリニック	中山耳鼻咽喉科医院
上の原病院		

真壁医師会（順不同）

落合医院	なかはら整形外科医院	しもだて中央クリニック
仁保内科医院	根本医院	直江医院
宮本医院	大塚医院	さいとう整形外科
古橋医院	つくし野クリニック	おおもりクリニック
菊山胃腸科外科医院	とやまクリニック	のかおい整形外科
下條整形外科	渡邉クリニック	すわクリニック
坂入医院	菊山医院	池田整形外科
砂沼湖畔クリニック	阿部田医院	玉野医院
中山医院	ごとうクリニック	とみざわハートクリニック

松岡整形外科	山口医院	佐々木整形外科
明野中央医院	長倉内科・外科クリニック	新井内科医院
かくらいクリニック	飯田医院	遠藤産婦人科医院
横瀬医院	野中医院	さとうクリニック
三津山クリニック	浅田医院	介護老人保健施設マカベシルバートピア
田崎内科医院	あけの元気館前クリニック	筑西診療所
秀村医院	ひろせ内科クリニック	
古橋耳鼻咽喉科医院	下館胃腸科医院	

きぬ医師会（順不同）

しば医院	中島医科歯科クリニック	松﨑医院
常総メディカル	桜橋クリニック	天王前クリニック
耳鼻咽喉科　染野クリニック	高橋医院	海老原医院
荒川医院	寺田医院	河村胃腸科外科医院
横瀬医院	植竹医院	安達医院
大塚クリニック	存身堂医院	須澤内科糖尿病医院
いとう内科・胃腸科医院	岩本医院	鈴木内科整形外科医院
石塚医院		

（2021 年 3 月 31 日現在）

委　　員　　会

病院運営管理会議

Ⅰ．目的及び機能

病院事業の施策、計画及び運営に関することについて協議、検討を行う。また、医療安全・感染対策・医師研修等の確保と推進を図ることを目的とし、それらに係る委員会を統括する。

Ⅱ．構成員

◎議長：長澤　俊郎

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	11	リハビリテーション部	1
看護部	1	本部・事務部	5
薬剤部	1		

Ⅲ．会議　開催回数

11 回

Ⅳ．協議事項

・医療安全管理委員会、医療安全対策チーム部会の報告
・感染対策管理委員会、感染症対策チーム部会の報告
・臨床研修管理委員会の報告
・病院機能改善管理委員会の報告
・その他　各チーム部会からの懸案事項の検討

［文責：長澤俊郎］

医療安全管理委員会

Ⅰ．目的及び機能

筑波記念病院病院長の諮問に基づき設置され、医療安全管理に係わる問題点や緊急的検討事項などの政策を管理者に答申し、意思決定を行い、医療安全体制の確保および推進を図ることを目的とする。

Ⅱ．構成員

◎委員長：池澤　和人

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	4	薬剤部	1
医療安全管理室	1	臨床工学課	1
感染管理室	1	本部・事務部	1
看護部	1		

Ⅲ．会議　開催回数

11 回

Ⅳ．協議事項

2021.4.28	2020 年度のインシデント・アクシデント評価を報告した 「指針」および「医療安全管理委員会」「医療安対策チーム」「転倒転落対策 WG」各規約について承認を得た 医療安全組織図に「MRI 安全管理チーム」を追加し承認を得た 口頭指示基準の再確認と、口頭指示書の使用基準の見直しを行った
2021.5.26	4 月のインシデント・アクシデント報告 2021 年度前期医療安全管理研修の開催について承認を得た
2021.6.30	5 月のインシデント・アクシデント報告 医療安全研修実施報告　テーマ「造影 CT、MRI 検査について」
2021.7.28	6 月のインシデント・アクシデント報告 人工呼吸器操作について緊急ニュース発行報告 2021 年度前期医療安全管理研修結果報告（参加率 99.1%）
2021.8.25 （書面開催）	7 月のインシデント・アクシデント報告 DC、AED の設置場所の変更および急変時の対応について周知をした
2021.10.27	9 月のインシデント・アクシデント報告 看護師によるワンショット禁止薬にカルチコールの追加について承認を得た 救急カートの施錠管理の是非について検討した
2021.11.24	10 月のインシデント・アクシデント報告 2021 年度の医療安全推進週間企画として「患者確認動作アンケート」実施について承認を得た
2021.12.29	11 月のインシデント・アクシデント報告 離棟防止対策について検討した 患者確認動作アンケート結果報告（回収率 80%）
2022.1.26	12 月のインシデント・アクシデント報告
2022.2.24 （書面開催）	1 月のインシデント・アクシデント報告
2022.3.31	2 月のインシデント・アクシデント報告 2021 年度後期医療安全管理研修結果報告（参加率 97.3%） 心電図モニターの使用に関して検討した

［文責：池澤和人］

医療安全対策チーム

Ⅰ．目的及び機能

医療安全管理委員会の総括のもと、各部署で発生した問題事象の報告および、現場に即したより実効性のある医療安全対策が実施できる体制の整備に努め、情報共有することで再発防止を図ることを目的とする。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：池澤　和人

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	1	臨床工学課	1
医療安全管理室	1	栄養管理課	1
感染管理室	1	医療相談室	1
看護部	15	本部・事務部	1
薬剤部	1	つくばトータルヘルスプラザ	1
放射線部	1	筑波総合クリニック	3
リハビリテーション部	5	つくばケアセンター	1
臨床検査部	2		

Ⅲ．会議　開催回数

12 回

Ⅳ．協議事項

2021.4.27	2020 年度目標評価報告 「指針」および「医療安対策チーム」「転倒転落対策 WG」各規約について承認を得た 医療安全組織図に「MRI 安全管理チーム」を追加し承認を得た 口頭指示基準の再確認と、口頭指示書の使用基準の見直しを行った
2021.5.25	4 月のインシデント・アクシデント報告 安全ラウンド実施（場所：2 － 4、2 － 5、ICU、OR、CL）
2021.6.22	5 月のインシデント・アクシデント報告 医療安全研修実施報告　テーマ「造影 CT、MRI 検査について」 安全ラウンド実施（場所：救急外来、S 3 西、S 4 東）
2021.7.27	6月のインシデント・アクシデント報告 人工呼吸器操作について緊急ニュース発行報告 2021年度前期医療安全管理研修結果報告（参加率99.1％） 安全ラウンド実施（場所：リハビリ室、総合外来、内視鏡センター、S5 西）
2021.8.24 （書面開催）	7 月のインシデント・アクシデント報告 DC、AED の設置場所の変更および急変時の対応について周知をした
2021.9.28 （書面開催）	8 月のインシデント・アクシデント報告
2021.10.26	9 月のインシデント・アクシデント報告 看護師によるワンショット禁止薬にカルチコールの追加について承認を得た 安全ラウンド実施（場所：検査室、1 － 2、薬剤室、ケアセンター）
2021.11.22	10 月のインシデント・アクシデント報告 2021 年度医療安全推進週間企画として「患者確認動作アンケート」実施について承認を得た 安全ラウンド実施（場所：S 3 西、S 3 東、S 4 西、S 4 東、S 5 西、S 5 東）
2021.12.28	11 月のインシデント・アクシデント報告 離棟防止対策について検討した 患者確認動作アンケート結果報告（回収率 80％） 安全ラウンド実施（場所：OR、ICU、2 － 4、2 － 5、CL）

2022.1.25 （書面開催）	12 月のインシデント・アクシデント報告
2022.2.22 （書面開催）	1 月のインシデント・アクシデント報告
2022.3.22	2 月のインシデント・アクシデント報告 次年度の目標と年間計画 2021 年度後期医療安全管理研修結果報告（参加率 97.3%）

Ⅴ．他 活動内容

1．職員に対する研修

※感染対策のため Web で研修を実施した

開　催　日	内　容	講　師	対象者	参加人数
2021.4.5	医療安全の基礎	医療安全 管理室	新入職者	40 人
2021.5.19	インシデント報告について	医療安全管理室	研修医	9 人
2021.5.10 ～ 5.24	造影 CT と MRI 検査について	放射線部	多職種	423 人
2021.5.14 ～ 6.31 資料閲覧＋アンケート	2021 年度前期医療安全管理研修 テーマ 医療安全管理部門 「インシデント報告方法について」 医薬品安全管理部門 「ハイリスク薬について」	医療安全 管理室	全職員	1,271 人 （受講率 99.1%）
2022.2.7 ～ 2.28 資料閲覧＋アンケート	2021 年度後期医療安全管理研修 テーマ 医療安全管理部門 「患者確認動作アンケート結果」 医薬品安全管理部門 「インスリンについて学ぶ」 医療放射線部門 「X 線透視検査での従事者の被ばく軽減」	医療安全 管理室 放射線部	全職員	1,170 人 （受講率 97.3%）

2．広報活動

◯医療安全対策ニュース発行および掲示　12 回

4 月号「内服薬の誤薬防止」 作成：S 棟 3 階西病棟

5 月号「薬剤の誤訳防止」 作成：手術室

6 月号「食物アレルギーの入力について」　　作成：栄養管理課

7 月号「血管外漏出」 作成：S 棟 5 階西病棟

8 月号「ドレーン・チューブの固定方法について」 作成：S 棟 4 階東病棟

9 月号「連絡先入力間違い」 作成：S 棟 5 階東病棟

10 月号「注射手技による合併症」 作成：総合外来

11 月号「弾性ストッキングの正しい装着」 作成：検査部

12 月号「酸素ボンベの正しい使用方法」 作成：筑波総合クリニック

1 月号「自然骨折における注意喚起」 作成：2 号棟 4 階病棟

2 月号「確実な指示の実施」 作成：1 号棟 2 階病棟

3 月号「医療接遇」 作成：MSW

◯公益財団法人　日本医療機能評価機構　医療安全情報の配布および掲示　12 回

◯厚生労働省　医療事故再発に向けた提言の冊子配布およびポスター掲示　２回
４月　提言第 13 号「胃瘻造設・カテーテル交換に係る死亡事例の分析」
８月　提言第 14 号「カテーテルアブレーションに係る死亡事例の分析」
◯緊急医療安全対策ニュース発行　１回
２月「抗癌剤誤投与に関するニュース報道」

３．医療安全推進活動

◯医療安全推進週間活動
テーマ『患者誤認「ゼロ」宣言』と称し、昨年度と同様のアンケート調査を全職員に実施し、その結果を後期医療安全管理研修において報告
アンケート実施期間　11 月 23 日～ 12 月 20 日　アンケート回収率 83%
確認動作の認知度は、昨年度 83%であったが 92%に上昇した。
◯ 2021 年度各部署業務改善
資料を Web 閲覧で報告した。

［文責：池澤和人］

転倒転落対策 WG

Ⅰ．目的及び機能

医療安全管理員会の総括のもと、各部署で発生した転倒転落に関する報告から、現場に即したより実効性のある安全対策が実行できる体制の整備に努める。さらに医療安全対策チームにおいて活動を報告し、情報共有することで再発防止を図ることを目的とする。

Ⅱ．構成員

◎リーダー：森　純子

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	1	リハビリテーション部	2
医療安全管理室	1	栄養管理課	1
看護部	7	本部・事務部	1
薬剤部	1		

Ⅲ．会議　開催回数

11 回

Ⅳ．委員会　協議事項

2021.4.13	2020 年度の転倒転落評価報告 2021 年度目標・年間計画立案 離床センサー使用患者の表示について討議し承認を得た

2021.5.11	4 月の転倒転落報告と検討 ベッド周囲のコード類の整理方法について検討した
2021.6.8	5 月の転倒転落報告と検討
2021.7.13	6 月の転倒転落報告と検討 離床センサーのクリップが外れやすいため対策を検討した
2021.8.10 （書面開催）	7 月の転倒転落報告と検討
2021.9.14 （書面開催）	8 月の転倒転落報告と検討
2021.10.12	9 月の転倒転落報告と検討
2021.11.9	10 月の転倒転落報告と検討 １号棟２階の一般浴室のナースコールの位置について検討した
2021.12.14	11 月の転倒転落報告と検討 車椅子の使用方法をポスターにし注意喚起した
2022.1.11	12 月の転倒転落報告と検討
2022.2.8 （書面開催）	1 月の転倒転落報告と検討

Ⅴ．他 活動内容

転倒予防ラウンドを各病棟を月１回実施し、ベッド周囲の環境整備を重点的にラウンドを実施した。

［文責：森　純子］

医療放射線管理チーム

Ⅰ．目的及び機能

本チームは医療法に基づき、筑波記念病院 管理者の諮問により、診療放射線の安全利用に係る管理を目的とする。医療安全管理委員会の総括のもと診療放射線のプロトコール管理、被ばく線量管理、放射線の過剰被ばく、その他の放射線診療に関する事例発生時の対応並びにこれに付随する業務を行う。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：鯨岡　結賀

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	2	放射線部	5
看護部	1		

Ⅲ．会議　開催回数

１回

Ⅳ．協議事項

2021.10.28	2021 年度線量管理実施記録の報告

Ⅴ．他 活動内容

診療用放射線の安全利用のための研修の実施

［文責：鯨岡結賀］

MRI安全管理チーム

Ⅰ．目的及び機能

本チームは筑波記念病院　管理者の諮問により、MRI検査の安全利用に係る管理体制の構築を目的とする。画像診断管理加算の施設基準により公益社団法人日本医学放射線学会、公益社団法人日本放射線技術学会、及び特定非営利活動法人磁気共鳴専門技術者認定機構の定めるMRI検査の安全管理の指針に基づき、適切な安全管理をする。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：高橋　信幸

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	2	看護部	1
医療安全管理室	1	放射線部	6

Ⅲ．会議　開催回数

1回

Ⅳ．協議事項

2022.2.15	MRI安全管理チームの目的と構成 MRI安全管理研修の開催について MRI検査の安全管理マニュアル等の見直し MRI検査に関するインシデント・アクシデント発生時の対応

［文責：高橋信幸］

感染対策管理委員会

Ⅰ．目的及び機能

筑波記念病院管理者の諮問に基づき設置され、感染対策上の問題点、緊急的事項、疫学的集計結果などを検討する委員会である。病院として行うべき感染対策上の政策を管理者に答申する、感染対策に関する意思決定機関である。

Ⅱ．構成員

◎委員長：佐藤　祐二

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	3	薬剤部	1
医療安全管理室	1	リハビリテーション部	1
感染管理室	1	臨床検査部	1
看護部	1	本部・事務部	1

Ⅲ．会議　開催回数

11 回

Ⅳ．協議事項

2021.4.28	・2 月～ 3 月にかけての新型コロナウイルス感染症クラスターの報告、4 月 1 日より病院機能が通常運用となった ・4 月より 2 号棟 3 階がコロナ病棟に編成された
2021.5.26	・2020 年度針刺しサーベイランス報告 ・COVID 対策：標準装備（サージカルマスクとゴーグル）の徹底と発熱パトロールによる経時的評価の実施
2021.6.30	・6/1PCR 検査がオーダー入力可能、電子カルテに結果反映 ・発熱外来受診者、陽性者、入院、メディカルチェックは減少傾向
2021.7.28	・7 月に入り COVID 感染者増加、茨城県ステージが 2 から 3 に変更 ・感染対策マニュアルの改訂：標準予防策に標準装備の追加、監視対象菌の表示変更、COVID の就業制限の項目追加、針刺し事故発生時の対応、抗菌薬使用指針、報告体制 ・感染対策加算にかかる合同カンファレンスの日程報告
2021.8.25 （書面開催）	・茨城県での報告数が 200 件超え、職員の感染報告もあり ・ゴーグル着用の徹底と濃厚接触者にならない対応を伝達
2021.10.27	・9/28、9/29 病院機能評価の報告 ・リハビリテーション部長が感染対策管理委員会の構成員となる承認を得た ・MDRP1 件検出されたが軽快退院 ・10/7 茨城県ステージ 1 となり 10/25 より面会禁止の一部緩和（急変時、終末期、死亡時の面会可能）
2021.11.24	・11 月中にインフルエンザ予防接種の実施 ・日本紅斑熱の発生届：ダニ感染症に注意
2021.12.29	・オミクロン株の情報提供：国内で確認 ・レジオネラ症、つつが虫病の発生届
2022.1.26	・1/8 より面会禁止：死亡時のみ面会可能 ・入院 3 日目の PCR スクリーニング検査の開始 ・感染者と濃厚接触者の就業制限の承認：濃厚接触者は 7 日間であるが、隔離できない場合は 17 日間
2022.2.24 （書面開催）	・1 月に入り COVID 感染者が急増（第 6 波）し、職員の家族内感染、保育園での濃厚接触者として就業制限の事例が増加 ・職員の感染判明により病棟のロックダウンを複数回経験しているが感染拡大なし ・2 号棟 3 階患者は施設クラスターからの受け入れが増加、認知症があり、介護度が高く、吸引を要するなどの処置が多かった

2022.3.30	・隔離困難な場合の濃厚接触者の就業制限の変更承認：17 日間から 10 日間に短縮 ・2022 年診療報酬改定により名称が感染対策向上加算に変更、連携施設は変更なし。各施設への訪問・助言などの要件が増え、点数も 390 点から 710 点となる。以上により規約の変更を行う ・感染防止対策加算にかかる加算 1 同士の相互チェックの報告

［文責：佐藤祐二］

感染対策チーム

Ⅰ．目的及び機能

感染対策管理委員会に基づき設置され、病院運営上日常的な感染症に関わる業務を協議、担当する。所属部署職員への情報伝達、指導的立場となり、感染対策チームの活動は感染対策管理委員会に定期的に報告される。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：佐藤　祐二

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	4	臨床工学課	1
医療安全管理室	1	栄養管理課	1
感染管理室	1	本部・事務部	1
看護部	14	つくばトータルヘルスプラザ	1
薬剤部	1	筑波総合クリニック	1
放射線部	1	つくばケアセンター	1
リハビリテーション部	2	委託業者	3
臨床検査部	1		

Ⅲ．会議　開催回数

12 回

Ⅳ．協議事項

毎月、サーベイランス（監視対象菌、抗菌薬、手指衛生）、院内巡視、COVID 対策の報告を行った

2021.4.13	・2 月～ 3 月にかけての新型コロナウイルス感染症クラスターの報告、4 月 1 日より病院機能が通常運用となった ・4 月より 2 号棟 3 階がコロナ病棟に編成された ・感染対策の強化の徹底依頼：エアロゾル発生手技ではフル PPE 着用、発熱パトロール開始、NPPV 使用時の注意点等 ・4 月より個人アルコール使用量の計測を各部署より提出依頼
2021.5.11	・2020 年度針刺しサーベイランス報告 ・COVID 対策：標準装備（サージカルマスクとゴーグル）の徹底
2021.6.8	・入院患者術前検査で COVID 判明、発熱パトロールの徹底依頼 ・PCR 検査がオーダー入力可能、電子カルテに結果反映 ・一般患者へのワクチン接種実施 ・発熱外来受診者、陽性者、入院、メディカルチェックは減少傾向
2021.7.13	・7 月に入り COVID 感染者増加、茨城県ステージ 3 に変更 ・監視対象菌の色別表示を統一：電子カルテとステーション内ナースコールベッド表示（MRSA 青、MDRP 緑、CD 赤）
2021.8.10 （書面開催）	・茨城県での報告数が 200 件超え、職員の感染報告もあるため、ゴーグル着用の徹底と濃厚接触者にならない対応を伝達

2021.9.14 （書面開催）	・8 月までの COVID 報告：第 5 波 ・陽性者はデルタ株に置き換わり、入院は 36 名で酸素使用者は 60%超え、重症化する事例あり
2021.10.12	・MDRP1 件検出されたが軽快退院された ・10/7 茨城県ステージ 1 となり面会禁止の一部緩和の予定 ・9/28、9/29 病院機能評価の報告
2021.11.9	・10/25 より急変時、終末期、死亡時の面会可能に変更 ・11 月中にインフルエンザ予防接種行う ・日本紅斑熱の発生届：ダニ感染症に注意
2021.12.14	・オミクロン株の情報提供：国内で確認 ・レジオネラ症、つつが虫病の発生届
2022.1.11	・1/8 より面会禁止：死亡時のみ面会可能 ・入院 3 日目の PCR スクリーニング検査の開始
2022.2.8 （書面開催）	・1 月に入り COVID 感染者が急増（第 6 波）し、職員の家族内感染、保育園での濃厚接触者として就業制限の事例が増加 ・エアロゾル発生手技での N95 マスク着用の徹底依頼 ・感染者と濃厚接触者の就業制限の提示：濃厚接触者は 7 日間であるが、隔離できない場合は 17 日間
2022.3.8 （書面開催）	・蔓延防止等重点措置の延長（3/21 まで） ・職員の感染者は 7 割が家族内感染、職員の感染判明により病棟のロックダウンを複数回経験しているが感染拡大なし

Ⅴ．他 活動内容

1．感染防止対策加算 1 に係る感染防止対策加算２の施設との合同カンファレンス

※コロナ禍によりリモート会議とした

開催日：6 月 29 日、8 月 31 日、11 月 30 日、2 月 22 日

参加施設：大圃病院、筑波胃腸病院、筑波中央病院、宮本病院

2．感染防止対策加算に係る年４回の合同カンファレンスへオブザーバーとして参加

※コロナ禍によりリモート会議とした

開催日：6 月 4 日、9 月 3 日、12 月 3 日、3 月 4 日

参加施設：筑波大学附属病院、取手北相馬保健医療センター医師会病院、筑波学園病院、守谷慶友病院

3．感染防止対策加算地域連携加算にかかる相互チェック

筑波メディカルセンター病院と対面で行う

開催日：3 月 23 日、3 月 30 日

4．院内ラウンド

1）週 1 回の環境ラウンド

2）毎週木曜日に感染症サーベイランス・抗菌薬適正使用についてミーティング

5．従業員に対する研修

実　施　日	対　象	内　容	参加人数
2021.6.14 ～ 6.30Web 回覧	全職員	2021 年度前期医療安全管理研修：新型コロナウイルス感染症との闘いはまだ続く	1271/1282 名 （99.1%）
2022.2.7 ～ 2.28Web 回覧	全職員	2021 年度後期医療安全管理研修：感染対策に関する報告	1170/1202 名 （97.3%）

6．サーベイランスの実施

厚生労働省院内感染対策サーベイランス（JANIS）の全入院患者部門、検査部門、手術部位感染（SSI）部門、集中治療室（ICU）部門に参加

7．感染率　（JANIS の定義に基づく）

感染率＝感染症患者数／総入院患者数× 1000

※感染症患者数＝（新規感染症患者数）＋（継続感染症患者数）

※総入院患者数＝（新規入院患者数）＋（前月からの継続入院患者数）

	MRSA	MDRP
感染症患者数	12 件	0 件
感染率	1.15‰	0‰

検出率＝感染症検出患者数／総入院患者数× 1000

感染症検出患者数＝新規感染症患者数で重複を除く

クロストリジウム・ディフィシルは JANIS 対象病原体でないため保菌を含む検出率とする

	クロストリジウム・ディフィシル
検出患者数	23 件
検出率	2.2‰

［文責：佐藤祐二］

労働安全衛生管理委員会

Ⅰ．目的及び機能

病院職員の危険又は健康障害を防止するための措置の実現に携わり、労働安全衛生のための教育検討をする。

Ⅱ．構成員

◎委員長：長澤　俊郎

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	2	臨床工学課	1
看護部	1	本部・事務部	4
薬剤部	1	つくばトータルヘルスプラザ	3
放射線部	1	筑波総合クリニック	1
リハビリテーション部	1	つくばケアセンター	1
臨床検査部	1	臨床心理	1

Ⅲ．会議　開催回数

12 回

Ⅳ. 協議事項

2021.4.9 （書面開催）	書面による定例報告（巡視報告、労災報告、意見箱、休業者について、こころの相談室、残業時間について）
2021.5.14	定例報告（巡視報告、労災報告、意見箱、休業者について、こころの相談室、残業時間について） ストレスチェック実施について 事務職員の特定業務従事者の健康診断について 職場復帰支援マニュアルの見直しについて
2021.6.11	定例報告（巡視報告、労災報告、意見箱、休業者について、こころの相談室、残業時間について） ストレスチェック実施について こころの相談室及びハラスメント相談室について 院内の換気について
2021.7.9	定例報告（巡視報告、労災報告、意見箱、休業者について、こころの相談室、残業時間について） 職員定期健診について、 ストレスチェックについて 不審者訓練実施について 有休・残業時間数の管理について
2021.8.13 （書面開催）	書面による定例報告（巡視報告、労災報告、意見箱、休業者について、こころの相談室、残業時間について） ストレスチェック受検率について 職員満足度調査について
2021.9.24 （書面開催）	書面による定例報告（巡視報告、労災報告、意見箱、休業者について、こころの相談室、残業時間について） 保健指導について ストレスチェック結果報告 良い行動を行った職員への表彰制度について
2021.10.8	定例報告（巡視報告、労災報告、意見箱、休業者について、こころの相談室、残業時間について） 喫煙アンケートについて 良い行動を行った職員への表彰について
2021.11.12	定例報告（巡視報告、労災報告、意見箱、休業者について、こころの相談室、残業時間について） 不審者対応訓練について 良い行動を行った職員への表彰について
2021.12.10	定例報告（巡視報告、労災報告、意見箱、休業者について、こころの相談室、残業時間について） 不審者対応訓練報告 良い行動を行った職員への表彰について 労災手続きフローについて
2022.1.14	定例報告（巡視報告、労災報告、意見箱、休業者について、こころの相談室、残業時間について） 職員定期健康診断 機能評価指摘事項について（喫煙者の把握） 院内暴力フローについて
2022.2.18 （書面開催）	書面による定例報告（巡視報告、労災報告、意見箱、休業者について、こころの相談室、残業時間について）
2022.3.11 （書面開催）	書面による定例報告（巡視報告、労災報告、意見箱、休業者について、こころの相談室、残業時間について） 人間ドックについて 労災手続きフローについて 2021年交通事故発生状況報告

［文責：長澤俊郎］

防火防災管理委員会

Ⅰ．目的及び機能

人為的原因を含む災害が発生した際に筑波記念会の有する機能をできる限り発揮し、被災対応、救護対応、後方対応を的確に行う。そのためにマニュアルを作成し訓練の実施などを通して強化していく。

Ⅱ．構成員

◎委員長：阿部　智一

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	2	本部・事務部	5
看護部	1	つくばトータルヘルスプラザ	1
薬剤部	1	筑波総合クリニック	1
リハビリテーション部	1	つくばケアセンター	1
栄養管理課	1	地域医療連携部	1

Ⅲ．会議　開催回数

１回

Ⅳ．協議事項

2021.10.19	10月入職の医師、看護師、介護士、事務職員等の40名に対し、震災発生した場合における施設内の避難経路確認訓練をおこなった。

［文責：阿部智一］

臨床研修管理委員会

Ⅰ．目的及び機能

臨床研修医の管理及び採用、中断、修了の際の評価等、臨床研修の実施の統括を行う。臨床研修医の評価を行い管理差に対し、当該研修医の評価を報告する。

Ⅱ．構成員

◎委員長：小關　剛

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
筑波記念病院	9	つくばケアセンター	1
筑波総合クリニック	1	外部委員	15

Ⅲ．会議　開催回数

２回

Ⅳ．協議事項

2021.11.20	1　2022 年度筑波記念病院総合研修プログラムについて 2　2022 年度採用マッチング結果について 3　2021 年度院内教育について 4　2021 年度採用活動について
2022.3.4	1　2021 年度筑波記念病院総合研修プログラムについて 2　2021 年度 2 年次臨床研修医修了認定について 3　2021 年度 1 年次臨床研修医について 4　2021 年度研修実績について 5　2022 年度臨床研修医採用状況 6　2022 年度プログラム変更について 7　質疑・ご意見

［文責：小關　剛］

臨床研修運営チーム

Ⅰ．目的及び機能

臨床研修のプログラム、臨床研修医の採用計画、研修課程の評価、臨床研修医の服務等、臨床研修医の研修に関する業務全般を司る。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：小關　剛

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	20	臨床検査部	1
看護部	1	医療相談室	1
薬剤部	1	本部・事務部	2
リハビリテーション部	1		

Ⅲ．会議　開催回数

12 回

Ⅳ．協議事項

2021.4.26 （書面開催）	令和 3 年度 1 年次研修医オリエンテーションについて 処方資格試験について 臨床研修評価（EPOC2）について 1 年次研修医日当直について ハンガリー医学部生実習受入について
2021.5.24	令和 3 年度マッチングスケジュールについて 令和 3 年度プログラム責任者養成講習会について 筑波大学学生実習受入について 処方資格試験について 臨床研修医夏休取得について
2021.6.28	チーム会メンバーの追加について レジナビオンライン参加報告 神経内科ローテートについて 臨床研修医個別面談について

2021.7.26	国家試験対策について 令和３年度マッチングスケジュール・試験応募者について
2021.8.23 （書面開催）	マッチング採用試験について たすき掛け研修医について 導尿研修について 学生実習（筑波大地域 CC、東京医大、ハンガリー医大）受入について
2021.9.27 （書面開催）	当院おけるマッチング順位登録について ローテーション一部変更について 筑波大学学生実習について 第６回院内学術集会開催について
2021.10.25	茨城県内の中間発表時マッチ状況について マイナビ resident 茨城県エリア（Web 説明会）参加報告 第６回院内学術集会について 令和３年度臨床研修管理委員会の開催について
2021.11.22	令和３年度マッチング最終結果について 茨城県の医師修学資金制度について 今後のリクルート活動について 臨床研修管理委員会について プログラム責任者講習受講について 専門研修プログラムの最終承認結果ついて ２年次研修医の進路について 令和４年度当院採用専攻医について
2021.12.27	２年次研修医の最終進路について 令和４年度当院採用専攻医について レジナビ Fair オンライン 2021 参加報告 第６回院内学術集会について 令和４年度ローテーションについて
2022.1.24 （書面開催）	第６回院内学術集会について 令和３年度臨床研修管理員会について 学生実習一部中止について
2022.2.21 （書面開催）	今月のリクルート活動報告 令和３年度臨床研修管理委員会について 令和３年度活動報告について 令和４年度臨床研修管理体制について ２年次研修医修了判定について
2022.3.28	２年次研修医の修了式について報告 医師国家試験結果について 今月のリクルート活動報告 令和４年度ローテーションについて 当院プログラムにおける責任診療科について 次年度年間スケジュールについて 令和４年度臨床研修管理体制について

Ⅴ．他 活動内容

2021.6.14	レジナビ Fair オンライン 2021 東日本（Web 開催）
2021.10.19	マイナビ resident 茨城県エリア（Web 開催）
2021.12.7	レジナビ Fair オンライン 2021 東京フェア Week（Web 開催）
2022.2.17	レジナビ Fair オンライン 2022 春 東日本（Web 開催）
2022.2.26	茨城県修学生向けスプリングセミナー（Web 開催）
2022.3.13	令和３年度茨城県臨床研修病院合同説明会（Web 開催）
2022.3.20	レジナビ Fair 2022 東京春（東京ビックサイト）

［文責：小關　剛］

医療従事者研修管理委員会

Ⅰ．目的及び機能

管理者からの諮問により、筑波記念会全職員を対象とした教育研修を目的として、以下のことについて検討し答申する。

（1）全職員を対象とする教育研修会の立案・企画・評価

（2）各部門における研修計画の把握と実施状況への評価

（3）地域医療研修運営チームへの評価・提言

Ⅱ．構成員

◎委員長：長澤　俊郎

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	2	栄養管理課	1
看護部	1	地域医療連携室	1
薬剤部	1	本部・事務部	4
放射線部	1	つくばトータルヘルスプラザ	1
リハビリテーション部	2	筑波総合クリニック	1
臨床検査部	1	つくばケアセンター	1
臨床工学課	1		

Ⅲ．委員会　開催回数

1回

Ⅳ．協議事項

2022.3.25	・規程改訂 ・全体研修・各部署教育事業・各部署学生実習の今年度実績・来年度計画報告 ・職員研修運営チーム解散について

［文責：長澤俊郎］

地域医療研修運営チーム

Ⅰ．目的及び機能

地域医療の中核として地域医療従事者の研修事業を積極的に行い、地域医療従事者の研鑽の場の提供と地域医療の質の向上を目的とする。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：長澤　俊郎

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	2	臨床検査部	1
看護部	1	栄養管理課	1
薬剤部	1	地域医療連携部	1
放射線部	1	本部・事務部	1
リハビリテーション部	1		

Ⅲ．会議　開催回数

４回

Ⅳ．協議事項

2021.5.28	チーム規約の確認、メンバーの確認、前年度公開講座振り返り
2021.7.30	規約とメンバーの決定、公開講座予定の確認
2021.12.24	11 月 26 日開催の公開講座報告、今後の予定の確認
2022.3.25	オンライン開催についての今後、高次脳機能障害拠点病院としての PR 活動としての活用について、来年度以降の医療従事者研修委員会と当チームとの位置づけについて

Ⅴ．他 活動内容

地域医療連携公開講座として３回開催

［文責：長澤俊郎］

診療管理委員会

Ⅰ．目的及び機能

医事・地域医療連携に係る情報の共有、評価、分析を行うとともに、各運営チームでの決定事項の報告、情報周知を目的とする。

Ⅱ．構成員

◎委員長：長澤　俊郎

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	26	臨床検査部	1
看護部	1	栄養管理課	1
薬剤部	1	地域医療連携部	1
放射線部	1	本部・事務部	1
リハビリテーション部	1	臨床工学課	1
医療相談室	1	筑波総合クリニック	1
つくばケアセンター	1	つくばトータルヘルスプラザ	1

Ⅲ．会議　開催回数

12 回

Ⅳ．協議事項

・医事報告
・地域医療連携報告
・地域医療患者サポートセンター報告
・施設基準充足状況報告
・各委員会からの報告
・診療に関する問題点の協議

［文責：長澤俊郎］

救急診療運営チーム

Ⅰ．目的及び機能

地域住民が生命の危機に瀕したときや、不慮の怪我や病状悪化により、緊急の対応を要したときに、生命を安心して預けられる病院であるよう、救急患者の受け入れと治療に病院全体で総力を挙げる。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：榎本　強志

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	8	本部・事務部	3
看護部	2	筑波総合クリニック	1
放射線部	1	つくばケアセンター	
地域医療連携室	1		

Ⅲ．会議　開催回数

12 回

Ⅳ．協議事項

2021.4.16	2020 年度受入状況について
2021.5.21	救急車お断りについて
2021.6.18	当直帯引継ぎについて
2021.7.16	救急車入院率について
2021.8.20 （書面開催）	救急車お断りについて
2021.9.17	当直に関する提言について
2021.10.15	症例検討会について
2021.11.20	救急車お断りについて
2021.12.17	症例検討会について
2022.1.21	症例検討会について
2021.2.18 （書面開催）	コロナ患者救急車受入について
2021.3.18 （書面開催）	コロナ患者救急車受入について

［文責：榎本強志］

手術部運営チーム

Ⅰ．目的及び機能

手術室の円滑な運営ができるよう、関連する事項について協議、検討することを目的とする。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：田島　啓一

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	13	臨床工学課	1
看護部	1	本部・事務部	1

Ⅲ．会議　開催回数

６回

Ⅳ．協議事項

2021.4.7	緊急手術時の挿管・抜管について 麻酔科の責任者について 肺血栓塞栓症予防管理料算定にあたり必要事項について
2021.6.2	チーム規約について 手術前の呼吸機能検査・血液型検査について
2021.8.4 （書面開催）	血液型検査の判定について 術後レントゲン撮影について 入院２週間以上経過後に手術必要とした患者の PCR 検査について
2021.10.6	COVID-19 対策について 機能評価の指摘事項について
2021.12.1	COVID-19 対策についての再確認 手術室の Bed について
2022.2.2 （書面開催）	手術台更新の報告、COVID-19 感染後の患者対応 時間外緊急手術時の呼び出し要請について

［文責：田島啓一］

ＩＣＵ運営チーム

Ⅰ．目的及び機能

ICU 病床の円滑な運営を図ることを目的とする。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：末松　義弘

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	7	臨床工学課	1
看護部	2	本部・事務部	1

Ⅲ．委員会　開催回数

５回

Ⅳ．委員会　協議事項

2021.5.10	新型コロナウイルス流行下での ICU 運用について
2021.7.12	医療用カーテンの導入について
2021.9.13	ICU ベッドコントロールについて
2021.11.8	ICU ベッドコントロールについて
2022.1.17	新しい ICU ベッドコントロールについて

Ⅴ．他　活動内容

重症患者の治療を要する ICU 病床のベッドコントロール及び運用などを協議する場である。2020 年 4 月よりは救急科医師も加わり、より高度な医療を提供できるよう協議を重ねている。新型コロナウイルス流行下での ICU の運用および新規設備の導入など積極的に検討しており、常に重症患者を受け入れる体制を整えている。

［文責：末松義弘］

シーティングWG

Ⅰ．目的及び機能

リハビリテーション運営チームの統括のもと、シーティング等に関する機器の整備と供給体制の構築を行い、患者・利用者の診療環境の向上を図る。

Ⅱ．構成員

◎リーダー：伊佐地　隆

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	2	医療相談室	1
医療安全管理室	1	本部・事務部	1
看護部	6	つくばケアセンター	3
リハビリテーション部	9		

Ⅲ．委員会　開催回数

８回

Ⅳ．委員会　協議事項

2021.5.20	研修会（回診）の開催に関する議論、備品整備・購入状況報告、各部署からの報告
2021.6.17	シーティングの普及に関する議論、各部署からの報告
2021.7.15	シーティングの普及に関する議論、各部署からの報告
2021.10.21	備品整備・購入状況報告、レンタル車いすに関する議論、研修案内、各部署からの報告
2021.11.18	備品整備・購入状況報告、レンタル車いすに関する議論、ポジショニング用クッションに関する議論、ベッド上のポジショニング（背上げ座位）に関する伝達、各部署からの報告
2021.12.16	レンタル車いすに関する議論、ポジショニング用クッションに関する議論、シーティングの目的に関する議論、各部署からの報告
2022.1.20	レンタル車いすに関する議論、ポジショニング用クッションに関する情報共有、4月からシーティング運営チームに格上げすることの報告
2022.3.17	レンタル車いすに関する報告、ポジショニング用クッションに関する情報共有、シーティングの勉強資料の配布・案内

Ⅴ．他　活動内容

シーティングに必要な関連備品の調達活動

［文責：伊佐地隆］

病院機能改善管理委員会

Ⅰ．目的及び機能

医療の質の要素である、診療の質（技術・能力）、設備・機器の質、付帯サービスの質（接遇・その他）、提供体制の質（精度・組織・運営）に関し、各担当から指標となる項目の報告をもらい、さらにこれらの改善に向けての体制を整える。

Ⅱ．構成員

◎委員長：鯨岡　結賀

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	3	地域医療連携室	1
医療安全管理室	1	本部・事務部	4
感染管理室	1	つくばトータルヘルスプラザ	1
看護部	2	筑波総合クリニック	1
薬剤部	1	つくばケアセンター	1
リハビリテーション部	1		

Ⅲ．開催回数

11 回

Ⅳ．協議事項

2021.4.19	規約更新、メンバー確認
2021.5.17	病院機能評価ワーキングチーム
2021.6.20	病院機能評価ワーキングチーム
2021.7.19	電子カルテのエントランス画面変更について
2021.8.16 （書面開催）	電子カルテのエントランス画面変更について 共有フォルダの整理について メンバー変更
2021.9.13	病院機能評価ワーキングチーム
2021.10.18	電子カルテのエントランス画面　変更後について
2021.12.20	病院機能評価ワーキングチーム（病院機能評価中間評価結果報告） 委員会再編について
2022.1.17	病院機能評価最終結果報告および今後のスケジュールについて QI の項目について 委員会再編について 医療情報システム管理チーム報告
2022.2.21 （書面開催）	医療情報システム管理チーム報告 医療情報システム管理規程改訂について
2022.3.28	病院機能評価現状ヒアリングについて QI の項目について 各委員会の新年度体制について 本委員会の新年度体制について

Ⅴ．開催回数

病院機能評価更新（2022.8.20）

［文責：鯨岡結賀］

医療ガスチーム

Ⅰ．目的及び機能

筑波記念会の運営する各事業所における医療ガス設備の管理を行い、患者の安全と災害の未然防止を目的とする。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：田島　啓一

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	1	本部・事務部	4
看護部	1	筑波総合クリニック	1
薬剤部	1	委託業者	2
臨床工学課	1		

Ⅲ．会議　開催回数

１回

Ⅳ．協議事項

2021.9.9	医療ガス配管設備保守点検結果報告 人工空気製造装置定期点検結果報告 修理の記録と今後の予定

［文責：田島啓一］

がん化学療法運営チーム

Ⅰ．目的及び機能

筑波記念病院における、がん化学療法のレジメンの管理（登録、削除、保留）、施用等の適正化を図る。
検討事項：がん化学療法を行うためのレジメン・手技・医薬品の管理、外来化学療法室の運用、その他。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：一色　雄裕

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	6	薬剤部	3
看護部	2	本部・事務部	1

Ⅲ．会議　開催回数

５回

Ⅳ．協議事項

2021.4.12	化学療法室時間外退室患者について 日本がん治療認定医機構　認定研修施設の更新 (5 年に 1 回) について 栄養指導の啓蒙について 化学療法関連インシデント アントラサイクリン系抗癌剤の血管外漏出について 化学療法委員会メンバー変更
2021.6.7	化学療法室時間外退室患者について 日本がん治療認定医機構　認定研修施設の更新 (5 年に 1 回) 栄養指導の啓蒙について 化学療法マニュアルの進捗状況 外来のベッド管理について 特定生物由来製品の同意書について 抗がん剤の同意書について
2021.8.2	化学療法室時間外退室患者について 日本がん治療認定医機構　認定研修施設の更新 (5 年に 1 回) 栄養指導の啓蒙について 化学療法マニュアルの進捗状況 特定生物由来製品の同意書について 化学療法関連インシデント 新規採用抗がん剤の報告
2021.10.4	化学療法室時間外退室患者について 特定生物由来製品の同意書について 機能評価での指摘事項
2021.12.6	化学療法室時間外退室患者について 特定生物由来製品の同意書について 機能評価での指摘事項 化学療法関連インシデント 化学療法同意書の運用について

［文責：一色雄裕］

輸血運営チーム

Ⅰ．目的及び機能

院内における輸血が安全かつ円滑に行われるための活動の大網を定める事を目的とする。管理者の諮問機関として、管理者からの諮問事項、輸血療法上の問題点、緊急的検討事項、疫学的集計結果などを検討するチームで、病院として行うべき輸血療法上の方策を管理者に答申する輸血療法に関する意思決定機関である。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：佐藤　祐二

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	2	臨床検査部	3
看護部	3	本部・事務部	1
薬剤部	3	委託業者	1

Ⅲ．会議　開催回数

6回

Ⅳ．協議事項

2021.4.14	病院機能評価に向けて
2021.6.9	重篤な副作用発生時の流れについて
2021.8.11	他医療機関からの血液製剤の搬入と当院からの搬出について
2021.10.13	アルブミンを含んでいる抗悪性腫瘍剤使用時の輸血同意書について
2021.12.8	病院機能評価中間報告について
2022.3.23	緊急手術時の輸血準備について

［文責：佐藤祐二］

診療録チーム

Ⅰ．目的及び機能

診療情報ならびに診療録の管理について、総括的に規定し適切な管理を行い、医療の質を確保する。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：田島　啓一

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	8	臨床検査部	2
医療安全管理室	1	栄養管理課	1
看護部	3	地域医療連携室	1
薬剤部	1	医療相談室	1
放射線部	1	本部・事務部	5
リハビリテーション部	1	筑波総合クリニック	1

Ⅲ．会議　開催回数

12回

Ⅳ．協議事項

2021.4	診療録チーム規約の確認
2021.5	診療録管理規定の確認
2021.6	カルテ監査について協議
2021.7	退院要約完成状況の報告
2021.8	カルテ監査の実施
2021.9	診断書等の書類の押印・署名について協議
2021.10	機能評価の指摘事項の報告
2021.11	同意書の代筆署名について協議
2021.12	機能評価の中間報告について

2022.1	診療録記載要項について協議
2022.2 （書面開催）	退院要約完成状況の報告・診療録記載要項の承認（
2022.3 （書面開催）	退院要約完成状況の報告

［文責：田島啓一］

医療情報システム管理チーム

Ⅰ．目的及び機能

情報漏洩及びコンピューターウイルス感染、紛失、盗難の防止の安全かつ合理的な運用を図ることを目的とする。USB メモリ及びその他記録媒体、個人 PC の使用を管理する。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：長澤　俊郎

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	5	栄養管理課	1
医療安全管理室	1	地域医療連携室	1
感染管理室	1	病歴管理室	1
看護部	6	本部・事務部	1
薬剤部	1	つくばトータルヘルスプラザ	1
放射線部	1	リクルートセンター	1
リハビリテーション部	1	筑波総合クリニック	2
臨床検査部	1	つくばケアセンター	1
臨床工学課	1		

Ⅲ．会議　開催回数

２回

Ⅳ．協議事項

2022.1.5	セキュリティ USB メモリ及び個人持ち込み PC の運用と管理規程の作成について
2022.2.5	セキュリティ USB メモリ及び個人持ち込み PC の運用と管理規定内容の最終確認

［文責：鯨岡結賀］

臨床検査運営チーム

Ⅰ．目的及び機能

臨床検査部の効率的かつ円滑な運営、管理を図り、あわせて診療の向上に寄与することを目的とする。また当院では、検体検査を外部委託しており、委託業務の実態を評価し、改善を促進する。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：井川　昌幸

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	1	本部・事務部	2
看護部	3	委託業者	2
臨床検査部	4		

Ⅲ．会議　開催回数

４回

Ⅳ．協議事項

2021.5.24	①チームメンバー・チーム規約の確認 ②日本医師会の精度管理結果報告 ③新型コロナの検査体制の確認
2021.8.24 （書面開催）	①６月１日から新型コロナ PCR 検査をオーダー運用開始。結果も電子カルテの検査結果画面で確認可能 ②病理部門の既読管理運用開始 ③電子カルテのエントランスに“臨床検査部のお知らせ”というフォルダを作成。必要な情報を随時載せていく。
2021.11.29	①病院機能評価を受審。審査時の報告書、指摘事項と改善計画、中間的な結果報告の資料３点を配布。内容を確認、検討した。 ②外注検査の年末年始体制が近日配布予定。受付不可などの項目に注意する。
2022.2.28 （書面開催）	①2021 年度の外部精度管理結果報告（まとめ） ②新型コロナの院内検査として“ID NOW”に加えて“Liat”を１台導入。細胞診室で職員などへ限定使用 ③新規検査項目申請書を作成。次回承認を受ける予定

［文責：井川昌幸］

栄　養　チ　ー　ム

Ⅰ．目的及び機能

筑波記念病院栄養チームは、当院における栄養・給食管理業務の適正化をはかるために行う。栄養・給食管理業務を遂行すると同時に、改善が必要な事項については検討し、さらに検討事項の改善、報告を行う。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：右田　琢生

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	1	本部・事務部	2
看護部	2	委託業者	2
栄養管理課	2		

Ⅲ．会議　開催回数

11 回

Ⅳ．協議事項

2021.4	チーム規約・構成メンバー変更　インシデント報告　加算件数報告
2021.5	インシデント報告　加算件数報告　嚥下食見直し　主食の取り扱い
2021.6	インシデント報告　加算件数報告　嚥下食見直し　主食の取り扱い　嗜好調査
2021.7	インシデント報告　加算件数報告　嗜好調査
2021.8	インシデント報告　加算件数報告　嗜好調査　MCT オイルの採用
2021.9	インシデント報告　加算件数報告　嗜好調査結果報告
2021.10	インシデント報告　加算件数報告　嗜好調査結果を受けての献立改善
2021.11	インシデント報告　加算件数報告　食物アレルギーの取り扱い　付加食品の取り扱い
2021.12	インシデント報告　加算件数報告　嚥下食の変更
2022.2	インシデント報告　加算件数報告　ブイ・クレス CP10 採用
2022.3	インシデント報告　加算件数報告　1 年の振り返り

Ⅴ．他 活動内容

1．献立の見直し

2．適切な給食提供

3．インシデントの改善

［文責：右田琢生］

栄養サポートチーム（ＮＳＴ）

Ⅰ．目的及び機能

栄養状態を判定し、その患者に最もふさわしい栄養管理を指導・提言することで、患者の治療・回復・退院及び社会的復帰を図る。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：池澤　和人

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	8	栄養管理課	8
看護部	12	本部・事務部	1
薬剤部	3	リハビリテーション部	1

Ⅲ．会議　開催回数

10 回

Ⅳ．協議事項

2021.4	加算報告　2021 年活動内容　InBody® 採用
2021.5	加算報告・目標　スクリーニング基準　経腸栄養ポンプ説明会
2021.6	加算報告　勉強会　スクリーニング操作説明
2021.7	加算報告　勉強会　スクリーニング項目　ISO 新規格チューブ
2021.8	加算報告　スクリーニング項目　患者計測のお願い　MCT オイル
2021.9	加算報告　スクリーニング項目　患者計測のお願い
2021.10	加算報告　勉強会　スクリーニング項目　病院機能評価結果
2021.11	加算報告　勉強会　NST 依頼方法　NST 研修施設の認定
2021.12	加算報告　ブリストルスケール　嚥下食のエネルギー量 UP
2022.3	加算報告　勉強会　2021 年度の振り返り

Ⅴ．他 活動内容

1．適切な栄養評価
2．栄養管理の指導・提言
3．栄養管理に伴う合併症の予防・早期発見・治療
4．資源・素材の省力化
5．各チームとの相互協力
6．病院スタッフへの知識の習得
　※週 6 回のカンファレンス
　※毎月 1 回のチーム会議の開催
　※ web への参加

［文責：池澤和人］

摂食嚥下ケアチーム

Ⅰ．目的及び機能

1．各病棟で選出された患者の回診を行い、方向性や検査の必要性を検討し提案する
2．摂食嚥下訓練の指導・助言
3．摂食嚥下障害に伴う合併症の予防・早期発見・治療
4．資源・素材の省力化
5．各委員会との相互協力
6．病院スタッフへの知識の提供

Ⅱ．構成員

◎チーム長：海老原　一彰

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	2	リハビリテーション部	2
看護部	13	栄養管理課	1
薬剤部	2		

Ⅲ．会議　開催回数

9回

Ⅳ．協議事項

2022.4.9	摂食機能療法実施報告 摂食機能療法算定者スクリーニングと回診 嚥下評価検査実施報告 各部署報告兼相談事項検討 訓練・評価対策チーム／パンフレット作成チーム報告と推進
2021.5.15	上記同様
2021.6.11	上記同様
2021.7.9	上記同様
2021.8.13	上記同様
2021.10.8	上記同様
2021.11.12	上記同様
2021.12.10	上記同様
2022.1.14	上記同様

Ⅴ．他 活動内容

・各病棟でスクリーニングされた患者についてのカンファレンスと摂食機能療法算定者の回診を行う
・院内の摂食嚥下に関する治療がスムーズに実施できるよう WG の活動を行う
・職員に対し、摂食嚥下の知識や技術の向上を目指した勉強会を開催する
　※本年度は未開催
・必要時は、NST、褥瘡チーム、緩和ケアチーム、栄養チームに協力依頼を行う
・嚥下評価者、摂食機能療法算定者の把握をする

	実施人数（人）	総単位数（単位）	総点数（点）	内視鏡下嚥下機能検査数（件）	嚥下造影検査数（件）
4 月	15	267	49,395	5	1
5 月	10	221	40,885	3	1
6 月	11	115	21,275	6	3
7 月	7	55	10,175	7	2
8 月	10	65	12,025	12	3
9 月	9	94	17,390	6	0
10 月	9	49	9,065	10	0
11 月	8	72	13,320	4	1
12 月	6	110	20,350	9	2
1 月	6	84	15,540	7	1
2 月	3	52	9,620	9	0
3 月	5	31	5,735	6	1
合計	52	1,215	224,775	84	15

［文責：海老原一彰］

褥瘡対策チーム

Ⅰ．目的及び機能

褥瘡対策チームは、院内における褥瘡予防を周知させることで、褥瘡発生を減少させ、かつ、発生した褥瘡に対しては、的確な対応ができることを目標とする。医療スタッフが連携し、協力して行う。チーム医療を基本とし、褥瘡対策の強化と早期治療の促進を図るため病院全体で取り組む。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：照沼　篤

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	2	栄養管理課	1
看護部	12	薬剤部	1
リハビリテーション部	2		

Ⅲ．委員会　開催回数

12 回

Ⅳ．委員会　協議事項

2021.4.7	褥瘡回診　褥瘡回診結果報告　エアマットの使用状況報告 新人教育について　オスカーの使用について（看護部のみ）
2021.5.12	褥瘡回診　褥瘡回診結果報告　エアマットの使用状況報告 エアマットの取り扱いについて（看護部のみ） ・記録の評価ラウンド

2021.6.2	褥瘡回診　褥瘡回診結果報告　エアマットの使用状況報告 褥瘡評価表入力について（看護部のみ） ・記録の評価ラウンド
2021.7.7	褥瘡回診　褥瘡回診結果報告　エアマットの使用状況報 看護計画入力について（看護部のみ） ・記録の評価ラウンド
2021.8.4	褥瘡回診　　エアマットの使用状況確認 コロナ感染拡大予防のため回診のみ実施
2021.9.1	褥瘡回診　　エアマットの使用状況確認 コロナ感染拡大予防のため回診のみ実施
2021.10.6	褥瘡回診　褥瘡回診結果報告　エアマットの使用状況報告
2021.11.10	褥瘡回診　褥瘡回診結果報告　エアマットの使用状況報告 ポジショニングについて（RH: 山口）
2021.12.1	褥瘡回診　褥瘡回診結果報告　エアマットの使用状況報告 ポジショニング・シーティングについて（RH: 山口）
2022.1.5	褥瘡回診　褥瘡回診結果報告　エアマットの使用状況報告 ポジショニング・シーティングについて（RH: 山口） 栄養補助食品・CP10 について（栄養科）
2022.2.2	褥瘡回診　　エアマットの使用状況確認 コロナ感染拡大予防のため回診のみ実施
2022.3.2	褥瘡回診　　エアマットの使用状況確認 コロナ感染拡大予防のため回診のみ実施

Ⅴ．他 活動内容

褥瘡リスク状態の患者に対して予防管理していく。

リスクのある患者に対してチームで関わり、予防策を検討、実施し、NST、シーティングチームと連携し、早期から褥瘡リスク予防を行う。

［文責：萩谷久枝］

クリティカルパス・ＤＰＣチーム

Ⅰ．目的及び機能

院内におけるクリティカルパスの普及を目指す。

クリティカルパスの運用方法を啓蒙し、指導する。

バリアンスの評価の方法を啓蒙し、指導する。

効率のよい標準治療を目指し、質の高い診療を普及させる。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：池澤　和人

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	7	栄養管理課	1
看護部	1	本部・事務部	3
リハビリテーション部	1		

Ⅲ．会議　開催回数

５回

Ⅳ．協議事項

2021.5	チーム内規定の確認
2021.6	EVE を使用してのパス評価（整形）
2021.9	EVE を使用してのパス評価（心外）
2021.12	機能評価中間報告及び指摘事項の報告
2022.2 （書面開催）	クリティカルパス適用率の報告

［文責：池澤和人］

緩和ケアチーム

Ⅰ．目的及び機能

病気や治療に伴う身体的・精神的苦痛の緩和、家族ケア、療養場の相談、栄養相談についてコンサルテーションと回診を他職種で行い、主治医と病棟スタッフと連携をとり、患者とその家族がよりよい状況で治療を受け、その人らしい生活が送れるよう支援する。

（１）外来診療

・毎週木曜日に緩和ケア外来を設ける

・オピオイドや鎮痛補助薬、制吐剤、向精神薬などの薬剤調製にて症状緩和を行うと供に、自宅療養においてのアドバイスを行い、患者の QOL の向上を図る。

・患者 / 家族の自宅療養の不安を取り除き、心理精神面、社会的な面を支えていく。

（２）コンサルテーションと回診

・各診療科から入院患者に関する相談を緩和ケアチームとして受ける。

・毎週木曜日の緩和ケア外来終了より、緩和ケアチーム回診を実施する。

・疼痛コントロール、精神状態の緩和、家族ケア、療養場の相談、栄養相談等について回診を行い、主治医・病棟スタッフと連携しよりよい状況で治療が行えるように支援する。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：長岡　広香

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	2	リハビリテーション部	2
看護部	12	栄養管理課	1
薬剤部	2		

Ⅲ．会議　開催回数

４回

Ⅳ．協議事項

2021.5.27	活動予定・メンバー確認
2020.7.29	WG 話し合い　事例検討
2020.9.30	WG 話し合い　事例検討
2020.11.	WG 話し合い　事例検討

Ⅴ．他 活動内容

1．緩和ケアチーム回診週 1 回、病棟回診 128 件、外来 14 件

2．緩和ケアマニュアルの見直し

［文責：髙橋久美子］

地域医療サービスチーム

Ⅰ．目的及び機能

環境整備及び医療サービスの充実、現状の調査、改善などを目的に活動する。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：谷中　清之

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	1	臨床工学課	1
看護部	2	栄養管理課	1
薬剤部	1	地域医療連携室	1
放射線部	1	本部・事務部	3
リハビリテーション部	1	筑波総合クリニック	1
臨床検査部	1	委託業者	2

Ⅲ．会議　開催回数

9 回

Ⅳ．協議事項

2021.4.15	2021 年度活動予定及び構成員の確認、規約の見直し ご意見箱の投書対応（4 月 6 件）
2021.5.20	ご意見箱の投書対応（5 月 3 件）　環境整備の報告
2021.6.17	ご意見箱の投書対応（6 月 3 件）
2021.7.15	ご意見箱の投書対応（7 月 2 件）　環境整備の報告
2021.9.16 （書面開催）	ご意見箱の投書対応（8 月 4 件、9 月 6 件） 7 月に実施した患者満足度調査集計結果報告
2021.10.21	ご意見箱の投書対応（10 月 2 件） 9 月に受検した機能評価についての報告
2021.11.18	ご意見箱の投書対応（11 月 3 件）　環境整備の報告

2021.12.16	構成員の確認 ご意見箱の投書対応（12 月 6 件）
2022.1.20	ご意見箱の投書対応（1 月 6 件）　環境整備の報告

※ 2 月、3 月は担当部署内で投書の対応を実施。2 月（5 件）、3 月（2 件）。
　投書総数 48 件（ご要望 31 件　その他 17 件）

Ⅴ．他　活動内容

・患者さんからのご意見（「ご意見箱」投函内容）に対する事実確認と対策協議（毎月）
・院内巡視報告（奇数月）
・2021 年 7 月　患者満足度調査実施
・2021 年 11 月　外来用お手洗いの個室 16 箇所に便座アルコールを設置

［文責：谷中清之］

企画広報運営チーム

Ⅰ．目的及び機能

本チームは、筑波記念病院 管理者の諮問に基づき、以下のことを検討し答申することを目的とする。
（1）院外広報誌の制作と配布に関すること。
（2）病院パンフレット、入院案内の制作に関すること。
（3）WEB サイトに関すること。
（4）その他、広報活動全般に関すること。

Ⅱ．構成員

◎チーム長：池澤　和人

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	3	本部・事務部	5
看護部	1	つくばトータルヘルスプラザ	1
リハビリテーション部	2	つくばケアセンター	1
放射線部	1		

Ⅲ．会議　開催回数

9 回

Ⅳ．協議事項

2021.4.12	構成メンバーの確認 「記念樹つくば」Vol.65 企画について WEB サイトについて
2021.6.14	構成メンバーの変更・報告 「記念樹つくば」Vol.65 進捗報告・Vol.66 企画について WEB サイトについて

2021.7.12	幹事変更の報告 「記念樹つくば」Vol.65 発行・Vol.66 企画について WEB サイトについて
2021.8.16	構成メンバーの変更・報告 「記念樹つくば」Vol.66 進捗報告・Vol.67 企画について WEB サイトについて
2021.9.13	「記念樹つくば」Vol.66 進捗報告・Vol.67 企画について WEB サイトについて
2021.10.11	「記念樹つくば」Vol.66 進捗報告・Vol.67 企画について WEB サイトについて　　機能評価について
2021.11.8	「記念樹つくば」Vol.66 進捗報告・Vol.67 企画について WEB サイトについて　　年次報告について パンフレット作成について　　掲示物点検について
2021.12.13	幹事変更の報告　　掲示物点検について 「記念樹つくば」Vol.66 発行・Vol.67 企画について WEB サイトについて
2022.3 （書面会議）	「記念樹つくば」Vol.67 進捗報告について WEB サイトについて その他（市内折込広告への掲載について）

Ⅴ．他 活動内容

2021.7	「記念樹つくば」Vol.65 発行
2022.1	「記念樹つくば」Vol.66 発行

［文責：池澤和人］

倫　理　委　員　会

Ⅰ．目的及び機能

筑波記念病院及びその職員が行う臨床研究における倫理的目的問題等について、ヘルシンキ宣言の趣旨にそって審議し、倫理的配慮を図ることを目的とする。ここでいう臨床研究とは、医療における疾病の予防、診断及び診療方法の改善、病因及び病態の解明、ならびに患者の生活の質の向上を目的として実施される人を対象とする医学系研究及び臨床応用をさす。個人を特定できる人由来の材料及びデータに関する研究も含まれる。 臨床における倫理的問題とは、職業倫理、終末期ケアの問題等が含まれる。

Ⅱ．構成員

◎委員長：神山　幸一

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	5	本部・事務部	1
看護部	1	外部委員	1
薬剤部	1		

Ⅲ．会議　開催回数

通常開催　14 件　　迅速審査（書類審査）　15 件

Ⅳ．協議事項

通常審査

2021.4.27	医療法人社団筑波記念会の基本理念・基本方針の見直しについて
2021.4.27	筑波記念病院臨床倫理指針の見直し。第 2 版への改訂の許可について
2021.8.3	ステントグラフト開窓テクニックの臨床使用
2021.8.3	FLT3 変異陽性急性骨髄性白血病に対する FLT3 阻害薬が白血病細胞及び血液細胞に与える影響についての研究
2021.9.11	倫理委員会規定の見直し
2021.9.12	急性骨髄性白血病における予後規定因子となる遺伝子変異の探索
2021.9.13	特発性脳脊髄減少症に対する硬膜外持続生理食塩水注入療法の後方視的解析　研究期間・調査延長
2021.9.14	心原性脳梗塞に対する左心耳切除の治療効果の検討
2021.12.7	嚢胞性疾患に対する経皮的硬化療法
2021.12.7	ヒト間葉系幹細胞由来液性因子を用いた皮膚老化と薄毛の治療
2022.3.1	臨床検査を終了した検体（残余検体）の使用について
2022.3.1	ICU から転棟する際の同意について
2022.3.1	小倫理会の設立について
2022.3.1	子どもの患者権利憲章の制定

迅速審査

2021.4.3	学会報告　第 49 回　血管外科学会総会 「急性大動脈解離発症前後における大動脈内・外膜径変化の検討」
2021.5.7	ICU 入室患者における ICU-AW と栄養治療の関連性
2021.6.28	2021 年に外科治療を施行された肺癌患者のデータベース研究
2021.5.31	雑誌発表　理学療法いばらき 「当院における脳内出血患者に対する早期離床にかんする現状調査」
2021.7.21	心房細動合併急性冠症候群患者における抗血栓治療後の出血と血栓リスクに関する前向き観察研究（STAR-ACS Study） データ収集解析のための期間延長とイベント判定委員追加について
2021.10.21	理学療法学会への論文投稿 「膝前十字靭帯再建早期の筋力回復に影響する因子の検討」
2021.10.21	日本外傷データバンクへの外傷者登録と登録データを用いた臨床研究
2021.11.19	「特発性脳脊髄液減少症に対する硬膜外持続生理食塩水注入法の後方視的解析」研究責任者の変更及び期間の延長について
2021.11.19	茨城県における急性期脳主幹閉塞に対する救急診療と施設間連携の実態調査
2021.11.19	学会報告　日本総合健診医学会　第 50 回大会 「当施設における特定保健指導の効果判定 - その後の指導に向けて -」
2021.12.10	雑誌発表　The American Journal of Sports Medicine 「Does loop length change after anterior cruciate ligament reconstruction with adjustable loop cortical suspension device? - Observation of the hamstring graft completely filling the femoral tunnel -」
2022.1.19	学会発表　第 50 回日本血管外科学会 「急性大動脈解離発症前後における弓部大動脈の形態学的解析」
2022.1.19	「診断群分類の精緻化とそれを用いた医療評価の方法論開発に関する研究」 上記観察研究の事後解析研究： 「敗血症患者における初期抗生剤使用の疫学調査」 「敗血症による急性呼吸不全に対する高流量鼻カヌラシステムと非侵襲的換気の比較」「中枢神経系感染を伴う敗血症患者の特徴と予後」
2022.1.19	論文発表　公益財団法人　人間ドック学会「新型コロナウイルス感染症禍の新しい生活様式が人間ドック結果に及ぼす影響」
2022.3.11	論文発表「Inverted thoracic stent graft technique for separation of a stent graft bare stent」

［文責：神山幸一］

薬　事　委　員　会

Ⅰ．目的及び機能

医薬品の選定、購入、及び施用等の適正化を図る

1）医薬品採用の可否に関すること

2）医薬品の適正な使用及び管理に関すること

3）陳旧医薬品の取り扱いに関すること

4）医薬品の副作用等の情報に関すること

5）薬局業務に関すること

6）未承認医薬品の使用、医薬品の適応外使用、及び院内特殊製剤に関すること

7）その他薬事に関すること

Ⅱ．構成員

◎委員長：池澤　和人

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	5	薬剤部	1
看護部	1	本部・事務部	1

Ⅲ．会議　開催回数

4回

Ⅳ．協議事項

2022.6.7	新規医薬品採用審議　6件 採用削除医薬品について 後発医薬品の採用銘柄変更について 委員会のメンバー構成変について
2022.7.5	新規医薬品採用審議　2件 造影剤の採用銘柄変更について 採用薬の規格追加について 後発医薬品への切り替えについて
2022.10.4	新規医薬品採用審議　4件 今年度のインフルエンザワクチン購入時期について 後発医薬品の納入状況について
2022.11.1	新規医薬品採用審議　5件 後発医薬品への切り替えについて

［文責：池澤和人］

急性期看護補助運営チーム

Ⅰ．目的及び機能

急性期看護補助運営チーム規約第２条（目的）より、看護師の負担軽減及び処遇の改善に資する体制を確保することを目的とする。

Ⅱ．構成員

◎委員長：星　豪人

部　　門	人　　数	部　　門	人　　数
診療部	1	臨床検査部	1
看護部	2	臨床工学課	1
薬剤部	1	本部・事務部	1
放射線部	1	看護補助者	1
リハビリテーション部	1		

Ⅲ．会議　開催回数

２回

［文責：星　豪人］

筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

筑波総合クリニック

【総括】

2021 年度は管理者の飯田要が退任し、飯田啓治が後任として管理者になった。その影響と新型コロナウイルス感染の未収束等で外来患者は昨年度同様減少した。

新型コロナウイルスの予防接種が、関連施設のつくばトータルヘルスプラザで開始され、その予約を筑波総合クリニックで取りはじめた。そのため電話がつながりにくくなり、業務に影響を与えてしまった時期があった。

また、全ての待合ホールのイスを２～３人掛けから１人掛けのイスに変更し、新型コロナウイルス感染防止に務めた。

［文責：大坂恒司］

【業務実績】

外来患者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
一般内科	185	194	247	240	266	232	229	210	233	225	187	255	2,703
一般外科	7	9	12	18	18	20	14	16	10	17	15	9	165
眼科	970	866	1,073	958	805	973	1,042	956	984	875	805	1,063	11,370
形成外科	239	259	297	369	352	358	412	459	478	319	331	409	4,282
血液内科	209	202	180	253	232	198	200	191	202	224	273	237	2,601
呼吸器内科	426	392	454	460	569	440	366	349	434	378	403	545	5,216
呼吸器外科	109	132	180	145	159	190	176	141	194	174	200	181	1,981
耳鼻咽喉科	790	734	882	715	753	793	828	779	889	772	598	836	9,369
循環器内科	2,088	1,962	2,274	2,130	1,989	2,027	2,099	1,713	2,034	1,978	1,854	1,791	23,939
消化器内科	1,068	1,036	1,314	1,190	1,265	1,262	1,229	1,225	1,303	1,083	1,109	1,342	14,426
消化器外科	392	374	457	508	387	449	502	449	495	437	409	443	5,302
小児科	202	198	289	245	233	214	261	252	258	227	207	299	2,885
神経内科	338	304	364	378	389	393	350	332	411	363	389	444	4,455
心臓血管外科	243	171	259	223	239	218	250	204	260	223	201	295	2,786
腎臓内科	108	113	130	121	105	115	114	97	129	110	90	113	1,345
整形外科	1,914	1,678	1,966	2,017	1,915	1,904	1,968	1,856	2,143	1,907	1,677	2,152	23,097
精神科	309	263	292	316	322	286	296	267	265	250	225	240	3,331
糖尿病・内分泌代謝内科	971	884	972	982	930	893	1,021	820	1,011	953	882	1,079	11,398
乳腺甲状腺科	340	290	283	342	276	281	357	307	316	254	260	289	3,595
脳神経外科	1,104	1,018	1,180	1,115	1,039	1,138	1,103	978	1,090	1,036	912	1,248	12,961
泌尿器科	383	402	453	415	441	428	423	405	479	384	407	472	5,092
皮膚科	371	330	419	395	388	374	345	365	397	366	292	418	4,460
婦人科	768	660	779	733	702	703	778	691	733	698	673	765	8,683
もの忘れ科	134	120	150	133	161	161	159	152	187	171	156	182	1,866
リウマチ・アレルギー科	287	266	248	304	229	278	294	239	262	296	244	331	3,278
小児外科	14	15	16	27	28	22	25	16	24	15	22	39	263
合計	13,969	12,872	15,170	14,732	14,192	14,350	14,841	13,469	15,221	13,735	12,821	15,477	170,849

【人事】

氏　名	役　　職	診　療　科	勤　務
飯田　啓治	筑波総合クリニック管理者（2021/6/1 ～）副院長（筑波総合クリニック診療統括）（～ 2021/5/31）	循環器内科	常（CL）
飯田　　要	筑波総合クリニック名誉院長（2021/6/1 ～）筑波総合クリニック管理者（～ 2021/5/31）	循環器内科	常（CL）
小林　栄喜	筑波総合クリニック名誉院長	脳神経外科	常（CL）
木村　隆治		血液内科	非（CL）
松村　文明		血液内科	非（CL）
松野　洋輔		呼吸器内科	非（CL）
鯵坂　隆一		循環器内科	非（CL）
宮内　　卓		循環器内科	非（CL）
石川　直樹		消化器内科	非（CL）
鄭　　黎佳		消化器内科	非（CL）
野本　　怜		消化器内科	非（CL）
寺田　　真		神経内科	非（CL）
三橋　　泉		神経内科	非（CL）
松島　照彦		糖尿病・内分泌代謝内科	非（CL）
竹越　一博		糖尿病・内分泌代謝内科	非（CL）
藤田　利枝		糖尿病・内分泌代謝内科	非（CL）
石垣　直美		糖尿病・内分泌代謝内科	非（CL）
松田ひとみ		糖尿病・内分泌代謝内科	非（CL）
熊谷　尚子		糖尿病・内分泌代謝内科	非（CL）
川堀　健一		糖尿病・内分泌代謝内科	非（CL）
近藤　裕也		リウマチ・アレルギー科	非（CL）
本田　文香		リウマチ・アレルギー科	非（CL）
寺崎　真由		リウマチ・アレルギー科	非（CL）
東田　俊彦	筑波記念会　顧問	一般内科	非（CL）
品川　樹美		眼科	非（CL）
明星　里沙		形成外科	非（CL）
青木　昂平		形成外科	非（CL）
齋藤かれん		形成外科	非（CL）
岡村　純子		呼吸器外科	非（CL）
戸泉　　篤		消化器外科	非（CL）
下田　　貢		消化器外科	非（CL）
鶴井　一茂		消化器外科	非（CL）
筋野　博喜		消化器外科	非（CL）
戸村　成男		腎臓内科	非（CL）
角田　亮也		腎臓内科	非（CL）
三島　　初		整形外科	非（CL）
金森　章浩		整形外科	非（CL）
菅谷　　久		整形外科	非（CL）
兵頭康次郎		整形外科	非（CL）
相吉　悠治		乳腺・甲状腺外科	非（CL）
原　　尚人		乳腺・甲状腺外科	非（CL）
松尾　知平		乳腺・甲状腺外科	非（CL）
藤原　彩織		乳腺・甲状腺外科	非（CL）
安藤有佳里		乳腺・甲状腺外科	非（CL）
増田　洋亮		脳神経外科	非（CL）
塚田　篤志		脳神経外科	非（CL）
宮本　信也		小児科	非（CL）
堀米　ゆみ		小児科	非（CL）
沼倉　泰二		精神科	非（CL）
頴川　　晋		泌尿器科	非（CL）
内田　将央		泌尿器科	非（CL）
鴨田　直博		泌尿器科	非（CL）
長尾　　剛		泌尿器科	非（CL）
占部　文彦		泌尿器科	非（CL）
高橋　和宏		泌尿器科	非（CL）
田沼光三郎		泌尿器科	非（CL）
岡田　充生		泌尿器科	非（CL）
松原　脩也		泌尿器科	非（CL）
岩本　侑也		泌尿器科	非（CL）
中村　貴之		皮膚科	非（CL）
小川瞭太郎		皮膚科	非（CL）
四十竹　麗		皮膚科	非（CL）

筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

つくばトータルヘルスプラザ

【総括】

2021 年度は引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が強かったが、前年度に比べると人間ドックの受診者数は 106.1％と 726 名増加、院内健診は 106.7％で 1,050 名の増加となり、コロナ禍前の 2019 年度水準にまで回復した。ただ、巡回健診においては前年度比 92.0％と 1,434 名減少となり、全体では 100.8％と 342 名の増加にとどまった。徹底した感染症予防対策、また、密にならないよう時間配分しながら受診していただくよう心掛け、院内健診においては開業以来過去最高の受診者数を達成することができた。呼吸機能検査は感染拡大防止の観点から 2021 年度も年間を通し実施することができなかった。また、2021 年度は施設の質向上を目的として日本人間ドック学会が行う人間ドック健診施設機能評価を受診し認定を受け、優秀賞も受賞することができた。

フェニックスにおいては、新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底しつつ、緊急事態宣言の解除に伴い、2022 年 1 月から利用時間を最大 2 時間 15 分に延長し、営業時間も 19 時 45 分まで延長した。また、受付システムのデジタル化や新規利用者の獲得および休眠会員の運動再開に向けた広報活動等を行い、徐々に利用者数、売上ともに回復傾向となった。2021 年度の年間延べ利用者数は前年度と比較し 141.4％、2,011 名の増加となった。

学会活動については、第 62 回日本人間ドック学会学術大会および日本総合健診医学会第 50 回大会に演題発表することができた。講演活動については、コロナ禍前に比べ回数は減少したものの、医師、保健師、理学療法士、トレーナー等が継続して行った。

［文責：風野和之］

【人事】

氏　名	役　　職	診　療　科	勤　務
中原　　朗	つくばトータルヘルスプラザ施設長	消化器内科	常（HP）
山根　一秀	つくばトータルヘルスプラザ顧問	リウマチ・アレルギー科	常（HP）
本橋　　歩	つくばトータルヘルスプラザ副施設長	消化器内科	常（HP）
小松あかね	つくばトータルヘルスプラザ副施設長	婦人科	常（HP）
設楽佐代子		消化器内科	常（HP）
清水　郁子		代謝内科	常（HP）
安部　佳亮		血液内科	非（THP）
上原　　惇		血液内科	非（THP）
木村　隆治		血液内科	非（THP）
清木　祐介		血液内科	非（THP）
栗田　尚樹		血液内科	非（THP）
宝田亜矢子		血液内科	非（THP）
丸山ゆみ子		血液内科	非（THP）
百瀬　春佳		血液内科	非（THP）
小田　優香		循環器内科	非（THP）
宮内　　卓		循環器内科	非（THP）
芳賀　厚子		循環器内科	非（THP）
中森　　容		消化器内科	非（THP）
福田由紀子		消化器内科	非（THP）
岡田　純代		代謝内科	非（THP）
江辺　厚子		内科	非（THP）

小川　英恵		内科	非（THP）
島　さつき		内科	非（THP）
廣瀬　千尋		内科	非（THP）
柳　　久子		内科	非（THP）
中村　優子		婦人科	非（THP）
小竹　文雄		放射線科	非（THP）

【業務実績】

人間ドック、健康診断受診者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人間ドック	日帰り	679	794	1,251	1,169	1,123	1,200	1,279	1,179	1,099	906	823	662	12,164
	一泊	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	3
	脳ドック	5	30	54	42	47	41	58	52	30	35	33	23	450
	レディース	14	7	15	26	16	21	28	30	40	37	25	57	316
ドック		698	804	1,283	1,204	1,157	1,232	1,320	1,225	1,152	948	852	724	12,599
院　内		505	986	1,602	1,573	1,486	1,430	1,607	1,572	1,683	1,486	1,376	1,313	16,619
巡　回		1,650	1,986	1,948	1,781	1,937	915	1,758	1,667	851	278	1,064	604	16,439

検査別実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃内視鏡検査	266	313	373	354	361	349	369	349	354	324	288	327	4,027
乳腺エコー検査	291	266	568	626	610	608	700	666	650	582	528	361	6,456
マンモグラフィ検査	139	178	351	463	437	429	507	536	491	464	410	313	4,718
子宮細胞診検査	246	363	692	775	753	765	843	764	776	732	678	522	7,909

部位別精検指示及び実施者数

		胃部X線	胃内視鏡	胸部X線	心電図	便	腹部超音波	乳房	子宮細胞診
精検指示者数	2020年度	773	92	461	581	1,347	302	354	101
	上半期	505	32	347	449	714	77	174	90
精検実施者数	2020年度	318	73	250	116	676	253	256	87
	上半期	184	27	126	80	341	131	125	75

フェニックス延べ来館者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
472	496	551	600	608	589	547	617	581	568	583	653	6,865

【学会・講演・セミナー等】

発　表　者	演　題　名	学会・会合名	開　催　地	開催年月
本橋歩	メンタルヘルス講習会 「こころの健康・気づきのヒント集」 「セルフケア」	講演（企業）	八千代	2021.6
本橋歩	メンタルヘルス講習会 「こころの健康・気づきのヒント集」	講演（企業）	つくば	2021.8
鈴木美帆、篠原一哉	「糖」の量を気にしたことありますか？ ～糖尿病にならないために～	講演（企業）	つくば（Web）	2021.9
篠原一哉、鈴木美帆、坂本真樹、古澤弦、小川英恵、本橋歩、設楽佐代子、中原朗、山根一秀	当施設における特定保健指導の効果判定 ～その後の指導に向けて～	第 62 回日本人間ドック学会学術大会	WEB	2021.9
中原朗	茨城県内における新型コロナウイルス感染症の状況	講演（企業）	つくば	2021.1
篠原一哉、二瓶久美子	「糖」の量を気にしたことありますか？ ～糖尿病にならないために～	講演（企業）	つくば（現地 +Web）	2021.11
中原朗	感染症について（新型コロナ最新情報、インフルエンザ、その他流行りそうな感染症）	講演（企業）	つくば	2021.12
二瓶久美子	ストレッチ、エアロビクス、ピラティス	出張指導（団体）	下妻	2021.4 ～ 2022.3 （計 24 回）
宮原悟、古徳卓也	集団でのボール運動、模倣ゲーム、ストレッチ体操等	出張指導 （市町村）	つくば	2021.6 ～ 2022.3 （計 10 回）
古澤弦、雨澤隆穂	体力測定	出張指導（企業）	つくば	2021.11（1 回）
篠原一哉、山根一秀、中原朗、設楽佐代子、本橋歩、風野和之、吉原桂、矢島枝美、細川芳江、古澤弦、鈴木美帆、坂本真樹、興野千春、小林亮太	当施設における特定保健指導の効果判定 ～その後の指導に向けて～	日本総合健診医学会第 50 回大会	WEB	2022.1 ～ 2

筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

介護老人保健施設　つくばケアセンター

【総括】

2021 年 4 月に介護報酬改定があり、当施設では新たに　LIFE（科学的介護情報システム）を活用し、介護サービスの質の向上に取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症は収束せず、前年度と同様に入所・通所・訪問ともに全てのサービス提供の面で、利用制限、中止等の影響が出てしまった。

利用者数では、入所（1 日平均利用者数）は前年比 2.8 名減少。通所リハビリテーション（1 日平均利用者数）は前年比 1.5 名減少したが、訪問リハビリテーションは、登録者数、1 日平均利用単位数ともに前年比で約 9 ～ 11％増加となった。

［文責：塚原和宏］

【業務実績】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入　　所	100	99	97	101	92	98	96	96	97	100	98	95	1,169
ショートステイ（予防含む）	16	16	16	18	10	18	22	18	16	17	15	19	201
通所リハビリ（予防含む）	87	87	86	85	89	87	85	82	85	89	92	97	1,051
訪問リハビリ（予防含む）	304	304	301	306	320	320	339	354	367	378	391	403	4,087

【資格保有者数】

看護師	10 名
准看護師	3 名
介護福祉士	28 名
社会福祉士	1 名
ケアマネージャー	6 名
理学療法士	26 名
作業療法士	13 名
言語聴覚士	5 名

（2021 年 4 月 1 日現在）

【年間行事】

	行事内容
4 月	お花見会
5 月	母の日会
6 月	父の日会
7 月	七夕会
9 月	祝寿会
10 月	運動会
11 月	秋祭り
12 月	クリスマス会
1 月	新年会
2 月	豆まき会
3 月	ひな祭り会

筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

つくば訪問看護ステーション

【総括】

看護師９名、作業療法士１名、理学療法士１名、事務１名で稼働した。

病院内では、感染症対策重視の医療情勢上、面会が出来ない事などもあり、住み慣れた家で家族と共に過ごしたいと考える患者本人や家族が多く、退院時に訪問看護が介入するケースが多くあった。

しかし、延べ訪問件数は、昨年度の6,634件より1,316件減少し5,317件、利用者実数も1,308人から1,040人へと298人減少した。在宅医療への転換が提唱され、その中で訪問看護は重要な役割を担っており、地域の方々のニーズに答えるため、今後の訪問看護運営を変革していく必要があり、2021年度は、人材育成に尽力し、スタッフの配置転換期にあったことが影響していると考える。

また、地域医療連携室、地域包括ケア病棟、救急センター、クリニック、ケアセンター等、同法人内での連携を十分とり､地域と病院とのスムーズな繋がりのシステム作りを実現していく必要があると考えている。地域の医療機関、居宅介護支援事業所等と密に連携を行い、信頼を獲得し、その上で、利用者を確実に確保、維持できる地域密着型のサテライト運営も視野に入れた基盤作りを行った。

［文責：富田浩美］

【業務実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度延べ訪問件数	455	472	542	598	584	587	598	579	607	550	485	577	6,634
2021年度延べ訪問件数	518	441	468	430	447	427	439	437	460	402	391	457	5,317
2020年度利用者実数	86	98	113	116	118	119	116	118	115	107	106	96	1,308
2021年度利用者実数	95	92	91	83	86	85	86	85	85	85	81	86	1,040

筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

大穂豊里地域包括支援センター

【総括】

開設３年目を迎え、当初に比して相談件数も大幅に増加した。地域住民や民生委員、関係機関からの相談も増え、身近な相談窓口として認知度も上がってきた。職員は主任介護支援専門員（センター長兼務）１名、社会福祉士２名、保健師１名の４名体制となり日々の相談業務や介護予防事業等への参加に対応した。

閉じこもりや体力低下、心的ストレスを抱えた高齢者の相談、認知症や精神疾患など多重課題を抱えた世帯の相談、近所トラブルの要因が認知症などの疾患を有しているなどの相談にも対応した。センターだけではなく市や生活支援コーディネーター、認知症初期集中支援チーム、社会福祉協議会、専門医療機関等と連携をとり対応した。

感染防止対策を十分にとり、認知症カフェ『オレンジカフェ in おおほ～カフェ・フルール～』を年８回開催し、計 49 名の参加があった。

［文責：井ノ口美樹子］

【業務実績】

相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	実件数	63	66	75	83	85	72	79	72	85	71	76	72	899
	延件数	152	136	174	195	156	126	131	173	152	138	143	151	1,827

（単位：件）

介護予防ケアマネジメント請求件数（ケアプラン作成業務委託＋センター作成）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	152	159	162	165	166	171	176	180	177	175	166	179	2,028

認知症カフェ『オレンジカフェ in おおほ～カフェ・フルール～』

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数	4	3	5	7	中止	中止	8	7	10	中止	中止	5	49

筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

筑波記念病院　統　計

患　者　統　計

科別外来患者数

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
循環器内科	2020	72	107	148	151	177	179	205	137	164	147	98	63	1,648
	2021	135	125	123	130	119	125	117	125	157	167	120	156	1,599
消化器内科	2020	483	493	659	754	786	816	856	818	802	695	647	317	8,126
	2021	781	655	813	878	843	778	919	903	856	805	731	903	9,865
血液内科	2020	491	529	614	628	595	579	603	563	595	581	507	595	6,880
	2021	536	561	526	565	615	594	578	631	655	558	589	622	7,030
神経内科	2020	9	4	8	6	12	17	24	20	20	27	9	11	167
	2021	15	30	30	37	49	36	23	39	34	29	31	26	379
代謝内科	2020	14	41	69	66	78	44	65	54	57	45	26	18	577
	2021	25	32	34	30	26	31	52	51	58	41	34	44	458
呼吸器内科	2020	35	51	29	41	59	55	63	42	84	96	42	28	625
	2021	69	80	72	77	98	107	62	78	87	137	79	83	1,029
消化器外科	2020	63	92	113	115	86	112	142	105	144	133	89	52	1,246
	2021	111	104	119	118	113	96	107	123	134	133	107	128	1,393
呼吸器外科	2020	91	51	44	64	61	45	43	63	58	74	23	15	632
	2021	32	32	40	45	34	26	10	19	19	30	14	19	320
心臓血管外科	2020	72	98	153	131	127	157	170	157	179	174	116	100	1,634
	2021	142	133	167	146	188	168	186	228	232	193	129	190	2,102
脳神経外科	2020	28	80	82	78	63	96	101	105	86	85	51	42	897
	2021	102	65	93	116	99	110	124	83	137	107	75	120	1,231
整形外科	2020	62	77	106	129	126	97	162	99	121	134	124	43	1,280
	2021	96	142	92	142	147	80	79	78	86	86	84	103	1,215
婦 人 科	2020	20	17	20	20	27	19	28	25	24	12	25	29	266
	2021	17	20	16	23	10	14	13	15	16	15	8	18	185
眼　　科	2020	2	2	13	11	9	16	18	13	12	7	8	1	112
	2021	46	38	63	60	40	49	46	46	56	38	50	33	565
耳鼻咽喉科	2020	14	32	39	47	30	30	44	39	39	24	28	11	377
	2021	2	1	1	1	3	2	2	0	2	0	2	4	20
皮 膚 科	2020	2	0	0	0	0	0	4	2	0	2	0	1	11
	2021	611	586	613	680	709	629	665	692	654	683	625	545	7,692
小 児 科	2020	58	111	187	235	323	194	327	279	263	265	284	196	2,722
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児外科	2020	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	6
	2021	329	326	339	339	357	334	355	94	106	96	99	105	2,879
精 神 科	2020	64	69	64	89	75	71	100	75	68	72	75	49	871
	2021	34	37	40	43	29	27	37	38	47	42	36	55	465
麻 酔 科	2020	26	37	61	59	55	51	59	61	57	55	77	13	611
	2021	37	52	59	54	45	38	41	48	52	38	33	35	532
放射線科	2020	23	22	51	27	40	44	45	44	52	35	28	23	434
	2021	96	87	76	96	83	75	95	86	117	96	93	63	1,063
リハビリテーション科	2020	475	589	883	923	939	1,072	1,041	993	1,017	1,005	939	512	10,388
	2021	7	5	5	5	4	5	4	3	6	3	1	1	49

リウマチ・アレルギー科	2020	1	4	2	6	6	6	6	1	2	4	3	2	43
	2021	8	10	6	7	19	17	16	19	15	18	17	9	161
形成外科	2020	1	4	11	9	21	6	8	14	11	20	12	7	124
	2021	6	3	10	8	11	12	2	10	8	6	7	3	86
腎臓内科	2020	8	5	6	7	10	3	6	5	12	9	5	5	81
	2021	162	146	150	169	181	162	184	173	153	150	130	130	1,890
乳腺甲状腺外科	2020	93	77	134	149	130	133	172	149	144	119	134	81	1,515
	2021	36	26	31	34	21	22	20	28	36	29	31	22	336
泌尿器科	2020	28	20	24	16	15	20	23	35	23	19	19	27	269
	2021	51	34	42	16	33	27	28	35	30	36	27	25	384
内　　科	2020	1	3	11	7	7	4	8	4	6	9	3	2	65
	2021	2	3	5	3	3	2	1	1	16	1	2	0	39
一般外科	2020	83	172	179	231	231	227	254	214	212	145	95	111	2,154
	2021	196	169	178	233	236	196	221	121	226	292	154	192	2,414
救　　急	2020	60	54	117	148	163	89	176	99	94	67	74	18	1,159
	2021	60	54	117	148	163	89	176	99	94	67	74	18	1,159
合　　計	2020	2,379	2,841	3,827	4,147	4,251	4,182	4,753	4,215	4,346	4,060	3,543	2,376	44,920
	2021	3,744	3,556	3,860	4,203	4,278	3,851	4,163	3,866	4,089	3,896	3,382	3,652	46,540

救急車搬送患者記録

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
患者数（搬送台数）		2020	160名	201名	246名	242名	288名	287名	267名	255名	285名	288名	184名	0名	2703名
			160台	199台	242台	237台	287台	287台	265台	253台	284台	287台	183台	0台	2684台
		2021	267名	270名	280名	351名	409名	337名	333名	384名	384名	304名	237名	366名	3922名
			265台	266台	278台	350台	406台	336台	330台	381台	348台	303台	236台	361台	3860台
症度別	入　院	2020	73名	107名	137名	124名	138名	152名	153名	134名	135名	149名	63名	0名	1365名
			45.6%	53.2%	55.7%	51.2%	47.9%	53.0%	57.3%	52.5%	47.4%	51.7%	34.2%	#####	50.5%
	外　来		87名	94名	109名	118名	150名	135名	114名	121名	150名	139名	93名	0名	1310名
			54.4%	46.8%	44.3%	48.8%	52.1%	47.0%	42.7%	47.5%	52.6%	48.3%	50.5%	#####	48.5%
	入　院	2021	138名	139名	134名	146名	182名	156名	150名	168名	158名	140名	106名	160名	1777名
			51.7%	51.5%	47.9%	41.6%	44.5%	46.3%	45.0%	43.8%	41.1%	46.1%	44.7%	43.7%	45.3%
	外　来		129名	131名	146名	205名	227名	181名	183名	216名	190名	164名	131名	206名	2109名
			48.3%	48.5%	52.1%	58.4%	55.5%	53.7%	55.0%	56.3%	49.5%	53.9%	55.3%	56.3%	53.8%
診療科別	内科系	2020	69名	81名	96名	91名	129名	125名	109名	112名	122名	121名	75名	0名	1130名
			43.1%	40.3%	39.0%	37.6%	44.8%	43.6%	40.8%	43.9%	42.8%	42.0%	40.8%	#####	41.8%
	外科系		38名	70名	69名	81名	65名	70名	85名	79名	80名	101名	28名	0名	766名
			23.8%	34.8%	28.0%	33.5%	22.6%	24.4%	31.8%	31.0%	28.1%	35.1%	15.2%	#####	28.3%
	救急科		53名	50名	81名	70名	94名	92名	73名	64名	83名	66名	53名	0名	779名
			33.1%	24.9%	32.9%	28.9%	32.6%	32.1%	27.3%	25.1%	29.1%	22.9%	28.8%	#####	28.8%
	内科系	2021	103名	112名	116名	134名	155名	133名	131名	144名	117名	105名	126名	142名	1518名
			38.6%	41.5%	41.4%	38.2%	37.9%	39.5%	39.3%	37.5%	30.5%	34.5%	53.2%	38.8%	38.7%
	外科系		65名	72名	71名	92名	89名	73名	63名	108名	72名	78名	39名	64名	886名
			24.3%	26.7%	25.4%	26.2%	21.8%	21.7%	18.9%	28.1%	18.8%	25.7%	16.5%	17.5%	22.6%
	救急科		99名	86名	86名	93名	125名	165名	131名	139名	132名	159名	121名	72名	1408名
			37.1%	31.9%	30.7%	26.5%	30.6%	49.0%	39.3%	36.2%	34.4%	52.3%	51.1%	19.7%	35.9%
交通事故		2020	11名	18名	14名	23名	18名	39名	23名	24名	17名	22名	9名	0名	218名
			6.9%	9.0%	5.7%	9.5%	6.3%	13.6%	8.6%	9.4%	6.0%	7.6%	4.9%	#####	8%
		2021	33名	16名	34名	19名	26名	18名	31名	26名	26名	14名	11名	24名	278名
			12.4%	5.9%	12.1%	5.4%	6.4%	5.3%	9.3%	6.8%	6.8%	4.6%	4.6%	6.6%	7.1%

ドクターヘリ搬送患者数

年　度	合　計
2020	5名
2021	9名

平均在院日数（一般病床）

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平　均
循環器内科	2020	19.6	14.9	10.8	10.6	12.8	11.7	10.2	10.1	10.4	14.0	16.2	52.9	16.2
	2021	11.2	13.6	10.6	11.7	9.5	12.5	10.5	12.5	12.2	12.8	14.3	13.3	12.1
消化器内科	2020	14.9	14.3	13.2	14.0	16.0	14.3	14.3	13.3	12.1	12.2	14.3	18.7	14.3
	2021	10.3	10.6	11.7	10.8	12.4	13.3	11.0	10.5	9.9	13.7	15.1	11.2	11.7
血液内科	2020	19.7	18.2	19.4	16.9	20.7	18.4	25.9	23.2	21.1	18.2	27.7	54.1	23.6
	2021	17.5	21.4	18.2	15.3	18.3	16.5	17.6	15.6	15.2	22.2	19.3	17.8	17.9
神経内科	2020	30.0	35.0	23.0	30.0	23.5	24.8	23.0	10.5	10.3	26.0	10.0	28.0	22.8
	2021	13.8	17.6	18.0	14.9	17.5	12.3	23.9	17.6	23.0	38.2	49.8	30.8	23.1
代謝内科	2020	11.7	18.5	12.6	11.6	15.2	12.4	10.9	15.7	13.2	30.9	18.0	124.0	24.6
	2021	31.6	10.0	8.2	14.6	20.8	18.0	15.5	3.5	8.4	12.0	21.6	12.5	14.7
呼吸器内科	2020	30.4	24.7	13.4	14.4	16.7	19.9	15.5	23.2	15.4	14.9	17.6	23.8	19.2
	2021	14.7	14.2	16.1	15.3	12.4	14.5	17.0	12.0	16.9	13.4	16.4	13.2	14.7
消化器外科	2020	12.0	12.9	14.6	16.4	14.4	15.1	18.8	14.4	14.9	15.9	12.4	47.7	17.5
	2021	12.6	13.3	15.0	18.0	14.2	17.7	15.7	10.3	15.5	14.9	13.6	12.7	14.5
呼吸器外科	2020	16.9	13.7	9.8	9.0	9.0	13.4	10.7	12.5	11.9	12.3	14.9		12.2
	2021	14.3	12.2	10.8	9.2	9.2	10.9	13.8	13.2	10.3	8.0	7.1	4.9	10.3
心臓血管外科	2020	13.3	11.7	9.9	10.2	12.9	15.0	13.9	17.7	17.8	13.9	11.3	21.8	14.1
	2021	9.3	10.9	11.8	15.8	10.1	13.6	13.0	9.8	13.9	17.8	19.6	13.8	13.3
脳神経外科	2020	27.9	24.1	26.0	23.6	22.3	18.9	19.6	22.8	22.6	19.7	25.9	64.5	26.5
	2021	16.3	16.5	14.2	19.3	20.2	17.5	24.4	20.6	20.0	21.4	20.5	21.3	19.4
整形外科	2020	19.5	17.8	18.2	18.3	16.8	18.0	20.2	19.2	21.4	18.0	20.9	30.9	19.9
	2021	17.2	19.4	22.1	19.7	16.1	21.0	19.1	18.0	19.9	18.1	19.6	19.1	19.1
婦 人 科	2020	4.6	6.4	10.4	6.7	6.7	7.6	11.6	11.8	6.8	5.8	10.0		8.0
	2021	6.5	5.2	7.4	6.2	5.3	5.9	6.7	7.0	6.0	5.0	7.4	4.8	6.1
眼　　科	2020	3.0	1.3	3.3	1.0	3.3	1.2	1.3	1.0	1.0	1.3	1.2		1.7
	2021	1.3	1.0	1.0	1.0	3.4	1.0	1.5	1.4	2.0	1.0	2.7	1.3	1.6
耳鼻咽喉科	2020		4.0	6.0	5.2	5.8	6.8	8.4	6.7	5.5	5.5	5.2		5.9
	2021	3.7	6.7	5.1	6.4	6.8	5.6	7.9	6.0	5.7	6.8	11.3	9.3	6.8
形成外科	2020	33.0	24.0	12.4	9.0	16.8	12.5	12.6	15.2	13.6	18.7	19.4	150.0	28.1
	2021	19.0	31.3	27.0	16.9	15.8	15.8	11.0	8.6	6.5	12.3	25.9	13.7	17.0
救 急 科	2020	4.7	12.3	11.6	12.7	10.0	14.5	6.6	8.8	10.5	11.8	24.3	155.4	23.6
	2021	9.1	9.8	8.3	5.4	9.5	9.6	9.0	7.0	7.4	7.4	11.4	9.5	8.6
合　　計	2020	17.9	16.3	15.0	14.4	15.6	15.3	15.5	16.2	15.6	15.4	17.8	43.4	18.2
	2021	13.0	14.2	13.9	13.9	13.6	14.8	14.7	13.4	14.0	15.7	17.4	14.8	14.5

※回復期リハ、療養病棟を除く

入院延べ患者数

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
循環器内科	2020	976	1,103	1,145	1,321	1,462	1,526	1,434	931	1,009	1,357	1,033	521	13,818
	2021	729	1,097	964	1,020	850	1,014	1,157	1,150	1,113	1,424	1,172	1,211	12,901
消化器内科	2020	1,086	1,076	1,081	1,086	1,580	1,520	1,519	1,552	1,418	1,202	1,361	679	15,160
	2021	1,193	1,354	1,537	1,568	1,487	1,502	1,584	1,341	1,272	1,514	1,328	1,398	17,078
血液内科	2020	1,088	1,107	1,182	1,349	1,374	1,194	1,215	1,279	1,019	1,030	1,134	679	13,650
	2021	834	980	861	954	1,147	1,082	1,120	1,154	1,082	961	809	835	11,819
神経内科	2020	75	82	146	253	148	108	106	36	43	34	58	16	1,105
	2021	75	188	289	272	360	131	260	327	537	538	410	270	3,657
代謝内科	2020	70	138	184	312	378	262	245	248	207	164	176	102	2,486
	2021	79	75	76	73	144	146	135	102	119	24	54	50	1,077
呼吸器内科	2020	640	681	553	524	628	647	790	790	742	1,058	798	248	8,099
	2021	480	772	699	689	858	900	697	667	749	697	715	840	8,763
消化器外科	2020	527	458	659	494	478	655	731	727	744	639	564	221	6,897
	2021	515	550	556	509	663	600	461	478	605	497	499	551	6,484
呼吸器外科	2020	198	250	169	130	76	164	217	278	270	184	179	180	2,295
	2021	171	236	217	191	102	147	144	186	180	113	66	31	1,784
心臓血管外科	2020	266	405	447	499	407	429	599	654	582	419	296	89	5,092
	2021	295	314	420	448	436	471	384	406	615	620	393	489	5,291
脳神経外科	2020	1,305	1,386	1,479	1,293	1,359	1,581	1,800	1,898	1,788	1,712	1,569	1,244	18,414
	2021	1,282	1,526	1,266	1,508	1,752	1,678	1,865	1,694	1,989	1,956	1,719	2,118	20,353
整形外科	2020	1,617	1,472	1,737	2,330	2,203	2,084	2,271	2,425	2,660	2,305	2,413	792	24,309
	2021	1,302	1,836	2,181	2,211	2,281	2,397	2,361	2,203	2,331	1,945	1,935	2,234	25,217
婦 人 科	2020	16	17	59	69	52	50	82	54	55	22	17	0	493
	2021	35	14	60	43	44	45	51	30	20	12	24	25	403
眼　　科	2020	13	29	30	52	59	46	53	50	37	60	57	0	486
	2021	55	54	55	56	38	37	60	34	51	34	41	67	582
耳鼻咽喉科	2020	30	57	81	75	108	134	136	92	82	76	44	0	915
	2021	20	86	76	76	107	92	86	60	101	110	46	127	987
リハビリテーション科	2020	619	813	1,139	1,180	994	875	969	885	1,010	1,048	918	802	11,252
	2021	815	1,095	1,319	1,389	1,280	1,295	1,443	1,267	1,386	1,746	1,569	1,681	16,285
形成外科	2020	207	198	141	146	180	141	161	164	179	170	143	132	1,962
	2021	124	185	233	175	166	135	84	89	65	135	175	162	1,728
一般外科	2020	88	230	329	310	337	250	227	193	279	170	172	87	2,672
	2021	96	69	83	167	127	110	134	123	246	202	162	166	1,685
救 急 科	2020	7	109	264	229	241	228	103	133	172	251	264	233	2,234
	2021	152	213	208	132	249	201	186	168	242	194	130	158	2,233
小児外科	2020					2		7				5		14
	2021	1	8	24	18	17	8	6	4	14	10	26	9	145
合　　計	2020	8,828	9,611	10,825	11,652	12,066	11,894	12,665	12,389	12,296	11,901	11,201	6,025	131,353
	2021	8,253	10,652	11,124	11,499	12,108	11,991	12,218	11,483	12,717	12,732	11,273	12,422	138,472

新入院患者数

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
循環器内科	2020	25	48	70	82	78	87	96	59	75	80	51	3	754
	2021	62	65	66	52	55	61	79	67	64	75	62	70	778
消化器内科	2020	66	69	77	70	95	90	86	105	83	72	74	3	890
	2021	101	99	95	114	98	86	109	91	93	95	72	101	1,154
血液内科	2020	44	51	61	76	58	63	44	58	32	63	44	2	596
	2021	52	43	46	68	58	60	66	71	51	43	39	47	644
神経内科	2020	1	3	6	5	3	3	5	3	5	3	3	0	40
	2021	4	8	15	12	16	7	7	10	13	10	4	3	109
代謝内科	2020	5	8	14	27	17	12	19	15	13	5	6	0	141
	2021	3	4	5	8	4	3	3	4	8	2	3	3	50
呼吸器内科	2020	12	20	24	23	27	31	35	26	36	64	23	2	323
	2021	33	43	38	35	64	39	27	45	32	40	36	41	473
消化器外科	2020	36	33	40	24	34	42	34	34	46	39	39	1	402
	2021	39	34	41	30	38	30	29	41	40	34	33	51	440
呼吸器外科	2020	9	15	11	10	8	9	13	16	12	10	7	0	120
	2021	7	11	11	15	6	13	7	11	10	11	10	7	119
心臓血管外科	2020	22	39	43	48	30	37	49	40	31	30	19	2	390
	2021	40	32	40	37	35	39	36	43	47	40	21	45	455
脳神経外科	2020	25	38	37	32	25	46	49	58	38	37	28	4	417
	2021	40	48	43	48	48	54	47	49	58	61	47	62	605
整形外科	2020	37	57	78	95	80	74	89	96	76	104	72	1	859
	2021	81	75	68	77	104	80	81	88	72	89	76	87	978
婦 人 科	2020	4	3	7	12	9	7	8	5	11	5	3	0	74
	2021	11	3	9	10	8	8	9	5	5	4	6	6	84
眼　　科	2020	5	13	9	21	21	15	20	20	12	21	23	0	180
	2021	22	24	20	22	8	15	25	16	17	16	19	24	228
耳鼻咽喉科	2020	0	6	10	11	16	16	10	12	6	7	7	0	101
	2021	4	13	13	10	15	17	10	9	19	16	3	12	141
リハビリテーション科	2020	6	14	12	7	3	6	9	13	8	9	5	0	92
	2021	5	13	14	6	5	23	7	5	8	13	16	15	130
形成外科	2020	3	5	10	12	11	7	10	7	6	5	4	0	80
	2021	6	5	8	5	9	7	5	8	9	14	4	9	89
一般外科	2020	3	15	7	12	11	8	14	11	5	5	5	0	96
	2021	3	3	7	7	4	7	8	10	13	4	5	5	76
救 急 科	2020	7	11	32	22	33	19	17	18	17	26	14	0	216
	2021	24	27	29	29	32	30	27	30	39	30	14	20	331
小児外科	2020	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	2021	1	1	2	3	4	3	0	1	2	2	4	2	25
合計	2020	310	448	548	590	559	572	607	596	512	585	428	18	5,773
	2021	538	551	570	588	611	582	582	604	600	599	474	610	6,909

手術件数（入院・外来）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
循環器内科	入院	14	25	19	27	12	28	33	35	25	20	20	22	280
	外来	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
消化器内科	入院	53	44	45	43	44	51	57	50	67	40	40	61	595
	外来	56	58	76	72	72	72	73	80	70	62	47	55	793
消化器外科	入院	32	33	42	43	38	42	39	42	49	43	34	46	483
	外来	9	3	5	6	7	4	2	4	5	7	4	6	62
呼吸器外科	入院	4	5	2	9	4	3	4	7	8	6	6	2	60
	外来	1	6	2	3	3	3	0	1	0	1	0	1	21
心臓血管外科	入院	30	29	29	27	26	25	21	31	32	21	15	28	314
	外来	1	9	1	4	9	7	6	16	6	8	3	6	76
脳神経外科	入院	8	11	16	19	12	15	14	11	14	12	13	20	165
	外来	2	5	4	2	2	1	5	1	2	0	1	3	28
整形外科	入院	75	60	75	72	110	87	83	79	77	73	69	74	934
	外来	1	10	7	4	4	3	1	7	4	5	2	3	51
婦 人 科	入院	11	2	7	9	7	6	7	5	4	2	6	4	70
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼　　科	入院	23	21	25	26	14	16	25	26	18	16	22	30	262
	外来	10	12	13	12	4	7	12	19	11	12	9	15	136
耳鼻咽喉科	入院	5	4	2	4	8	4	3	6	4	2	1	7	50
	外来	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
形成外科	入院	6	6	11	5	9	14	5	7	6	16	7	8	100
	外来	1	0	5	4	3	5	1	3	2	1	2	2	29
小児外科	入院	1	1	3	2	3	3	0	1	1	2	4	2	23
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	入院	3	2	3	7	3	3	1	5	5	0	2	4	38
	外来	5	6	3	7	6	6	8	6	6	5	10	4	72
計	入院	265	243	279	293	290	297	292	305	310	253	239	308	3,374
	外来	87	109	116	115	110	108	109	137	106	101	78	95	1,271

※手術室・血管造影室・内視鏡・救急処置室で行ったもの全て

手術件数（入院のみ・時間帯別）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
循環器内科	日勤	13	22	18	23	10	26	31	30	24	17	19	21	254
	緊急	1	3	1	4	2	2	2	5	1	3	1	1	26
消化器内科	日勤	48	41	42	36	43	47	48	44	64	37	30	56	536
	緊急	5	3	3	7	1	4	9	6	3	3	10	5	59
消化器外科	日勤	30	33	40	41	37	42	37	39	48	42	32	43	464
	緊急	2	0	2	2	1	0	2	3	1	1	2	3	19
呼吸器外科	日勤	3	5	2	9	4	3	4	7	8	5	6	2	58
	緊急	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
心臓血管外科	日勤	27	26	27	26	23	23	20	29	28	21	12	27	289
	緊急	3	3	2	1	3	2	1	2	4	0	3	1	25
脳神経外科	日勤	5	8	15	16	7	11	12	11	12	7	11	19	134
	緊急	3	3	1	3	5	4	2	0	2	5	2	1	31
整形外科	日勤	75	59	74	70	107	87	83	78	76	73	67	74	923
	緊急	0	1	1	2	3	0	0	1	1	0	2	0	11
婦 人 科	日勤	11	2	6	9	7	6	7	5	4	2	6	4	69
	緊急	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
眼　　科	日勤	23	21	25	26	14	16	25	26	18	16	22	30	262
	緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	日勤	5	4	2	4	8	4	3	6	4	2	1	7	50
	緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	日勤	6	6	11	5	9	14	5	7	6	16	7	8	100
	緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児外科	日勤	1	1	3	2	3	3	0	1	1	2	4	2	23
	緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	日勤	3	2	3	7	3	3	1	5	5	0	2	4	38
	緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	日勤	250	230	268	274	275	285	276	288	298	240	219	297	3,200
	緊急	15	13	11	19	15	12	16	17	12	13	20	11	174

病床利用率

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般病棟	2020	58.0%	64.8%	77.9%	78.4%	83.2%	84.7%	88.0%	90.6%	84.0%	80.3%	83.6%	31.8%
	2021	58.6%	71.7%	76.6%	76.8%	81.7%	82.1%	79.9%	77.7%	84.0%	83.5%	80.8%	81.3%
特定集中	2020	27.5%	66.1%	77.6%	78.2%	82.5%	84.4%	87.8%	90.2%	83.7%	80.2%	83.5%	31.7%
	2021	70.4%	73.8%	64.2%	80.2%	83.9%	80.0%	77.4%	85.4%	96.0%	90.7%	75.4%	85.9%
回復期リハ	2020	89.9%	80.5%	96.0%	99.8%	100.6%	100.3%	100.4%	98.8%	101.0%	100.6%	98.1%	62.6%
	2021	55.7%	80.0%	100.4%	100.8%	97.2%	98.5%	98.9%	100.5%	101.2%	99.6%	97.5%	99.9%
地域包括ケア	2020	50.5%	41.9%	56.9%	74.3%	71.2%	71.6%	69.0%	71.3%	77.2%	72.9%	85.1%	40.6%
	2021	44.7%	74.6%	83.9%	82.8%	79.1%	89.3%	92.8%	86.9%	96.5%	95.1%	95.9%	91.0%
療養病棟	2020	87.6%	84.4%	76.6%	82.1%	85.5%	89.2%	94.0%	84.8%	88.9%	86.3%	89.3%	80.5%
	2021	79.2%	82.0%	77.3%	78.2%	91.5%	96.5%	95.9%	91.6%	99.2%	99.1%	100.0%	99.1%
合　　計	2020	62.8%	65.9%	78.0%	81.3%	83.9%	85.0%	87.8%	88.2%	85.0%	81.7%	85.2%	40.8%
	2021	59.1%	73.9%	79.9%	80.1%	84.1%	86.1%	84.9%	82.5%	88.7%	88.0%	86.1%	86.2%

主な指導料・管理料

		点数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
1	救急医療管理加算1，2	350～950	1,197	1,380	1,361	1,480	1,549	1,572	1,513	1,537	1,642	1,539	1,145	1,650	1,464
2	夜間休日緊急搬送医学管理料	600＋400	109	130	123	151	179	141	147	166	142	129	122	144	140
3	特定集中治療室管理料3（最大14日）	6286～29021	148	146	154	164	157	145	168	178	219	196	144	213	169
4	麻酔管理料1	250～1050	126	105	135	137	141	141	125	134	143	123	117	137	130
5	病理組織標本作製	860	314	280	365	342	368	344	347	384	344	307	291	324	334
6	ＭＲＩ撮影加算	100～600	111	99	121	116	110	109	138	137	143	119	96	134	119
7	外来化学療法加算1（ﾍﾞﾙｹｲﾄﾞ含む）※2021年10月より1を算定	450･600	158	151	154	177	184	190	196	199	218	205	202	226	188
8	外来栄養食事指導料　初回・２回目（クリニック実施分）	260･200	59	47	72	69	61	76	85	61	71	67	68	87	69
9	入院栄養食事指導料1　初回・２回目	260･200	61	94	89	78	72	90	102	78	101	80	76	81	84
10	集団栄養食事指導料	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	薬剤管理指導料　※1･2含む	325・380	682	682	872	749	861	837	847	867	883	757	655	830	794
12	無菌治療室管理加算（S5西ｸﾘｰﾝﾙｰﾑ）	3,000	150	200	190	174	133	123	167	162	199	202	159	227	174
13	無菌製剤処理料1，2	40～180	259	263	260	260	301	335	374	371	400	368	340	440	331
14	リハビリ総合計画評価料	240・300	576	645	661	662	788	779	771	752	813	751	714	795	726
15	退院時リハビリテーション指導料	300	127	196	188	209	236	232	226	244	284	212	186	229	214
16	在宅患者訪問リハビリ指導料	300	53	59	57	64	1	52	36	24	24	22	17	16	35
17	初診料	288	373	430	399	475	553	452	426	522	546	483	350	464	456
18	診療情報提供料（Ⅰ）（Ⅱ）	250～500	146	184	159	193	184	183	202	209	216	182	179	215	188
19	肺血栓塞栓症予防管理料	305	102	100	111	110	112	106	108	101	119	94	82	109	105
20	栄養サポートチーム加算	200	129	192	289	345	450	401	404	404	411	402	402	408	353
21	入退院支援加算1　イ　一般病棟	600	58	90	99	121	107	122	119	116	117	99	109	118	106
22	入退院支援加算1　ロ　療養病棟	1,200	1	1	3	8	4	7	2	4	5	6	2	4	4
23	急性期患者支援病床初期加算（地域包括・療養）	150・300	273	531	483	519	588	567	538	551	689	590	453	480	522
24	認知症ケア加算1	18～160	234	324	353	326	335	347	340	353	347	377	346	379	338
25	ＩＣＵ早期栄養介入管理加算	400	34	28	33	31	30	40	39	43	32	45	29	33	35
26	一般名処方加算1・2	5～7	5,211	4,723	5,322	5,375	5,104	5,239	5,468	5,415	6,038	5,469	5,016	5,930	5,359
27	せん妄ハイリスク患者ケア加算	100	130	195	167	223	200	215	202	205	223	176	139	162	186

地域がん登録部位別件数

部位名	第１段階　ICD-O-2　形態コード	第２段階　ICD-O-3　形態コード	件数
口腔・咽頭		C00-14	2
食道		C15	23
胃		C16	128
小腸		C17	4
結腸		C18	115
直腸Ｓ状結腸移行部		C19	26
直腸		C20	40
肛門		C21	2
肝臓		C22	16
胆嚢・胆管		C23-24	23
膵臓		C25	29
副鼻腔		C31	1
気管支・肺		C34	61
胸腺		C37	1
心臓・縦隔・胸膜		C38	3
骨・軟骨		C40-41	1
後腹膜・腹膜		C48	2
乳房		C50	5
清掃		C62	2
脳・中枢神経系		C700,C71C722-729,C751-753	1
悪性リンパ腫	959-972/974-975	リンパ腫	28
多発性骨髄腫	973,956	骨髄腫	20
白血病	980-994	白血病	31
他の造血器腫瘍	995-998	造血器腫瘍	19
その他（原発不明）		その他	12
計			595

院内・院外　研修・講演会一覧

医局（内科カンファレンス）

内　　容	発　表　者	場　　所	年　月　日	参加者数
抄　読　会「Once-Weekly Insulin for 2 Diabetes without Previous Insulin Treatment」	吉田　エリン唯	筑波記念病院	2021.5.12	14
症例報告「WON を伴う急性膵炎で発症した自己免疫性膵炎の一例」	松本　佳奈			
抄　読　会「Tafamidis Treatment for Patients with Transthyretin Amyloid Cardiomyopathy」	金澤　卓也	筑波記念病院	2021.5.26	17
症例報告「外来・入院時の各種検査で 異常を認めなかった狭心症の一例」	岡口　和也			
抄読会「Impaired Immune Health in Survivors of Diffuse Large B-Cell Lymphoma」	榎本　晃子	筑波記念病院	2021.6.2	12
予演会「自己免疫性溶血性貧血発症から５年後、溶血の悪化を契機に診断されたびまん性大細胞型Ｂ細胞性リンパ腫」	阿久津　開			
抄 読 会「Management of Coronary Disease in Patients with Advanced Kidney Disease」	小形　雄大	筑波記念病院	2121.6.23	14
症例報告「低アルブミン血症を呈する 胃全摘術 Roux-en-Y 再建後の 高齢者の亜鉛欠乏症の１例」	石井　佐彩			
抄読会「L-Methylfolate as Adjunctive Therapy for SSRI-Resistant Major Depression:Results of Two Randomized, Double-Blind,Parallel-Sequential Trials」	丸山　夏樹	筑波記念病院	2021.7.14	18
症例報告「血中アミラーゼ値が正常を示した 慢性膵炎急性増悪の１例」	林　竜一郎			
CPC「心不全，IgG4 関連疾患が背景にあり急性腎不全で死亡した一例 」	臨床側：丸山夏樹 病理側：大和万里子	筑波記念病院	2021.9.29	21
抄　読　会「Lower or Higher Oxygenation Targets for Acute Hypoxemic Respiratory Failure」	阿久津　開	筑波記念病院	2021.10.6	18
抄読会「Left Atrial Appendage Occlusion during Cardiac Surgery to Prevent Stroke」	岡口　和也			
症例報告「SGLT2 阻害薬と ARNI を追加投与し心不全が改善した HFrEF1 例について」	髙木　亮輔	筑波記念病院	2021.11.10	10
予演会「Bing-Neel 症候群に対して Tirabrutinib で 加療したマクログロブリンの一例」	齋藤　祥愛			
CPC「感染性心内膜炎による 敗血症性ショック、多臓器不全で死亡した一例」	臨床側：谷中　夏海 病理側：大和　万里子	筑波記念病院	2021.11.17	17
抄読会「Effectiveness of a third dose of the BNT162b2 mRNA COVID-19 vaccine for preventing severe outcomes in Israel an observational study」	石井　佐彩	筑波記念病院	2021.12.8	13
症例報告「下行結腸癌切除後の機能的端々吻合部に 生じた便塊により糞便性イレウスを発症した１例」	椿山　正哉			

学術集会「自己免疫性溶血性貧血発症から５年後 溶血の悪化を契機に診断された びまん性大細胞型Ｂ細胞性リンパ腫」	阿久津　開	筑波記念病院	2022.1.12	44
学術集会「脳出血をきたした 急性前骨髄球性白血病」	岡口　和也			
学術集会「穿孔性腹膜炎により敗血症性ショックをきたした一例」	小形　雄大			
学術集会「日本紅斑熱の一例」	齋藤　祥愛			
学術集会「後壁梗塞後の乳頭筋不全による僧帽弁閉鎖不全症が原因となった心不全の一例」	髙木　亮輔			
学術集会「緊急肝動脈塞栓術が奏功した胃癌肝転移破裂の一例」	椿山　正哉			
学術集会「抗 HLA 抗体により血小板輸血不応であった再生不良性貧血」	林　竜一郎			
学術集会「当院で経験した肺外結核３症例についての検討」	石井　佐彩			
CPC 「悪性リンパ腫疑いで転院数日後に突然死した1例」	臨床側：西田　康孝 病理側：大和万里子	筑波記念病院	2022.3.23	12

地域医療連携部（地域医療連携公開講座）

内　　容	講　　師	場　　所	年　月　日
循環器内科医が考える　糖尿病と複合的疾患マネジメント	名古屋市立大学大学院 医学研究科 瀬尾　由広	筑波記念病院	2021.11.21
科学に基づく最新の心不全診療とは？ ～ジャディアンスがつくる新しい地域連携のかたち～	阪和第二和泉北病院 北風　政史	筑波記念病院	2022.3.4
高次脳機能障害を見逃さないために	筑波記念病院 安岡　利一	筑波記念病院	2022.3.29

茨城県指定地域リハ・ステーション

内　　容	場　　所	年　月　日
つくば地域リハ・セミナー　第 31 回症例検討会	オンライン	2022.3.16 ～ 18

医療法人社団 筑波記念会 2021年度年報

発行者：医療法人社団 筑波記念会
〒 300-2622　茨城県つくば市要 1187-299
TEL 029-864-1212
FAX 029-864-8135
https://tsukuba-kinen.or.jp/

筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL